

治療関係スケール（共感に関する）に基づくマイクロ・カウンセリングの実験と考察

石原愛・富岡潤子

目次

[はじめに](#) 1

第1章 概論

【1】 [マイクロ・カウンセリングについて](#) 2

【2】 [共感について](#) 5

【3】 [共感の評価尺度について](#) 9

【4】 [共感測定とは](#) 12

【5】 [ジョハリの窓について](#) 14

第2章 [実験と手続き](#)

【1】 被験者 16

【2】 ビデオ録画手順 16

【3】 測定方法 17

【4】 質問紙 17

【5】 [分析方法](#)

(1) 一致度と信頼性の違い 18

(2) 評価者間信頼性の求め方 18

(3) データの有意性の求め方 19

第3章 結果と考察

1. 評価結果	20
・ Eクラス 前	
・ Eクラス 後	
・ Fクラス 前	
・ Fクラス 後	
(1) 評価の表	32
(2) 評価のグラフ	35
(3) 自己発見尺度の評価結果	
1. セミナー前	
2. セミナー後	
【2】 評価者間相関の結果と考察	37
【3】 評価結果の考察	
(1) ビデオ評定についての結果と考察	38
(2) 自己発見尺度についての結果と考察	41
第4章 評価の要点	44
第5章 考察	47
第6章 全体の反省と課題	48
参考文献	49

1 【図】

[マイクロ技法の階層表](#) 1

2 【表】

1 [治療関係スケール（共感に関する4尺度）](#) 2

2 [質問紙（自己発見尺度）](#) 7

3 [聞き手の評価記録](#) 11

付録

会話集 ・ [聞き手リスト](#)

(1) [Eクラス 前](#) 1

(2) [Eクラス 後](#) 21

(3) [Fクラス 前](#) 44

(4) [Fクラス 後](#) 75

はじめに

専門家でない人でもカウンセリングを学ぶ風潮が高まってきた。これは3年前の阪神・淡路大震災で、市民も役所も被災し、これからは、公の福祉という観点だけではなく、市民自ら公共の福祉の担い手になろうとしていく気運の表れであろう。その中で、神戸市社会福祉協議会、市民福祉大学の主催による、ヒューマンサービスコース中級コースが開催された。ここでは“自分自身”を客観的に見つけだす「自己覚知」を目標とする初級コースを終えた講習生が、援助者にふさわしいコミュニケーション能力を身につけ、よりよい活動につなげることを目標としている。そして、さらに、他者への共感を育んでいくこと、自分の利益ではなく、よりよい援助をする行為を通じて、よりよい共感をするための技術的なものを身につけていくことをこのコースは目標としている。

今、どんなことが必要か、感じるか、という認知的・情緒的活動を、ともにし、“人を通じて共感を学ぶ”が、主題とされている。

中級コースでの学習形態として相談場面の映像を題材に、テレビモニターやビデオカメラを組み合わせた機器（コミュニケーションラボ）を使う。そして、ビデオを通じて自分自身の会話の傾向、姿勢、身振りなどを客観的に見ることにより、学んでいく。そして、マイクロカウンセリング技法に乗っ取って授業を進めていった。我々は本研究においてはそのコミュニケーションラボがコミュニケーション技法の習得においてどれだけ効果があるか、ラボを使う初回と、最終回のビデオを見比べ比較、測定することが目的である。その際コミュニケーションで最も必要とされる共感を尺度として用いた。

この研究は援助を目的とした治療関係では一面においてアートであるとも言われ、援助者と援助技法は不可分である考えられてきたなかで、援助者のもつ治療的を要因を、実証的な観点から分析しようとする流れに大きく貢献するであろう。

第1章 概論

【1】 マイクロ・カウンセリングについて

ヒューマンサービスコース中級では、マイクロ・カウンセリング方式による援助技能の訓練が行われた。ここではマイクロ・カウンセリングが提唱されるまでの先行調査、研究の外観を述べる。

援助を目的とした治療関係では、一面において科学であると同時に、また、アートであるとも言われてきた。あるいは援助者と援助技法は、不可分の関係にあると長年考えられてきた。しかし、1960年代半ば以降、援助者の持つ、治療的要因を実証的な観点から分析しようとする研究が数多く報告されるようになってきた（武田、立木、1980）。

心理療法やケースワークの流派を問わず、援助者がクライアントに対して共感や、受容的で非審判的な態度、支持、ラポール、クライアントの人格の尊重などを示すことは重要である

（Rogers, 1942; Biestek, 1957; Brammer and Shostrom, 1965, 1968, and 1977; 杉本, 1966; 武田, 1967; 武田・立木, 1981）。例えば、Biestek(1957)は、ケースワーク関係においてクライアントの個別化、目的を持った感情の表現、ワーカーの統御された情緒的関与、受容、非審判的態度、クライアントの自己決定の尊重、秘密の保持などが、ケースワーク援助の基礎となることを指摘している。

Rogers(1961)は、この治療者とクライアントのやりとりを詳細に分析し、治療的関係を促進するための基礎的な条件として、治療者のとる態度がいかに重要かを指摘した。これを契機とし、治療関係中の援助者の示す言語的・非言語的な行動がクライアントにどのような効果を及ぼすかについて、数多くの実証的な調査が行われた（cf., Rogers et al., 1967）

Truax(1966)は、熟練したカウンセラーの面接を録音して分析し、治療の流派（例えば来談者中進法や行動療法）を問わず、①治療者が心を開き率直に接する、②自然に振る舞う、③クライアントにパーソナルに関与する、といった三つの技術が共通して観察できることを示した。

Zimmer とPark (1967)は、援助者とクライアントの言語的相互作用を記録し、行動上のレベルで援助者のとる行動を綿密に測定し、その結果を因子分析した。結論として彼らは、①積極的に耳を傾ける、②感情を反射する、③正確にクライアントの問題を要約するといった具体的なカウンセラーの行動が効果的な援助相談では共通して観察されることを明らかにした。

ホリスは、実証的な面接過程のプロセス分析に基づいて、対人的社会福祉の援助技法を分類した（杉本、1986）。

上記のような面接過程の記述的・質的な分析は、もともとは治療理論上の概念として提唱された、暖かさや共感、クライアントへの肯定的関心（Truax and carkhuff, 1967)などを、より計量的

に行動上の用語で操作的に定義し、その臨床的効果を実験計画に基づいて検証しようとする機運に拍車を掛けた。そして、実証的なデータベースに基づいて、援助技術の教育を進めようとする方向が生まれたのである(Benjamin,1974; Goldstein, 1975; Brammer and Shostrom, 1977; Fischer, 1978; Jayaratne and Levy, 1979; 武田・立木、1981)。

治療者の取るべき効果的な援助行動とは何かを特定し、それを行動上の用語で操作化し、体系だって援助技術を教える方法をIveyら(1968)は、教示した。それは、①積極的にクライアントに関心を示す、②感情を反射する、③問題を正確に要約する、といった3種類の技術を行動のレベルで操作的に定義し、かつ各々の技術を一つずつステップ・バイ・ステップで学んでいくものである。そしてIvey(1971)や、IvwyとAuthier(1978)は、援助技術を行動のレベルに分解して操作化し、初心者が体得しやすいように一つずつステップ・バイ・ステップで教授する、しかもビデオテープやロールプレイ、またモデルの観察などを活用するという方法を確立するとともに、教えるべき援助技術の種類を体系的に拡充した。これがマイクロ・カウンセリング方式による援助機能の訓練である。

マイクロ・カウンセリング方式で教授されるべき具体的な技術について述べると、以下のごとくである(Evans et al., 1979; アイヴィ、1985)。

ピントを合わせ、クライアントにしっかりとついていく「かかわり技法」(Focusing and Following, or Attending)

1. 効果的な質問 (Effective Inquiry or Probing)
2. 感情の反射 (Reflecting Feeling)
3. 内容の反射 (Reflecting Content, or Paraphrasing and Summarizing)
4. 援助者自身の感情を率直に伝える (Communicating Feeling and Immediacy)
5. 効果的な対決 (Effective Confrontation)
6. 援助者自身がパーソナルに関与する (Self-disclosure)
7. 効果的な場の構成 (Effective Structuring)

マイクロ・カウンセリングは過去二五年間に渡って研究されてきた。この間、例えば上記のマイクロ・スキルのうち、かかわり技術だけに関しても、約二五〇近い調査研究が行われ、その臨床的効果が検証されてきた (Ivey,1971; Ivey and Authier, 1978; Daniels, 1985)。これらの調査はまた、かかわり行動という最も基本的な対人援助技術が、様々な分野の専門家や非専門家が、極めて効率よく教授されることを示している。

かかわり行動については、後に詳しく述べようと思う。

【2】共感について

悲しい映画を見て、もらい泣きをしたり、子供のはしゃぐ声に何となく明るい気分になったり、仲間が出場している試合では、つい手に汗を握るといったことは日常よく経験することである。人と人とがかかわりあいを持つ場合には、そこにはかならず何か通いあうものがあるといつてよい。

人間関係の中であって、お互いに相手を理解するためには、コミュニケーションをつうじて頻繁に情報を交換することが必要である。この場合、情報は論理的なものに限らない。たとえば、きわめて事務的な話し合いの場合でも、聞き手にこれは確信のある内容だと思わせるのは、話の論理はいうまでもないがそれ以上に、身振り、態度、表情、言葉のイントネーションなど、いわゆる非言語的な方法を通じて、話し手の確信の感情が伝えられる結果である。情報が理解できたというためには、それがモールス信号や活字にされても理解できる部分と直接相手にあってわかる部分とがあるようである。後者は言外の手段を通じて伝えられる感情のコミュニケーションが重要な役割を持っていることを示している。

さて、共感という概念はあいまいで多義である、その語源と翻訳に関係しているようである。共感に関する概念は、リップス (Lipps,1909)のEinfuhlung (感情移入) が源とされることが多い。その英語訳が、Empathyといわれている。日本語訳はEinfuhlungを (感情移入)、Empathyを (共感) とすることもある。また、英語にはこれと類似語にSympathyがあり、この日本語訳としては (同情、同感) としたり、また (共感) とする場合もある。訳語の混乱の上に、共感の定義内容に関する多様さが、さらに問題を複雑にしている。即ち、感情移入の元来の意味はこちら側の感情が相手側に反映されることである。こちら側の感情が先行し、その結果相手側に同じ感情を認知することである。これに対し、共感を相手側の感情が先行し、その結果こちら側に同じ感情が誘発されることと考えることもある。

ここで、共感と同情の区別を書いておく。共感とは、文字通り相手と共にする、つまり相手の内なる立場に立って、相手が考え、思い、感じていることを、同じように感じとり理解することをいう。しかも、相手との間には適当な心理的距離を置きながら相手の感情に巻き込まれないようにしなくてはならない。さらに、相手に対する共感的な理解を示すためには、主観的、情動的な理解だけでなく、客観的、知的な理解もあわせて必要となる。一方、同情とは、相手と同じような情を持つという意味ではあるが、相手の立ち場に立って理解するというよりも、自分の側から、自己の体験や価値観とった枠組みを持って、相手の気持ちなり考えを推しはかろうとするものといえる。したがって、相手が直面している問題や経験している事柄に対して、相手が抱いている感情なり思いはこの様なものだろうと推測のもとに、自分の感情や思いといったものを相手に投影しているにすぎない。

ところで、リップスは、心理学は個人意識の学であるとした上で、現象の認識の仕方を問題としている。

そこでまず、認識の種類をその対象により、物について、私自身によって、他者の自我につ

いての3つに分け、3番目の他者の自我についての認識の源が感情移入としている。この他者に対する自我の感情移入は、対象の知覚と同時に知覚者に生じるのであり、これは本能に基づいて起こり、これが、人と人とを結びつける機能を持ち、社会関係を作り出す基本であると論じている。この機能については、春木（1975）やホフマン（Hoffman,1977）も指摘している。

リップスは実験心理学者ではないので、実験や調査によって感情移入を明らかにしようとはしていない。しかし、感情移入は、1.対象の知覚に基づく 2.観察者自身の生活要素を土台とするが、外部から観察者に強制された意識（感情）体験であり、3.あくまでも対象の属する物として、観察者に体験される、とする点が、今後の共感の実証的研究に反映されている。

共感の実証的研究は、1960年代に入ってから始った。それを以下に記述しておく。

I) 学習ないし行動理論的アプローチ

バーガー（Berger,1962）は、「代理的喚起による条件付け」の中で、「ある人（遂行者）の情動反応が他の人（観察者）の情動反応を誘発し、しかも二人の情動反応が同種の反応ならば、遂行者と観察者の関係は共感的である」と定義し、情動反応が異なる場合は、快・不快の組み合わせによって、妬みやサディズムにあたるとしている。この共感の定義は、彼が共感を代理性の古典的条件反応であると考えていることによる。即ち、ある刺激のもとで、遂行者（P）に無条件刺激（UCS）が与えられ、それに対して遂行者が無条件情動反応（UER）を示したとき、観察者（O）は遂行者のUERに対して、代理的に情動反応（ER）を喚起され、共感反応が生じる。その際に重要なのは、遂行者のUERによって、観察者がERを起こすことである。

同様に、佐藤（1967）は、行動理論的アプローチから、共感とか模倣は、互いに出会った二個体における顕在的な一致的反応の生起であるとする。彼は、モデルの情動的レスポナント反応が刺激になって、観察者に情動的レスポナント反応が生じることを広義の共感と定義している。そして、モデルの反応（観察者にとっては刺激）と観察者の反応との結びつきによって、生得的共感と獲得的共感に二分する。このうち、獲得的共感反応が生じるためには、観察者が同様な刺激によって、自分自身が情動反応を体験していることが前提となる。なぜなら、そのような自己の体験は、反応フィードバックよりその際の刺激と情動反応とは条件づけられているはずであり、その上で、モデルの反応（刺激）は潜在的な共通反応に媒介されて自己の内的刺激の般化刺激になると考えられる。その結果、モデルの反応（刺激）は、条件刺激として機能し、共感反応を誘致すると考える。

以上、条件づけないし行動理論からのアプローチは、共感を1.古典的（レスポナント）条件反応と考え、さらに2.遂行者（モデル）情動反応と考えるという特徴がある。

しかし、モデルの反応を単なる反応と知覚するのか、それとも情動反応と知覚するのか、あるいはモデルへのUCSやモデルの顕在的な反応（UCR）のどの面が、観察者の情動反応のCSないし、UCSになるかは、バーガーにおいては観察者（O）の認知の問題であり、佐藤においてはOの過去の学習の問題とされる。

II) 発展的アプローチ

ホフマン（Hoffman,1977）は、共感の定義は、他者の感情や思考などに関する認識の問題であるとする認知的発想と、他者に関する代理的感情反応と考えるものとに二分できるが、両者は相互作用があるとしている。彼の関心領域は後者にあり、「共感は、観察者又は観察者の置かれた状況に対する直接の反応ではなく、他者についての代理的反応として、観察者に生じた感情である」と、定義する。そして、定義の中心は、代理的感情喚起の過程であり、観察者の反応の真実性、即ち、モデルの感情との一致の程度と、反応喚起の手がかりの型とは定義に含まれるべき性質のものではないと考えている。なぜなら、例えば、真実性は年齢とともに増してくると考えられるので、発達研究の変数として取り上げるべきものと考えている。

このような見方に立って、ホフマンは共感的悲しみを例に、共感反応の発達段階について述べている。

段階	年齢	反応
1	生後1年	不快の感情と自分の身体反応から生じる刺激の融合、ぼんやりと知覚された他者とその状況との融合などから全体的な共感的悲しみ反応を示す。
2	1～2歳	初めて共感的悲しみの能力を持つようになり、自分ではない他人が被害者であると意識し始める。しかし、まだ、自分の内的状態とが区別できていない。
3	2～3歳 4歳	他人の感情や思考が、時には自分と違っていること、他人の見方や感じ方がその人の欲求や事象の解釈に基づいているらしいことを自覚しはじめる。 適切な情緒を伴って反応し、単純な場面での他人の喜びや悲しみのサインを見分けられるようになる。
4	児童期後半	一時的な、その状況に依存した悲しみだけでなく、他人の一般的な悲しみの状態のイメージによっても共感的に反応できるようになる。

（Hoffman,1977 共感反応の発達段階）

以上の段階を経て、共感的能力は発達すると考えている。彼の理論は、年齢に伴う変化、認知能力の発達、情緒や動機過程の成長などといった、幅広い発達の観点に立って共感を捉えている。

【3】共感の評価尺度について

共感は大まかに6つの尺度で評価することが可能である。

カークホフ（Carkhuff,1969）やロジャース（Rogers,1975）は、共感の基礎として、積極的関心、尊重と暖かさ、具体性、即時性、批判的でない態度及び信頼性あるいは調和を考えた。

1) 積極的関心

積極的関心は、クライアントの経験の積極性を選択し、クライアントの発言の積極面に選択的に関わることと定義されよう。面接やカウンセリングの多くには、ただ単に問題のみを検討し、長所や可能性（能力）には言及しない傾向が見られる。共感について行ったと同様の5つの基準が積極的関心についても開発されよう。例えば下図のとおりである。

レベル	1	2	3	4	5
	控除的	互換的		付加的	

控除的（マイナス）の応答では、カウンセラーはクライアントに何かうまく行っていないことを見いだすだろう。互換的な応答は、カウンセラーがクライアントの話したことに正確に留意してそれを熟考する応答である。付加的応答においては、カウンセラーは、最も困難な状況でさえも、クライアントが、何か積極的なことを、どのように行っているかを、そのクライアントに指摘する。たとえば、意気消沈して苦しみ、多くの問題について語るクライアントには、次のように言うだろう。「ジョン、私はあなた自身の問題をこんなに明確に述べるあなたの能力に敬意を表す。あなたには、自分がそのように意気消沈していることを感じる理由が分かっている。現在あるいは過去の問題を定義するあなたの能力について、もう少し私に話してみてください。」ロジャースは特に、もっと複雑な問題や人物に首を突っ込んで、肯定的資質を見いだすのを得意としていた。積極的関心は、おそらく真の共感の最も基本的な局面であろう。

2) 尊重と暖かさ

これは、感覚的で非言語的と考えられるならば、最もたやすく評価されるだろう。あなたは態度、微笑、声の調子によって尊重や暖かさを示す。自分の身体言語と合致するあなたの能力や、適切な状況での快い接触は、敬意と温情のバロメーターである。

3) 具体性

カウンセラーの具体的説明は、漠然とした一般性よりもむしろ特殊性にねらいを定めている。面接者として私たちが一番興味を抱くのは、特定の感情、特定の考え方、特定の行動例に

対してである。たびたび強調してきたように、開かれた質問の中で最も役立つものの1つは、「～の特定例を挙げてくれますか？」という問いなのである。

具体性は面接を活性化し現実的にする。指示、フィードバック技法、解釈はすべて高度の特殊性を帯びている必要がある。さもなければ、クライアントの多忙な日常生活の中で見失われてしまうだろう。それにも関わらず、具体性が最も適切な応答ではない場合もままある。いくつかの問題はもっと一般的な言葉で議論する方が最善の場合もあるし、いくつかの文化集団はむしろ特殊性の好くほうを好む。共感、尊重と暖かさ、具体性の表現をめぐる文化的相違については、常に銘記しておかなければならない。

4) 直接性（即時性、即効性）

これは、面接を時制にかなったものにする有効な概念である。それは言語を利用して最もたやすく説明できる。例えば怒っているクライアントに応答するのに3つの時制が考えられる。

「あなたは怒っていた。あなたは怒っている。あなたは怒っているだろう。」私たちは彼らが話しているのと同じ時制で他人に応答する傾向がある。いつも過去時制で話すクライアントが何人かいるだろうが、彼らは現在時制の議論から多くのものを得るであろう。他にいつも未来時制で話す者もいるし、いつも現在時制で話す者も何人かはいる。最も有効な応答は、おおむね現在時制のものである。時制の変化は、面接のテンポを速めたり遅くしたりするときに用いられる。カウンセリング・スタイルの多くのタイプにおいて、3時制のすべてを含む応答が、一般的傾向として最も強力であることを私たちは発見している。

直接性を見るもう1つの方法は、カウンセラーとクライアントの関係という観点からである。その関係が個人的なものになればなるほど、それはますます即効的になる。面接者とクライアントの間の親密な点が明らかになってくると、このタイプの即時性は強大な威力を発揮するだろう。この意味において、カウンセラーとクライアントに焦点を合わせることによってまた、現在時制に身をおくことによって、関係は即時的になるのである。

5) 批判的でない態度

積極的関心や敬意と密接に関係しているが、批判的でない態度をとるためには、あなたは自分自身の意見や態度を保留し、あなたのクライアントとの関係において、価値の中立を守ることが要求される。多くのクライアントは、あなたの信念や価値観に反するような問題や関心事を抱えて、来訪する。注意深くクライアントの言葉に耳を傾けると、あなたはどのようにして彼らがそのような立場や行動をとらざるを得なかったかということを知ることができるだろう。難局難題に直面しても、それにめげずに働いている人は、批判を受けたり評価されたりする必要がないのである。彼らに必要なのは、彼ら自身と彼らの行動をあるがままに受け入れることなのである。

批判的でない態度は、声の調子や身体言語を通じて、また是認をも否認をも示さない言明によって表現される。しかし、すべての資質や技法に相通ずることであるが、批判がクライアントの探求心を助長する場合もある。カウンセリングや面接には、王道はないのである。

6) 確実性と調和

確実性と調和は、矛盾や混乱したメッセージの裏返しである。カウンセラーや面接者は一貫して純粋であってほしいし、矛盾だらけにならないでほしい。当然のことであるが、人生は矛盾や逆説に満ち満ちており、クライアントに弾力的に対応するあなたの能力こそが、最も基礎的な次元の確実性なのである。

【4】共感測定の尺度について

1. 予測尺度 (predictive measure)
2. 場面尺度 (situational measure)
3. 共感体験の目録
4. 第三者によるテープ評定(judged taped ratings) __行動指標
5. そのほかにGSR (皮膚電気反応) 、心拍数、プレティシモグラフ(生理的指標), 態度尺度 (ポーター、1950) , 共感尺度 (ホーガン、1969) などがある。

私たちの研究では、4. のテープ評定をする。

この方法の特徴は、独立した第三者の評定者が面接の録音テープをもとに実際に提示されたセラピストの共感レベルを評定することである。

よく使用されているのが、「正確な共感尺度」(トルアックス、1961)である。彼は「正確な共感とは現在の感情への敏感さと、この理解をそのクライアントの現在の感情に調和した言葉で伝える言語的な熟練との両方を含む」と定義して、ほとんどまったく共感のない状態から始めて、クライアントの全存在・全感情をもれなく理解し的確に応答するまでの9段階の連続した共感の尺度を構成している。その概略図を下記に記しておく。

	現在明らかな感情	隠された感情	前意識的感情
1	無視		
2	理解するが不十分	気づかない	
3	しばしば正確	感じるがしかし理解は不十分	
4	通常は正確	正確さは非常に低いが試みている	
5	正確	敏感だが、いくらか不正確で試み的な解釈	

6	正確	内容は正確、強度はそうではない	気づかない
7	正確	正確	明確な「指向」
8	正確	正確	敏感な試行錯誤的な探索
9	敏感で非の打ち所のない正確さ	敏感で非の打ち所のない正確さ	敏感で非の打ち所のない正確さ

(Truax and Carkhuff,1967 正確な共感を測定するための尺度)

現在この尺度は、世界中で研究されつつある。

この尺度は来談者中心療法の現象学的観察から出発して構成されたものであり、信頼性や妥当性の高いことも示しているし、実際にもよく使われている。

しかし、とらえようとする共感それ自体が精神内事象であることもあって、主観的な傾向はのがれられない。評定者は誰の目にも明らかな外的行動を対象にするのではなく、クライアントのわずかな言葉や音調を手がかりに、自己の内的体験に取り入れ吟味したものとの実際の場面でのセラピストのそれとを比較評定しなければならない。

それだけに評定そのものにはかなりの訓練を必要とし、即ち、共感の高い人にしてはじめてよくなしうるということにもなりかねないのである。また、評定者は治療者の理論的枠組みなり背景を十分のみこんでいないと、セラピストのクライアントの内的体験への取り入れ方、言語化の仕方の違いなどから深い動きに気づかず、ただ表面的な動きだけを評価してしまうことにもなる。

そのトルアックスの尺度とは独立して山本和郎と越智浩二郎（1965）は、「治療関係スケール」を発表した。このスケールは現象学的記述を困難にする理論的先入観を積極的に意識し、それが記述を充実させるならば排除しないという方向をとっている。その現象学的記述とは、観察者にとって現れてくる対象の意味をあらゆる先入観を排しながらその対策の置かれた立場に共に立ちながら現れるままにとらえ記述していくということであり、理論的先入観とは、既製の理論とかではなくわれわれの内部にまだまだ未分化なままに生じて不完全な個人的概念によってまとめられているような体験のことである。

このような点から私たちはこの尺度を使うことにした。

「治療関係スケール」 11 尺度のなかで共感に関係している「セラピストのストランド」の 4 尺度を使用する。

4尺度とは、

1. TCE：治療者の体験として取り入れられたクライアントの経験への関わり
2. FAU：クライアントを理解するときの焦点の向け方
3. RFC：クライアントに対する関心のあり方
4. RCT:クライアントの関係の持ち方

である。

詳しい内容は、後述する。

【5】 ジョハリの窓について

人との関わりを通して共に成長する。対人関係における気づきの図解式モデルの代表的なものである。

開放	フバ イツ ク ド	盲点
自己開示	発見	未知
隠している・隠れている		

(効果的な対人関係への変革過程)

開放の領域

公の私、開放された領域であり、お互いに開けっぴろげで自由に活動できる領域。

盲点の領域

他の人には見えているけれど自分には見えていない盲点の領域。この領域の存在を認めるには勇気がいるが自己知への第一歩となる。

隠している・隠れているの領域

自分としては人に知られたくない私、公の私に対してプライベートな私の部分。

未知の領域

私にも他者にも分かっていない未知の領域で、無意識や潜在能力の発見が起こる場と考えられている。

自己開示 (Self disclosure)

現在進行中の人間関係をより真実なものにするのを阻んでいると思われる、自分に関することから（私の考え、意見、感情、動機、欲求、自己概念など）を相手にありのままに伝えること。

自己開示が相互に行われるようになると、自由で安全な雰囲気が醸し出され、信頼関係が深まる。

勇気を出して自分のことを他者に知らせるという行為は、正当な自信の強化につながり、自己の主体性の確立を助ける。

フィードバック

相手にさまざまな影響を与えている私の行動の全てを知ることができないので、“私には分かっていない私”を他の人から知らせてもらう働き。

これは、あくまでも情報提供であり、非難や攻撃ではない。あくまでも具体的、記述的、没評価的に行うこと。マイナス面の指摘ばかりでなくプラス面の指摘も必要である。

相手によって知らされた自分についての情報を、どう受け止め処理するかは本人の裁量に任される。

未知の領域での発見

自己開示やフィードバックの相互作用を通じて開かれていく自由闊達な雰囲気の中で潜在的な能力が発揮され、創造的な思考が生まれてくる。

第2章 実験と手続き

本研究では、ビデオ観察法を用いた。評価の実際をこの章では詳しく述べる。

1997年4月10日から3ヶ月の夏休みをはさんで2月12日まで、週一回2クラスに別れて、神戸市社会福祉協議会、市民福祉大学によるヒューマンサービスコース中級が開講された。そこでコミュニケーション・ラボを使用した、最初の日（4月22日、24日）と最後の日（12月2日、4日）に行なった面接場面をビデオに録画する。両日参加した24人について治療関係スケールのセラピストのストランドを用いて臨床評価を行った。評価場所は関西学院大学社会学部校舎を利用させていただいた。参加者は、石原愛、富岡潤子（以上関西学院大学社会学部立木ゼミ4年生）の、2名である。二人ともこのコースの各クラスに参加している。

【1】 被験者

被験者は、ヒューマンサービスコース中級受講者のうち、ビデオ録画をした両方の当日参加していた24名（男1名、女23名）。主婦、パート、会社員など。年齢は20代前半から60代までと幅広いが、40代主婦が中心層。

【2】 ビデオ録画手順

録画は基本的に3人一組のグループとなってもらう。3人の内訳は、聞き手、話し手、そして録画係である。約5分づつ、みんながそれぞれの役に回るように、聞き手と話し手の面接場面を録画していく。コミュニケーションラボを使用した、初日と最終日は、原則として同じグループで面接で当たる役回りも、同じ人となるようにする。

やり方としては、まず、聞き手と話し手が向かい合って座る。使用カメラは2台で、聞き手、話し手をそれぞれを撮る。上半身、膝から上と頭までが映るようにする。（手の動きもわかる様にするため。）モニター画面は等分割になるようにセットし、2人が向き合って見えるように（その場面と同じに映るように）する。

面接場面での、話す内容としては、初日は、中級コースへと進んできた動機や、この先やり

たいこと、意気込みなどを中心とし、最終日は、コミュニケーションラボを使ってきての感想、また、ヒューマンサービスコース中級に対する意見、思うことなどを中心としたが、強制的なものではなく、会話の流れに任せるよう、講師も付け加えた。なお、本研究に使うことへの了解も取って録画した。

【3】 測定方法

評価及び測定は次の手順で行われた。

1. ビデオを見て、聞き手役の話した言葉（セリフ）を記録する。これは、観察者二人の一致度を高めるために行った。以後、評価する際はこの用紙を見ながら行った。
1. 各自でビデオを見る。
2. 2) で得られたデータをもとに、治療関係スケールの、セラピストのストランドを用いて各自測定していく。
3. 各自の測定結果を照らし合わせる。
4. 測定結果の点数に至った要因を、指摘しあう。
5. 2人でビデオを見ながら、話し合っ、最終的な点数を決める。

所要時間は、かくケース5分くらいであった。詳しい記録は巻末に添付。

【4】 質問紙

また、私たちは、他者への共感が技法として上達する際に、聞き手の内面の部分にも変化があるのではないかとジョハリの窓より考えた。特に、他者への共感度が増す度に、自己受容度も大きくなるのではないかと言う仮説を打ち出した。そこで、私たちは、自己受容測定尺度（石原、佐倉、高木、富岡、西原、長谷川、1997）、コンピテンス尺度（栗本、1997）、自意識尺度・日本語版（菅原、1984）を用いて、自己発見尺度を作成し（目次2・表2参照）質問紙による測定を行った。

日時は、ビデオ測定と同日。ビデオ測定のあとに行った。

第2章 実験と手続き

本研究では、ビデオ観察法を用いた。評価の実際をこの章では詳しく述べる。

1997年4月10日から3ヶ月の夏休みをはさんで2月12日まで、週一回2クラスに別れて、神戸市社会福祉協議会、市民福祉大学によるヒューマンサービスコース中級が開講された。そこでコミュニケーション・ラボを使用した、最初の日（4月22日、24日）と最後の日（12月2日、4日）に行なった面接場面をビデオに録画する。両日参加した24人について治療関係スケールのセラピストのストランドを用いて臨床評価を行った。評価場所は関西学院大学社会学部校舎を利用させていただいた。参加者は、石原愛、富岡潤子（以上関西学院大学社会学部立木ゼミ4年生）の、2名である。二人ともこのコースの各クラスに参加している。

【1】 被験者

被験者は、ヒューマンサービスコース中級受講者のうち、ビデオ録画をした両方の当日参加していた24名（男1名、女23名）。主婦、パート、会社員など。年齢は20代前半から60代までと幅広いが、40代主婦が中心層。

【2】 ビデオ録画手順

録画は基本的に3人一組のグループとなってもらう。3人の内訳は、聞き手、話し手、そして録画係である。約5分づつ、みんながそれぞれの役に回るように、聞き手と話し手の面接場面を録画していく。コミュニケーションラボを使用した、初日と最終日は、原則として同じグループで面接で当たる役回りも、同じ人となるようにする。

やり方としては、まず、聞き手と話し手が向かい合って座る。使用カメラは2台で、聞き手、話し手をそれぞれを撮る。上半身、膝から上と頭までが映るようにする。（手の動きもわかる様にするため。）モニター画面は等分割になるようにセットし、2人が向き合っているように（その場面と同じに映るように）する。

面接場面での、話す内容としては、初日は、中級コースへと進んできた動機や、この先やり

たいこと、意気込みなどを中心とし、最終日は、コミュニケーションラボを使ってきての感想、また、ヒューマンサービスコース中級に対する意見、思うことなどを中心としたが、強制的なものでなく、会話の流れに任せるよう、講師も付け加えた。なお、本研究に使うことへの了解も取って録画した。

【3】 測定方法

評価及び測定は次の手順で行われた。

1. ビデオを見て、聞き手役の話した言葉（セリフ）を記録する。これは、観察者二人の一致度を高めるために行った。以後、評価する際はこの用紙を見ながら行った。
1. 各自でビデオを見る。
2. 2) で得られたデータをもとに、治療関係スケールの、セラピストのストランドを用いて各自測定していく。
3. 各自の測定結果を照らし合わせる。
4. 測定結果の点数に至った要因を、指摘しあう。
5. 2人でビデオを見ながら、話し合っ、最終的な点数を決める。

所要時間は、かくケース5分くらいであった。詳しい記録は巻末に添付。

【4】 質問紙

また、私たちは、他者への共感が技法として上達する際に、聞き手の内面の部分にも変化があるのではないかとジョハリの窓より考えた。特に、他者への共感度が増す度に、自己受容度も大きくなるのではないかと言う仮説を打ち出した。そこで、私たちは、自己受容測定尺度（石原、佐倉、高木、富岡、西原、長谷川、1997）、コンピテンス尺度（栗本、1997）、自意識尺度・日本語版（菅原、1984）を用いて、自己発見尺度を作成し（目次2・表2参照）質問紙による測定を行った。

日時は、ビデオ測定と同日。ビデオ測定のあとに行った。

【5】分析方法

(1) 一致度と信頼性のちがい

評価結果を考察する際に、使われるものに一致度と信頼性がある。そのちがいを次に説明する。(Tinsley and Weiss)

評価者間一致度 (Interrater agreement)は、複数の評価者が、どの程度同じように評価する傾向があるか、とすることを表したものである。つまり、評価を数値で表す場合、全員が同じ様な値を付けるほど、評価者間一致度が高いと言える。

それに対して、評価者間信頼性 (Interrater Reliability)は、評価者の評価が平均からの逸脱で表されるとき、それがどの程度大きいのか、とすることを表しているものである。例を挙げれば、何人かの評価者がある方法を用いてAとBを評価したとする。このとき、すべての評価者が、Aの点数をBのより高く付けると、評価者間信頼性は高くなる。しかし、このとき評価者の付けた点数はそれぞれ異なっているということも考えられる。つまり、評価者間信頼性は、評価対象物間の相対的な関係を表したものであり、評価者の評価の値のちがいを表すことはできないのである。一方、点数が狭い範囲にある場合、評価者間信頼性は、低くなることも考えられる。

すなわち、高い信頼性は評価者が、評価対象に対して、同じ様な点数を付けていることを示すものではなく、低い信頼性もまた、必ずしも評価者が一致していないことを示すものではないのである。そして評価者間一致度と評価者間信頼性の両方が低いとき、評価は価値がないし、研究や応用した目的に使われるべきではないと言える。

(2) 評価者間信頼性の求め方

ここでは、評価者間信頼性の求め方についてふれる。一般に評価者間信頼性は、相関係数や、分散分析によって得られる指数を用いて表される。ここでは、分散分析によって求められる級内相関係数で信頼性を表した。評価対象と評価者に交互作用がないときの級内相関の標準的な方程式は次の通りである。

$$M_{sp} - M_{se}$$

$$r = \frac{M_{sp} - M_{se}}{M_{sp} + M_{se}(K - 1)}$$

$$M_{sp} + M_{se}(K - 1)$$

(K：評価者の数)

(MSp：評価対象の不偏分散)

(MSe：誤差の不偏分散)

※一般化係数を求める場合、MSeは評価者の不偏分散に評価者と評価対象との交互作用の不偏分散を足したものとなる。

※信頼性係数を求める場合、MSeは評価対象と評価者との交互作用の不偏分散となる。

信頼性係数（ r ）は、このように評価の分散と全体の分散との比で表される。 r は最大値が1で、これは信頼性が高いことを示す。 r が0では、信頼性が全くないことを示している。 r がマイナスの値になるのは、数学的にはあり得るが、実際にはめったにならない。

r が、1.00より小さくなるに従って、信頼性も低くなっていく。また、 r が大きくなるのは、 $MSp + MSe (K - 1)$ の値が小さく、 $MSp - MSe$ の値が大きいつきである。そうなるには、 MSp の値が大きくなり、 MSe の値と K の値が小さくなる必要がある。しかし、 K の値は一定であるので、 MSe の値が小さくなると、信頼性は高くなるのである。

さて、同一評価者の評価や評価者の違いを調整した評価を使う場合、評価者間分散は誤差の中に含まれるべきではない。したがって、評価者間信頼性を求めるときには、評価者間分散を誤差から取り除くのが望ましい。これは評価者を特定しているので、他の評価者が行った信頼性にあてはめることはできない。もし他の評価者に信頼性係数をあてはめたいなら、つまり一般化したい場合には、次の2つの必要条件を満たさなければならない。まず第一に、評価者をランダムに選ばなければならない。つぎに評価者が特定されていないので信頼性係数がどの程度変化するかを見きわめるために、評価者間分散を誤差の中に組み込まなければならない。

以上、信頼性の求め方について述べてきたが、本研究の評価結果の信頼性はこのような手順を踏んで導かれたものである。それについては、後ほど詳しく考察するものとする。

(3) データの有意性の求め方

私たちは、データの有意性を求めるために、 t テストを行った。

これは、2つのグループの間で、指定した変数についての平均値の差の検定を行うものである。

平均値は等しいとする仮説をたてて検定を行い t 値を算出する。それは、2つのグループの分散が等しいとする仮説に基づく t 値と、これらの分散が等しくないとする仮定に基づく近似 t 値を算出するものである。

第3章 結果と考察

【1】 評価結果

ここでは、聞き手1-24のビデオ観察の評価とその解説に進む。聞き手については付録参照。preはセミナー前、postはセミナー後である。

尺度の結果は、縦軸に下位概念、横軸に点数をとった表を作成し、報告することにした。表中の「い」「と」は、それぞれ評価者の頭文字をとったものである。◎は、2人が話し合いの結果の一致した点数である。

Eクラス 前

聞き手1

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx		◎い と						
FAU	◎い と							
RFC			◎い と					
RCT		◎い と						

聞き手2

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx			◎ い と					
FAU		◎ い と						
RFC			◎い と					

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx			◎いと					
FAU		◎と	い					
RFC			◎いと					
RCT		◎いと						

聞き手6

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx		◎い	と					
FAU		◎いと						
RFC			◎いと					
RCT		◎い	と					

聞き手7

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx			◎いと					
FAU	◎いと							

RFC			◎いと					
RCT		◎いと						

聞き手8

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx			と	◎い				
FAU			◎いと					
RFC			◎いと					
RCT			◎いと					

聞き手9

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx				◎いと				
FAU			◎いと					
RFC			◎いと					
RCT			◎いと					

聞き手10

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx		◎いと						
FAU		◎いと						
RFC			◎いと					
RCT		◎いと						

聞き手11

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx		◎いと						
FAU		◎い	と					
RFC		◎と	い					
RCT		◎いと						

Eクラス 後

聞き手 1

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx			◎いと					
FAU		い	◎と					
RFC			◎いと					
RCT			◎いと					

聞き手 2

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx			◎いと					
FAU			◎いと					
RFC			◎いと					
RCT				◎いと				

聞き手 3

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx			◎いと					

			と					
FAU		と	◎ い					
RFC			◎い と					
RCT		◎い と						

聞き手4

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx			◎ い	と				
FAU			◎い と					
RFC				◎い と				
RCT				◎い と				

聞き手5

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx			◎い と					
FAU		◎い と						
RFC			◎ と	い				
RCT			◎い と					

聞き手6

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx			◎い と					
FAU			◎い と					
RFC			◎い と					
RCT		◎ い	と					

聞き手7

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx			◎い と					
FAU		◎ い	と					
RFC			◎い と					
RCT			◎い と					

聞き手8

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx					◎い と			

FAU				◎い と				
RFC				と	◎ い			
RCT				◎い と				

聞き手9

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx				◎い と				
FAU				◎い と				
RFC				◎ と	い			
RCT				◎い と				

聞き手10

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx			と	◎ い				
FAU			◎い と					
RFC			◎ と	い				
RCT			◎い と					

聞き手 1 1

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx		◎い と						
FAU		◎い と						
RFC			◎い と					
RCT		◎い と						

Fクラス 前

聞き手12

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx		◎いと						
FAU	◎いと							
RFC	い	◎と						
RCT		◎いと						

聞き手13

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx		◎いと						
FAU		◎いと						
RFC			◎いと					
RCT		い	◎と					

聞き手14

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx			◎いと					

FAU		◎ い	と					
RFC			◎い と					
RCT		◎い と						

聞き手15

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx			◎ い	と				
FAU			◎い と					
RFC				◎い と				
RCT			◎い と					

聞き手16

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx		い	◎ と					
FAU		◎い と						
RFC			◎い と					
RCT		◎ い	と					

聞き手 17

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx		◎い と						
FAU		◎ い	と					
RFC			◎い と					
RCT		◎い と						

聞き手 18

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx			い ◎	と				
FAU			◎い と					
RFC			◎い と					
RCT			◎ い	と				

聞き手 19

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx	い	◎ と						
FAU		◎い と						

RFC		◎い と						
RCT	と	◎ い						

聞き手20

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx	い	◎ と						
FAU	◎ い	と						
RFC			◎い と					
RCT		◎い と						

聞き手21

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx	い	◎ と						
FAU		◎い と						
RFC			◎い と					
RCT		◎ い	と					

聞き手22

	1	2	3	4	5	6	7	8
--	---	---	---	---	---	---	---	---

TCEx			◎い と					
FAU			◎い と					
RFC				◎い と				
RCT			◎ い	と				

聞き手23

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx		◎ い	と					
FAU		◎い と						
RFC			◎い と					
RCT		◎い と						

聞き手24

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx		◎い と						
FAU		◎ い	と					
RFC			◎い と					

RCT		◎い と							
-----	--	---------	--	--	--	--	--	--	--

Fクラス 後

聞き手12

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx		◎いと						
FAU		◎い	と					
RFC		い	◎と					
RCT		◎いと						

聞き手13

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx		◎いと						
FAU		◎いと						
RFC			◎いと					
RCT			◎いと					

聞き手14

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx			◎と	い				

FAU			◎いと					
RFC				◎いと				
RCT			◎いと					

聞き手15

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx			◎いと					
FAU			◎いと					
RFC				◎いと				
RCT			◎ い	と				

聞き手16

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx			◎いと					
FAU		◎いと						
RFC			◎いと					
RCT			◎い					

			と					
--	--	--	---	--	--	--	--	--

聞き手 17

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx			◎い と					
FAU		◎ い	と					
RFC			◎い と					
RCT			◎い と					

聞き手 18

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx			◎ と	い				
FAU			◎ い	と				
RFC				◎い と				
RCT			◎ と	い				

聞き手 19

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx		◎い と						

FAU		◎いと						
RFC	と	◎い						
RCT		◎いと						

聞き手20

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx		◎いと						
FAU		◎いと						
RFC		◎いと						
RCT		◎いと						

聞き手21

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx		い	◎と					
FAU		◎いと						
RFC		と	◎い					
RCT		い	◎と					

聞き手 2 2

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx			◎い と					
FAU		◎ と	い					
RFC			◎ と	い				
RCT		と	◎ い					

聞き手 2 3

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx			◎い と					
FAU		◎い と						
RFC			◎い と					
RCT		◎い と						

聞き手 2 4

	1	2	3	4	5	6	7	8
TCEx		◎い と						
FAU		い	◎ と					

RFC			◎い と					
RCT		◎ い	と					

(1) ビデオ評価結果の表

1) 最終的な結果の表

ID	pre-TCEx	pre-FAU	pre-RFC	pre-RCT	post-TCEx	post-FAU	post-RFC	post-RCT	preの 平均 値	postの 平均 値
1	2	1	3	2	3	3	3	3	2	3
2	3	2	3	3	3	3	3	4	2.75	3.25
3	1	2	2	2	3	3	3	2	1.75	2.75
4	3	3	3	3	3	3	4	4	3	3.5
5	3	2	3	2	3	2	3	3	2.5	2.75
6	2	2	3	2	3	3	3	2	2.25	2.75
7	3	1	3	2	3	2	3	3	2.25	2.75
8	4	3	3	3	5	4	5	4	3.25	4.5
9	4	3	3	3	4	4	4	4	3.25	4
10	2	2	3	2	4	3	3	3	2.25	3.25
11	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2.25
12	2	1	2	2	2	2	3	2	1.75	2.25
13	2	2	3	3	2	2	3	3	2.5	2.5
14	3	2	3	2	3	3	4	3	2.5	3.25
15	3	3	4	3	3	3	4	3	3.25	3.25
16	3	2	3	2	3	2	3	3	2.5	2.75
17	2	2	3	2	3	2	3	3	2.25	2.75
18	4	3	3	3	3	3	4	3	3.25	3.25
19	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
20	2	1	3	2	2	2	2	2	2	2

21	2	2	3	2	3	2	3	3	2.25	2.75
22	3	3	4	3	3	2	3	3	3.25	2.75
23	2	2	3	2	3	2	3	2	2.25	2.5
24	2	2	3	2	2	3	3	2	2.25	2.5

2) い (石原) の表

ID	pre-TCE _x	pre-FAU	pre-RFC	pre-RCT	post-TCE _x	post-FAU	post-RFC	post-RCT	pre	post
1	2	1	3	2	3	2	3	3	2	2.75
2	3	2	3	3	3	3	3	4	2.75	3.25
3	1	2	2	2	3	3	3	2	1.75	2.75
4	4	3	4	3	3	3	4	4	3.5	3.5
5	3	3	3	2	3	2	4	3	2.75	3
6	2	2	3	2	3	3	2	2	2.25	2.75
7	3	1	3	2	3	2	3	3	2.25	2.75
8	4	3	3	3	5	4	5	4	3.25	4.5
9	4	3	3	3	4	4	5	4	3.25	4.25
10	2	2	3	2	4	3	4	3	2.25	3.5
11	2	2	3	2	2	2	3	2	2.25	2.25
12	2	1	1	2	2	2	2	2	1.5	2
13	2	2	3	2	2	2	3	3	2.25	2.5
14	3	2	3	2	4	3	4	3	2.5	3.5
15	3	3	4	3	3	2	4	3	3.25	3
16	2	2	3	2	3	3	3	3	2.25	3
17	2	2	3	2	3	2	3	3	2.25	2.75

18	3	3	3	3	4	3	4	4	3	3.75
19	1	2	2	2	2	2	2	2	1.75	2
20	1	1	3	2	2	2	2	2	1.75	2
21	1	2	3	2	2	2	3	2	2	2.25
22	3	3	4	3	3	3	4	3	3.25	3.25
23	2	2	3	2	3	2	3	2	2.25	2.5
24	2	2	3	2	2	2	3	2	2.25	2.25

3) と (富岡) の表

ID	pre-TCEx	pre-FAU	pre-RFC	pre-RCT	post-TCEx	post-FAU	post-RFC	post-RCT	pre	post
1	2	1	3	2	3	3	3	3	2	3
2	4	3	3	3	3	3	3	4	3.25	3.25
3	1	2	2	2	3	2	3	2	1.75	2.5
4	3	3	3	3	4	3	4	4	3	3.75
5	3	2	3	2	3	2	3	3	2.5	2.75
6	3	2	3	3	3	3	3	3	2.75	3
7	3	1	3	2	3	3	3	3	2.25	3
8	3	3	3	3	5	4	4	4	3	4.25
9	4	3	3	3	4	4	4	4	3.25	4
10	2	2	3	2	3	3	3	3	2.25	3
11	2	3	2	2	2	2	3	2	2.25	2.25
12	2	1	2	2	2	3	3	2	1.75	2.5
13	2	2	3	3	2	2	3	3	2.5	2.5

14	3	3	3	2	3	3	4	3	2.75	3.25
15	4	3	4	3	3	2	4	4	3.5	3.25
16	3	2	3	3	3	3	3	3	2.75	3
17	2	3	3	2	3	3	3	3	2.5	3
18	4	3	3	4	3	4	4	3	3.5	3.5
19	2	2	2	1	2	2	1	2	1.75	1.75
20	2	2	3	2	2	2	2	2	2.25	2
21	2	2	3	3	3	2	2	3	2.5	2.5
22	3	3	4	4	3	2	3	2	3.5	2.5
23	3	2	3	2	3	2	3	2	2.5	2.5
24	2	3	3	2	2	3	3	3	2.5	2.75

(2) 自己発見尺度の評価結果

ここでは、自己発見尺度の結果を表にする。セミナー前とセミナー後に

同じ質問紙を使った。質問数は75項目あり、わかりやすいようにセミナー前の質問ナンバーをq1-q75とし、セミナー後の質問ナンバーはa1-a

75と、区別した。idは、聞き手1-24に対応している。

1) セミナー前

id	1	2	3	4	5	6	7	8
sex	1	2	2	2	2	2	2	2
age	62	45	49	64	44	53	51	52
q1	4	2	2	4	4	4	2	4
q2	4	4	5	5	4	4	4	5
q3	4	4		4	3	4	3	4
q4	3	4	4	4	3	4	2	3
q5	2	3	2	4	4	2	1	5
q6	4	3	2	2	4	4	1	5
q7	4	4	5	5	3	3	3	5
q8	4	3	4	5	4	5	3	1
q9	3	2	2	4	3	2	3	5
q10	4	3	5	4	3	4	5	5
q11	3	4	4	3	4	5	3	4
q12	4	2	4	2	3	4	1	3
q13	3	2	2	2	2	2	1	4
q14	3	3	2	2	3	2	3	5

q15	4	2	4	1	2	2	1	3
q16	4	4	5	5	5	5	5	5
q17	4	3	4	1	3	4	1	4
q18	4	4	4	5	5	5	5	5
q19	4	3	4	1	3	4	1	3
q20	4	4	4	5	4	3	3	5
q21	3	3	4	2	3	4	1	1
q22	2	3	3	4	2	2	3	5
q23	3	4	5	4	3	3	1	2
q24	5	3	5	5	4	4	5	5
q25	3	3	3	2	4	2	4	5
q26	4	4	5	4	4	3	4	4
q27	3	3	4	5	4	4	2	2
q28	3	3	5	1	3	4	3	2
q29	4	3	4	2	3	3	3	1
q30	3	4	5	2	4	4	4	3
q31	4	4	4	5	4	4	3	5
q32	3	2	3	3	3	4	2	3
q33	74	4	4	5	4	3	3	4
q34	3	2	3	4	2	1	1	4
q35	3	4	4	5	5	3	5	5
q36	4	2	3	2	4	3	3	3

q37	4	5	3	5	4	2	3	4
q38	4	4	1	3	2	2	1	1
q39	4	3	4	4	3	2	3	3
q40	4	4	3	5	4	4	1	4
q41	3	4	3	4	3	4	3	4
q42	3	2	2	4	3	1	3	3
q43	3	1	1	1	2	1	1	3
q44	4	3	2	4	3	4	3	4
q45	4	4	4	5	4	3	3	4
q46	4	3	4	5	4	3	3	3
q47	4	3	2	5	3	4	1	1
q48	4	3	3	2	2	4	2	5
q49	3	4	4	5	5	3	5	5
q50	3	2	1	1	2	2	1	1
q51	3	3	3	4	2	2	3	3
q52	4	3	5	4	3	4	3	5
q53	3	4	1	4	3	3	3	3
q54	4	3	4	4	4	4	4	5
q55	3	3	5	3	3	4	3	3
q56	4	4	4	2	3	4	1	2
q57	5	3	5	4	3	4	4	5
q58	3	4	4	5	4	4	5	2

q59	3	2	2	1	2	2	3	3
q60	4	4	4	5	4	4	2	4
q61	4	3	4	5	3	3	1	3
q62	5	3	5	5	4	5	5	5
q63	2	1	2	1	2	1	1	1
q64	4	3	4	5	4	3	3	5
q65	2	2	1	1	2	1	1	1
q66	1	3	2	1	4	2	1	3
q67	4	2	3	1	2	2	1	3
q68	5	4	4	5	4	4	3	4
q69	2	2	2	1	2	1	2	1
q70	4	3	5	5	4	4	3	5
q71	4	3	4	2	3	4	2	4
q72	4	4	4	5	5	4	3	5
q73	3	2	1	1	2	1	3	1
q74	4	3	4	4	4	4	1	4
q75	4	4	5	4	4	4	4	3

id	9	10	11	12	13	14	15	16
sex	2	2	2	2	2	2	2	2
age	49	51	74	56	55	27	54	46
q1	3	4	4	4	3	3	4	4
q2	4	5	5	4	4	5	5	5
q3	4	4	4	2	4	3	4	4
q4	3	3	2	3	2	3	3	4
q5	2	3	2	2	1	2	2	3
q6	3	3	4	2	2	4	2	5
q7	4	4	5	4	4	5	4	5
q8	3	4	2	3	4	3	3	4
q9	2	3	1	2	1	2	2	3
q10	3	4	5	4	5	4	4	2
q11	3	4	4		3	3	3	3
q12	3	2	4	3	3	4	2	4
q13	2	1	2	2	2	3	3	4
q14	4	3	1	2	2	3	5	3
q15	2	1	2	2	3	3	2	4
q16	4	5	5	5	5	5	5	4

q17	2	3	4	3	5	4	2	4
q18	5	4	5	4	5	5	5	5
q19	3	3	4	3	3	4	3	3
q20	3	5	5	4	4	4	4	4
q21	3	4	4	4	3	3	2	3
q22	2	2	1	3	2	2	4	2
q23	3	3	4	4	4	3	1	3
q24	4	4	5	3	5	3	5	4
q25	3	5	2	3	4	3	4	2
q26	4	4	4	4	5	4	4	4
q27	3	4	4	3	4	3	5	4
q28	3	4	5	3	5	4	5	2
q29	3	4	2	3	3	4	1	4
q30	4	4	4	4	2	4	5	3
q31	3	5	5	4	5	4	4	4
q32	2	3	5	4	1	3	1	4
q33	2	5	5	4	4	5	5	4
q34	3	2	2	2	2	2	1	3
q35	5	5	5	4	5	4	4	4
q36	3	4	4	3	4	2	4	4
q37	4	4	1	4	5	4	3	4
q38	3	3	1	2	2	2	2	2

q39	3	3	1	3	3	3	3	4
q40	4	5	4	4	5	5	5	4
q41	4	5	4	3	5	3	4	3
q42	2	2	2	2	2	2	1	4
q43	3	1	1	2	3	1	1	2
q44	3	3	4	2	3	3	4	4
q45	3	5	4	4	4	4	3	4
q46	3	5	4	4	4	4	3	4
q47	2	2	5	3	4	3	3	3
q48	2	3	2	3	2	4	2	2
q49	4	4	5	5	4	5	4	5
q50	2	3	1	3	2	3	2	1
q51	3	2	2		2	3	3	3
q52	3	5	5	4	4	3	3	4
q53	3	3	2	2	2	2	3	4
q54	4	5	5	3	3	5	4	4
q55	3	4	5	4	4	4	4	3
q56	2	3	5	5	2	3	3	2
q57	4	5	5	5	3	4	4	3
q58	4	3	4	5	4	5	4	4
q59	2	2	2	2	2	2	2	2
q60	3	5	4	5	4	3	5	3

q61	2	2	2	3	3	4	2	3
q62	4	5	5	5	4	4	4	4
q63	2	2	1	3	2	1	2	1
q64	3	5	5	2	3	5	5	3
q65	2	2	1	2	2	2	1	1
q66	2	1	1	1	3	1	4	3
q67	2	2	2	1	2	2	3	2
q68	3	5	5	2	3	4	4	3
q69	2	2	1	1	2	2	2	1
q70	4	5	5	5	4	5	4	5
q71	4	5	5	3	3	4	4	3
q72	4	5	5	5	4	5	4	3
q73	2	1	1	3	2	1	1	2
q74	4	5	5	3	3	4	4	3
q75	4	5	5	5	4	3	4	5

id	17	18	19	20	21	22	23	24
sex	2	2	2	2	2	2	2	2
age	62	46	47.		57	45	53	38

q1	4	1	3	4	4	3	4	4
q2	5	5	5	5	4	5	4	5
q3	3	4	4	4	3	3	3	3
q4	4	5	4	3	3	3		
q5	2	1	2	1	3	3	3	4
q6	4	1	3	3	4	2	2	4
q7	5	4	5	4	5	4	4	4
q8	5	4	3	5	4	4	4	4
q9	4	1	2	1	3	1	4	3
q10	3	4	4	5	4	3	2	4
q11	4	4	4	3	3	4	4	3
q12	4	1	3	3	4	2	2	4
q13	4	2	2	2	2	3	2	2
q14	4	2	3	2	4	2	3	3
q15	3	2	2	3	4	2	2	3
q16	4	5	5	5	5	4	5	4
q17	4	2	3	3	4	3	2	4
q18	4	5	5	5	5	5	5	5
q19	4	2	4	3	4	3	4	3
q20	4	5	3	5	4	4	4	4
q21	3	4	3	4	2	3	2	3
q22	2	2	3	2	3	2	3	3

q23	2	4	3	4	3	5	2	4
q24	4	5	4	5	4	4	4	4
q25	4	4	3	4	3	5	3	4
q26	4	5	4	5	4	3	4	4
q27	4	5	3	4	4	4	4	4
q28	4	4	4	4	3	4	3	3
q29	3	3	3	3	2	3	2	4
q30	4	4	5	3	3	5	2	3
q31	4	5	4	5	4	5	4	4
q32	3	4	3	3	2	3	2	3
q33	4	5	5	5	4	4	4	4
q34	2	3	3	3	3	3	3	3
q35	4	5	4	3	4	4	5	4
q36	4	2	3	4	4	2	4	3
q37	4	4	3	4	3	3	5	3
q38	2	2	2	1	2	4	3	3
q39	2		3	3	4	3		3
q40	4	4	3	5	4	4	4	4
q41	4	4	3	4	4	3	2	4
q42	2	2	2	1	2	3	3	3
q43	2	2	1	1	3	2	2	2
q44	3	4	5	3	2	4	4	3

q45	4	5	5	5	4	4	3	4
q46	4	5	2	5	3	3	4	4
q47	2	2	3	4	3	4	4	3
q48	3	2	2	3	3	3	3	1
q49	4	4	4	4	3	4	4	5
q50	2	2	2	3	1	2	2	2
q51	2	2	2	2	3	3	2	4
q52	4	4	4	4	5	4	4	3
q53	2	4	2	3	3	3	1	3
q54	5	4	4	4	4	4	2	4
q55	2	3	4	3	4	3	4	3
q56	2	2	2	3	4	4	4	4
q57	2	3	4	5	3	2	4	3
q58	2	4	4	4	4	2	4	3
q59	2	2	2	2	2	1	3	2
q60	3	4	5	5	5	5	4	
q61	1	2	2	2	2	4	3	2
q62	4	4	4	4	3	3	4	5
q63	1	1	2	1	1	2	1	1
q64	5	4	4	4	5	5	4	4
q65	1	1	2	2	1	1	2	1
q66	2	2	2	2	2	1	3	2

q67	3	2	2	3	1	1	2	3
q68	4	4	4	4	5	4	4	4
q69	1	2	2	2	1	1	2	2
q70	5	4	4	3	3	5	4	4
q71	4	4	4	4	3	5	2	4
q72	5	4	5	3	5	4	4	4
q73	2	1	2	2	1	2	2	2
q74	3	4	2	3	5	4	3	2
q75	4	4	5	5	5	5	4	4

2) セミナー後

id	1	2	3	4	5	6	7	8
sex	1	2	2	2	2	2	2	2
age	63	47	49	65	47	53	52	53
a1	4	4	4	4	4	5	3	4
a2	4	4	5	5	5	5	4	4
a3	5	3	3	3	3	4	4	4
a4	3	3	4	3	3	4	3	2
a5	2	2	2	3	2	2	3	3
a6	4	3	4	3	4	4	2	4
a7	4	5	5	5	4	4	4	5
a8	3	3	4	5	4	4	2	2
a9	3	2	2	3	2	2	3	3
a10	4	3	5	3	4	3	3	4
a11	4	4	4	3	4	4	2	4
a12	4	3	4	3	3	4	2	2
a13	2	2	2	2	2	2	3	3
a14	4	4	1	2	3	4	2	5
a15	4	2	4	1	2	3	1	2
a16	3	5	5	5	5	4	4	5
a17	4	3	4	1	3		1	2
a18	4	4	5	5	5	5	5	5

a19	4	4	4	2	3	4	2	3
a20	4	4	3	5	4	2	3	4
a21	2	3	4	3	3	3	3	1
a22	3	3	2	4	2	2	2	4
a23	2	3	5	4	3	3	2	2
a24	5	3	5	5	3	4	4	5
a25	3	3	2	3	3	2	3	4
a26	2	4	5	3	4	4	2	4
a27	3	3	4	4	4	4	2	3
a28	3	4	5	2	3	4	3	4
a29	3	3	3	5	3	4	3	3
a30	2	5	5	3	5	4	4	4
a31	4	5	2	5	5	2	3	5
a32	2	3	1	3	3	4	2	3
a33	4	4	4	5	4	3	2	4
a34	3	2	5	3	3	3	3	3
a35	3	5	4	5	5	4	4	5
a36	4	3	2	3	4	3	2	3
a37	3	5	3	3	4	3	2	4
a38	4	4	2	3	3	3	1	2
a39	4	3	3	3	3	.	.	3
a40	4	4	4	4	4	4	2	3

a41	4	4	4	4	4	4	3	5
a42	4	2	1	3	2	2	4	3
a43	2	2	1	1	2	1	3	2
a44	4	4	3	2	4	4	3	3
a45	4	4	4	5	5	3	3	4
a46	4	4	3	5	3	4	2	4
a47	4	3	4	4	3	5	2	2
a48	4	2	2	3	2	4	2	4
a49	3	5	4	5	4	4	4	5
a50	3	3	2	1	3	2	3	1
a51	3	2	3	2	2	2	3	3
a52	4	3	4	2	3	4	3	5
a53	4	3	2	3	3	4	2	4
a54	4	4	5	5	4	4	3	5
a55	3	3	4	3	3	4	3	2
a56	3	4	4	1	3	4	3	3
a57	4	3	5	2	3	4	3	5
a58	3	4	3	4	4	4	3	4
a59	3	2	2	2	2	2	3	5
a60	3	4	3	5	4	4	3	3
a61	3	3	4	4	3	3	3	2
a62	4	3	5	5	4	5	4	5

a63	2	2	1	2	2	1	1	1
a64	4	3	4	5	4	4	3	5
a65	2	2	1	1	2	2	1	1
a66	2	3	3	1	3	2	1	1
a67	3	2	3	1	2	3	1	2
a68	4	3	4	2	4	4	3	4
a69	3	2	2	1	2	1	1	2
a70	4	3	4	2	3	4	3	5
a71	4	2	5	2	3	4	3	5
a72	4	4	5	5	4	4	3	5
a73	3	2	1	1	2	2	1	1
a74	4	3	4	2	4	4	1	4
a75	3	4	4	2	5	5	4	4

id	9	10	11	12	13	14	15	16
-----------	----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

sex	2	2	2	2	2	2	2	2
age	50	51	74	56	55	28	55	47
a1	3	3	4	4	5	4	4	4
a2	4	5	5	5	5	4	5	4
a3	4	3	4	3	4	3	3	4
a4	3	3	3	3	3	3	3	3
a5	2	3	2	2	2	3	1	3
a6	4	2	4	3	4	3	3	4
a7	4	4	3	5	5	5	4	4
a8	4	5	3	4	5	3	4	4
a9	2	2	2	2	2	2	1	3
a10	3	4	4	4	5	4	5	3
a11	4	4	3	3	4	4	4	4
a12	4	3	3	3	3	3	2	4
a13	3	1	3	3	1	3	1	2
a14	4	3	3	3	2	4	3	3
a15	2	1	3	2	3	3	2	3
a16	4		4	5	5	5	5	4
a17	2	5	4	4	4	4	2	4
a18	5	5	5	4	5	5	4	5
a19	3	2	4	3	3	3	2	4
a20	2	5	4	3	5	3	4	4

a21	3	4	4	3	3	3	2	3
a22	2	3	3	3	2	4	2	3
a23	3	3	3	3	3	3	2	4
a24	4	4	4	3	5	3	3	3
a25	4	2		3	3	4	4	3
a26	4	5	4	4	4	4	5	4
a27	4	4	3	3	4	3	4	4
a28	3	4	4	4	5	4	4	3
a29	4	3	3	3	3	3	3	4
a30	4	3	3	4	3	4	5	4
a31	2	5	4	4	4	3	4	4
a32	3	3	3	4	2	3	2	2
a33	2	5	4	4	4	5	4	3
a34	3	3	3	3	2	2	1	3
a35	5	5	5	4	5	5	4	4
a36	2	4	3	3	3	2	3	3
a37	3	4	3	4	5	3	3	3
a38	2	2	2	2	1	2	2	
a39	3	3	3	3	2	3	3	3
a40	4	5	4	4	5	4		4
a41	4	5	3	4	5	2	4	3
a42	2	3	2	3	2	2	1	3

a43	3	1	2	2	2	1	1	2
a44	4	1	2	3	3	2	5	3
a45	3	5	4	3	3	5	5	4
a46	2	5	4	3	2	4	3	3
a47	2	1	2	2	4	3	3	2
a48	2	5	3	2	3	2	2	3
a49	5	5	5	3	5	5	4	4
a50	2	2	2	2	1	2	1	3
a51	3	2	3	3	2	3	2	3
a52	4	4	4	3	3	3	5	3
a53	3	2	3	2	1	3	3	2
a54	5	5	4	4	4	4	4	4
a55	3	4	4	3	3	3	4	4
a56	4	2	4	3	1	2	2	4
a57	4	5	5	4	4	4	4	4
a58	4	5	3	4	2	3	4	3
a59	2	2	2	3	2	4	2	3
a60	3	5	3	4	4	4	2	3
a61	2	4	2	4	5	2	2	2
a62	4	5	5	4	5	5	4	4
a63	2	1	3	2	1	2	1	1
a64	2	5	4	4	5	5	3	4

a65	2	1	2	2	1	1	1	2
a66	2	1	3	3	1	4	3	3
a67	3	1	4	2	1	4	2	3
a68	2	5	3	3	4	5	3	3
a69	2	1	2	2	1	1	3	2
a70	4	5	5	4	5	4	3	4
a71	3	5	3	3	3	3	2	4
a72	4	5	5	4	5	4	2	4
a73	2	1	2	2	1	1	1	2
a74	3	5	4	3	3	4	2	3
a75	4	5	4	4	4	4	5	3

id	17	18	19	20	21	22	23	24
sex	2	2	2	2	2	2	2	2
age	63	47		58	48	45	54	39
a1	4	4	3	4	4	3	3	4
a2	4	5	5	4	4	5	3	5
a3	4	3	4	3	3	3	3	3
a4	4	3	4	3	2	3	2	3
a5	2	4	1	2	3	1	2	3
a6	4	3	3	4	5	4	2	4
a7	5	4	4	5	5	4		5
a8	5	3	5	4	4	4	4	4
a9	4	3	1	3	3	1	3	3
a10	4	4	4	4	4	3	4	4
a11	4	4	3	3	3	4	4	4
a12	4	3	3	4	4	2	2	4

a13	4	3	3	2	2	3	2	1
a14	4	4	2	3	5	2	3	5
a15	4	2	3	3	4	3	2	3
a16	5	4	5	5	4	4	5	5
a17	4	3	4	4	4	3	2	4
a18	5	5	5	5	5	4	5	5
a19	4	4	3	4	3	4	3	4
a20	4	3	5	4	4	4	4	4
a21	4	3	4	2	2	3	2	4
a22	2	3	1	2	2	2	3	3
a23	3	3	3	4		5	3	3
a24	4	4	5	4	5	5	5	4
a25	4	3	3	3	2	5	5	3
a26	3	4	2	5	4	4	4	3
a27	4	3	5	4	4	5	4	4
a28	4	3	3	3	3	4	3	3
a29	3	3	4	3	1	3	3	4
a30	4	4	3	4	3	4	3	3
a31	4	3	5	4	4	4	4	4
a32	3	3	4	2	2	3	2	3
a33	4	5	5	4	4	4	4	4
a34	3	3	3	3	2	3	3	3

a35	4	4	3	5	4	4	5	5
a36	3	3	4	4	4	2	2	4
a37	3	3	4	4	4	3	5	4
a38	2	1	1	2	3	3	2	2
a39	3	3	3	4	4	3	3	3
a40	4	4	5	4	4	4	4	5
a41	3	3	3	4	4	3	4	5
a42	3	2	1	3	3	2	3	3
a43	2	2	1	2	2	2	4	1
a44	3	4	3	3	2	3	3	3
a45	4	5	5	4	4	4	4	4
a46	4	3	5	3	4	3	4	4
a47	3	4	3	2	3	3	2	4
a48	3	3	2	4	3	2	2	4
a49	4	4	3	5	4	4	5	5
a50	2	2	1	2	3	3	2	3
a51	2	3	3	3	3	2	3	3
a52	4	4	3	4	3	4	3	4
a53	3	3	3	2	2	1	3	4
a54	4	3	4	4	4	3	4	5
a55	4	3	4	3	3	4	2	3
a56	4	3	4	4	4	3	2	4

a57	4	5	3	4	4	4	4	4
a58	4	4	4	4	2	4	3	3
a59	2	3	1	2	2	3	2	2
a60	5	5	5		4	4	4	4
a61	2	3	2	2	3	4	3	3
a62	4	4	4	5	4	4	4	4
a63	1	1	1	2	1	1	1	2
a64	4	4	4	4	5	4		5
a65	2	1	1	2	2	2	1	1
a66	2	1	2	2	1	3	2	4
a67	2	3	1	3	2	2	3	3
a68	4	3	3	4	4	4	4	5
a69	2	1	1	2	1	2	2	2
a70	5	4	4	5	5	4	4	4
a71	3	4	4	4	5	2		4
a72	4	3	5	4	4	4	5	5
a73	2	2	1	2	2	2	2	1
a74	4	4	4	4	4	2	4	4
a75	4	4	5	4	4	4	4	4

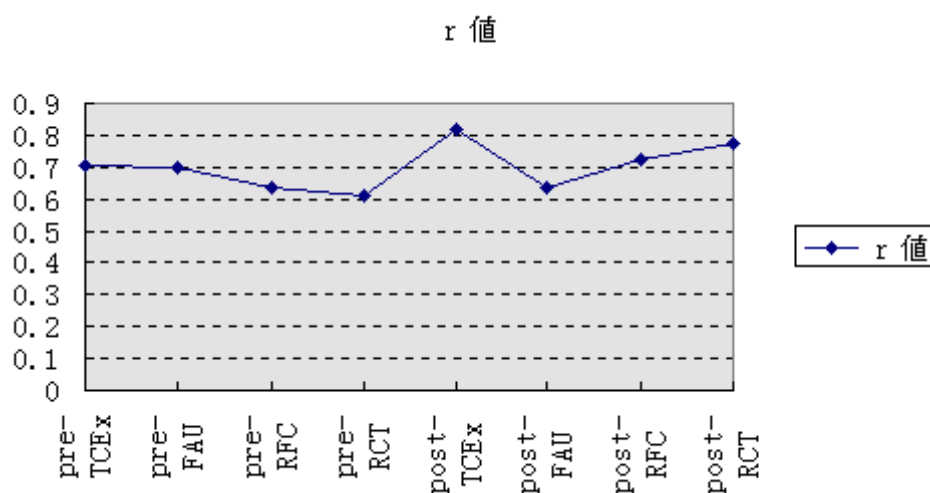
【2】 評価者間相関の結果と考察

級内相関係数による信頼性

各実験のビデオ評定評価結果により得られた相関係数をここで報告する。級内相関をpre（セミナー前）、post（セミナー後）として、それぞれ表・グラフにする。

	TCEx	FAU	RFC	RCT
Pre	0.705128	0.699627	0.633758	0.612981
Post	0.820593	0.636364	0.723724	0.771144

（表：級内関数、r 値）

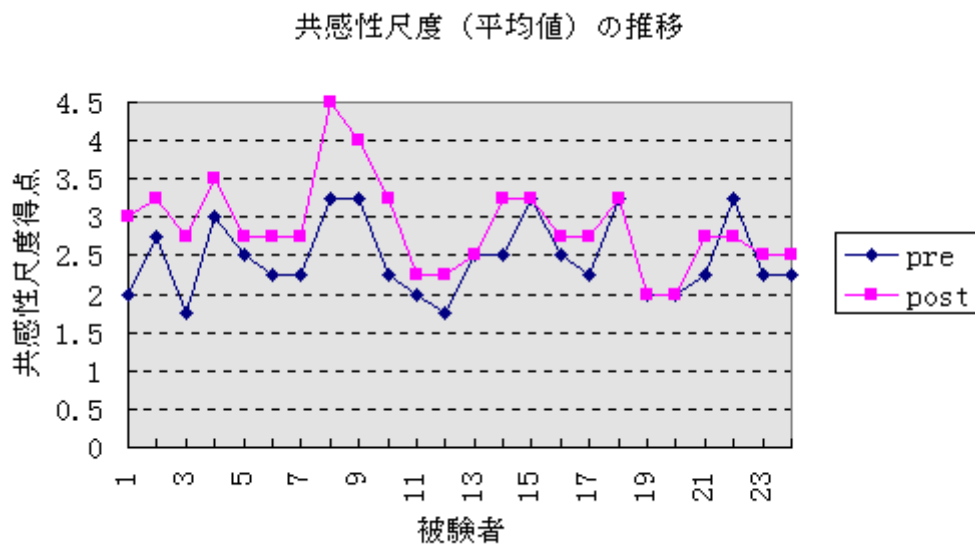


（図：級内相関 r 値）

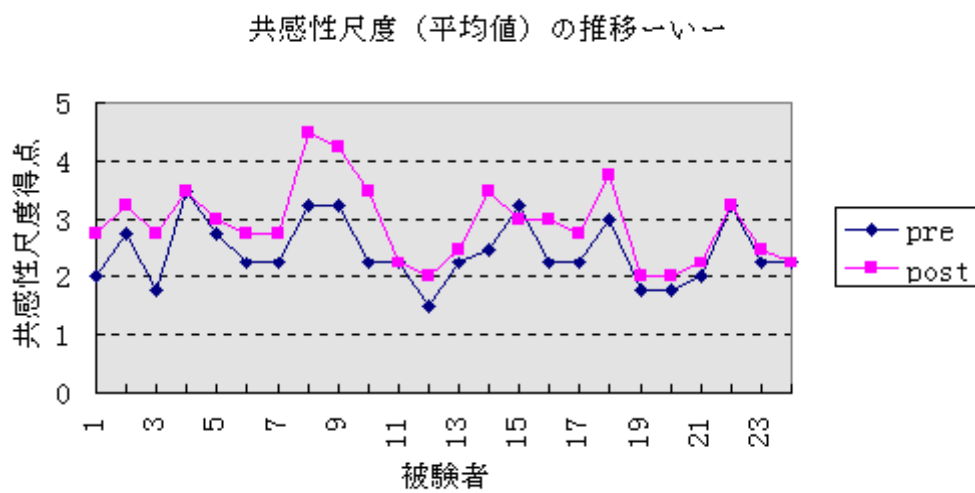
信頼性（r 値）は、最大値が1に近づくにしたがい、信頼性があることになっている。上記よりpost-TCExが、0.820593と信頼性が最も高くなった。その他、低くてもpre-RCTの0.612981である。それぞれの平均値は、pre（セミナー前）が0.662874であり、post（セミナー後）が0.737956であった。また、トータル（TCEx,FAU,RFC,RCT）としてのr 値を計算してみるとpre（セミナー前）は0.840888であり、post（セミナー後）は0.887538となり信頼性も高いものとなった。

(2) 評価のグラフ

1) 最終的な結果

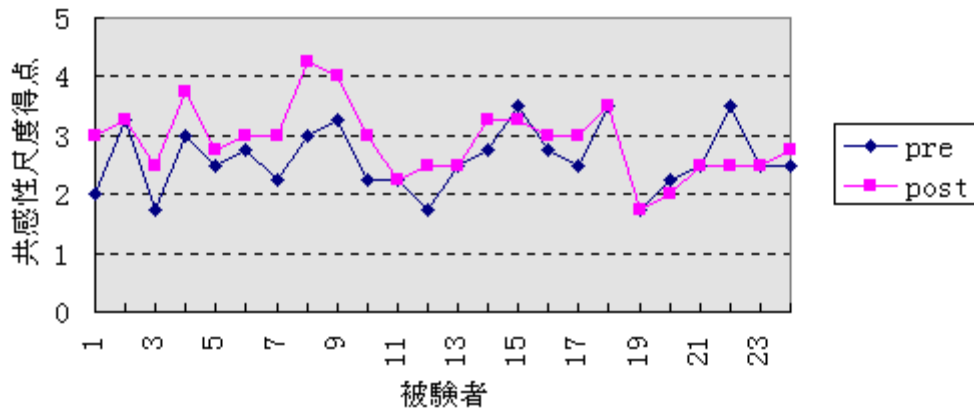


2) い（石原）の結果



3) と（富岡）の結果

共感性尺度（平均値）の推移ーとー



【3】 評価結果の考察

(1) ビデオ評定についての結果と考察

各実験の評価結果により得られた t テストの結果をここで報告する。preはセミナー前、postはセミナー後、トータルはTCEx・FAU・RFC・RCTの集計のこととする。

トータル (TCEx・FAU・RFC・RCT) の結果

	Mean	Std Dev	Minimum	Maximum
PRE	9.8750000	1.9849981	7.0000000	13.0000000
POST	11.5833333	2.5693286	8.0000000	19.0000000

(PREとPOSTの変化)

Mean	Std error	t	t
1.7083333	0.3534466	4.8333559	0.0001

—
TCEx (治療者の体験として取り入れられたクライアントの経験へのかかわり)

	Mean	Std Dev	Minimum	Maximum
PRE	2.5833333	0.7172815	2.0000000	4.0000000
POST	2.9583333	0.8064504	2.0000000	5.0000000

(PREとPOSTの変化)

Mean	Std error	t	t
------	-----------	---	---

0.3750000	0.1320477	2.8398829	0.0093
-----------	-----------	-----------	--------

FAU (クライアントを理解するときの焦点の向け方)

—

	Mean	Std Dev	Minimum	Maximum
PRE	2.0416667	0.6902531	1.0000000	3.0000000
POST	2.6250000	0.7696696	2.0000000	5.0000000

—

(PREとPOSTの変化)

Mean	Std error	t	t
0.5833333	0.1583047	3.6848763	0.0012

—

RFC (クライアントに対する関心のあり方)

—

	Mean	Std Dev	Minimum	Maximum
PRE	2.9166667	0.5036102	2.0000000	4.0000000
POST	3.1666667	0.7019641	2.0000000	5.0000000

(PREとPOSTの変化)

Mean	Std error	t	t

0.2500000	0.1379193	1.8126539	0.0830
-----------	-----------	-----------	--------

FAU（クライアントとの関係の持ち方）

—

	Mean	Std Dev	Minimum	Maximum
PRE	2.3333333	0.4815434	2.0000000	3.0000000
POST	2.8333333	0.7019641	2.0000000	4.0000000

—

—

（PREとPOSTの変化）

Mean	Std error	t	t
0.5000000	0.1042572	4.7958315	0.0001

上記の表を参照に、平均値を見ると、pre（セミナー前）では9.875点。post（セミナー後）が11.58333点であり、その差は1.7083点となり明らかにpost（セミナー後）の点が高くなっていることが分かる。

さらに平均値を細かく見ると、pre-TCExは2.5833点で、post-TCExは2.9583点であり、その差は0.375点。

pre-FAUは2.04166点で、post-FAUは2.625点であり、その差は0.583点。

pre-RFCは2.9166点で、post-RCTは3.166点であり、その差は0.25点。

pre-RCTは2.333点で、post-RCTは2.833点であり、その差は0.5点。

また、上記の表より、どの結果をみても $t > |t|$ という結果となっている。よってそれぞれの尺度（TCEx、FAU、RFC、RCT）のpre（セミナー前）とpost（セミナー後）のデータ間には相関があるということになる。

よって、データとして有意性があることが証明された。

つまり、コミュニケーションラボを使ったマイクロカウンセリング方式による援助機能の訓練、その中で共感についての技法がセミナーにより上達したことが証明されたといえる。

ここから、特に差が見られたFAUとRCTについて記述していく。まず、FAUは聞き手が話し手のどのような側面に焦点を持っているか、話し手の言葉の内容だけを理解しようとしているか、気持ちにであるか。さらに、気持ちに直面している話し手の姿勢自体に関わろうとしているか、ということであるが、セミナーで、ビデオで自分自身の姿や質問の仕方などを振り返って、学習しやすかったと思われる。

RCTは、聞き手が話し手の世界の独自性を認め自分の感じ方、自分に見える世界と話し手のそれとは違うということを尊重しているかどうかを追求しているものだが、セミナー内でビデオを他の人に見られたり、見せたりして、批評をしてもらい、それを学習した結果、その差が大きくなったと思われる。

(2) 自己発見尺度についての結果と考察

尺度の評価結果により得られた t テストの結果をここで報告する。トータルとは、competence (コンピテンス) ・ acceptance (自己受容) ・ conscious (自意識) の集計である。

preはセミナー前、 postはセミナー後である。

トータル (competence ・ acceptance ・ conscious) の結果

	Mean	Std Dev	Minimum	Maximum
PRE	250.5	87.2816757	-23.0	301.0
POST	201.1666667	16.2527387	178.0	238.0

(PreとPostの変化)

Maen	Std error	t	ltd
-49.3333333	28.6132342	-1.7241439	0.1126

competence (コンピテンス) の結果

	Mean	Std Dev	Minimum	Maximum
PRE	106.66667	27.9328198	20.0	124.0
POST	77.5	41.903569	28.0	168.0

(PreとPostの変化)

Maen	Std error	t	ltd
-29.1666667	18.7231963	-1.5577825	0.1476

acceptance（自己受容）の結果

	Mean	Std Dev	Minimum	Maximum
PRE	74.250	40.4814772	-52.0	98.0
POST	70.5	19.2282935	13.0	83.0

(PreとPostの変化)

Maen	Std error	t	ltd
-3.75	6.8380896	-0.5483988	0.5944

conscious（自意識）の結果

	Mean	Std Dev	Minimum	Maximum
PRE	69.5833333	20.965158	9.0	90.0
POST	53.1666667	29.6277166	10.0	85.0

(PreとPostの変化)

Maen	Std error	t	ltd
-16.4166667	10.2805040	-1.5968737	0.1386

上記の表を参考に、平均値（Mean）を見てみる。トータルによるとpre（セミナー前）250.5点から post（セミナー後）201.167点へと低くなっていることが分かる。

次にcompetence（コンピテンス）は、 pre（セミナー前）106.6点から post（セミナー後）77.5点へと低くなっていることが分かる。

acceptance（自己受容）は、pre（セミナー前）74.25点から post（セミナー後）70.5点へと低くなっていることが分かる。

conscious（自意識）は、pre（セミナー前）69.58点から post（セミナー後）53.167点へと低くなっていることが分かる。

また上記の表より、 $t > |t|$ の結果を見てみると、competence（コンピテンス）、acceptance（自己受容）、conscious（自意識）ともに、 $t > |t|$ の関係が成り立たないため pre（セミナー前）と post（セミナー後）のデータ間には、相関関係は見られないという結果となった。

competence（コンピテンス）とは、環境との交流の積み重ねの結果生じるものであり、効果的に環境と相互作用する能力である。1年間のセミナーを通して交流が深まっていくということからこの能力が上がるとの仮説を立てていた。また、conscious（自意識）には、私的意識と公的意識がある。前者が高い人の傾向として、その時々での自分の意見、態度を自覚しているため、態度と行動との間に一貫性がある（Scheier,1980）。後者が高い人の傾向として、他者からの評価的態度に敏感であり（Fenigstein,1979）、他者の目を意識して自己表出の仕方をコントロールする（Carver & Humphries,1981）。ビデオ録画により自分自身を客観的に見ることができることより、ここでの点数も上がるのではないかと仮説を立てていた。acceptance（自己受容）については、他者への共感が、技術的に高くなるとともに、自分自身への受容も高くなるのでは、という仮説を考えていた。

すべての結果において、仮説が覆されたことについて考察すると、コンピテンスについては、まだ、効果的に環境と相互作用するまでに至っていなかったのではないかと考えた。自己受容については、自分の映ったビデオを見た人の中には、そぶりや話し方、また、普段の自分の癖や話の傾向を見て、打ちのめされたという人もいた。私たち評定者がビデオ観察をする中で、そのような発言をする人もいた。よって自己を受け入れるというよりも、まだ自分自身について、否定的な観点から眺めている段階、つまり、学習段階の途中で質問紙を行ったので、まだ受容されるには至ってなかったのかもしれない。自意識についても同様で、客観的に自分自身をとらえるにはいたらず、主観的に自分自身について反省していることが多い状況であったことが影響しているのでは、と考えられる。これらのことがデータに大きく関与し、すべての得点が下がったと考えられる。セミナー前とセミナー後についての相関も見られないことより、もう少し学習が深められた時期に質問紙を行うと、もう少し効果も表れ、違ったデータも得られたかもしれない。

第4章 評価の要点

本章では、全24ケースを評価して、得た視点や、基準をもとにして、治療関係スケールの中の共感に関する尺度評価の具体的な行い方を、まとめてみる。私たちはこの実験のよりどころとして、セミナーで学んだことなどを参考にして、4つの評価基準を使った。それを下記に述べる。

1) 非言語コミュニケーション（関わり行動）

①ジェスチャーや身体の動き

- 姿勢…自然でリラックスしている 聞いていることがわかる ・・腰の位置（腰が低い、腰抜け）、
背骨の状態（猫背、斜めに構える）
- 動作…的確になっているのか ・・動き全体に対する印象（きびきび、ゆったり）
- うなづき…話し手に合っているか ・・表情、眼差し
- ジェスチャー…話し手に合っているか ・・はなしに軽くうなづく、髪に手をやる。笑うときに口に手を当てる
- 顔の表情…的確
- 視線…相手を見てほほえみ視線を保つ、相手を理解しようとする態度を示す、その内容に応じた視線を合わせる

1. 方向（上目づかい、目をそらす、直視する、流し目、目を落とす、目を配る）

2. 強弱（射るような視線、穏やかな視線、ぼんやりと焦点の合わない目見据える）

3. 関わりについて（目が合う、白い目で見る、目がない、にらみつける、目をかける）

②音質、言語外の音声（笑い声、あくびなど）

声の調子 温かみの帯びた低い声でゆっくりと、その時の感情にそって変化する

1. 声の大きさ（自信なく、臆病になると小さくなる）、
2. 高さ（緊張で高くなる傾向）、話す速度（興奮すると早口）、
3. 明瞭さ（声の大小に左右）
4. はなしの間の取り方、発音するときに息を吐き出して話すか
5. 息を吸い込みながらまたは、止めて話すか

③その場の空間について

距離の取り方…興味があるように・・座る位置（前の方に座る、めだたないように）

④香りや臭覚作用に関するもの

⑤皮膚による触感や温度に関するもの

生理的表出…自然であるように・・赤らむ、瞼がぴくぴく動く、目が潤む、こめかみの血管が浮き出る、がたがた震える、呼吸（どこで行っているか、速さ、深さ）

⑥着飾りや化粧による自己表現で伝えること

2) 質問法

①開かれた質問

面接を始めるとき

CLにさらに詳しく述べてもらうとき

CLの感情に焦点を当てるとき

CLの具体的な行動の事例を引き出すとき

どうして・なぜ・・・・だと思われるんですか？という質問を多用しすぎない ⇒CLを防衛的にする

②閉ざされた質問

相手が「はい」「いいえ」や簡単な事実で答えられることを尋ねるとき

③質問の使い方

閉じられた質問よりも開かれた質問の方を多く用いる⇒CLは自分のペースで話すことができる

同時に複数の質問を連発しないこと

3) 明確化（最小限度の励ましと言い換え）

①瞬時的な発声

「ええ？」 「そう？」 「それで？」 「それから？」

1語または2語の繰り返し

「もっとつづけてください」

「うむむ・・・」「うん」

クライアントが話をした文章の最後の数語をそっくり繰り返す

②沈黙（隠れた応答時間）の利用

応答を始める前に聞き手が数秒間待つこと

③いいかえ

クライアントの名前及び代名詞としての「君」「あなた」

クライアントの最も重要な語句

クライアントの言及した言葉の本質をとらえて、濃縮し明確にしたカウンセラーの発言（話し手の言いたいことをキャッチしてそのポイントを繰り返す）

④意識の面積を拡大する作業

うまく意識化、言語化できないクライアントの状況や心境を的確に察知

解釈・指示・歪曲に陥らない

4) 感情の反映

感情は重要である、という認識からでた言葉を展開する（肯定的情動に持ち込むこと）

「あなたは・・・と感じているようだが」

「あなたが・・・と感じているように聞こえますが」など

感情を指摘し、混乱したり、矛盾している感情に特に注意する。二重のメッセージに注意するが身体と言語の不一致に反映しないように

言い換えを加えて内容に触れる

第5章 考察

共感尺度について

私たちは、共感尺度として「治療関係スケール」11尺度のなかで共感に関係している「セラピストのストランド」の4尺度を使用した。経験不足と練習不足によりこの尺度を選んだのであるが、これらを積み重ねた上で一般に多く使われている Truax&Carkhuff 「正確な共感を測定するための尺度」を検討してもよかったのであろう。

また、使用した尺度を私たちなりに分かりやすい基準を設けて言語化を行うことが少し欠けていたのかもしれない。

ビデオ評定について

お互いこのコースに参加していたことより、自分のクラスの一人一人を、少しでも知っているわけあり、かなり、バイヤスのかかった評価になったことは否めない。その上、コミュニケーションラボによるこのコースの、参加前と、参加後、それぞれ順番に測定したことにより、そのつもりはなくても、「これは、参加後だからうまくなっているはず」という、予備知識を頭に入れて測ってしまっているかもしれない。だから、セミナー後 (post) が セミナー前 (pr-

e) よりも 上がったという結果につながっていることも考えられる。

また、ビデオを録画する際、話す内容がセミナー前とセミナー後ということが明らかに分かってしまう内容であった。だから、セミナー前とセミナー後であることがあまり分からないような話す内容をテーマとして設定し、評定の際セミナー前とセミナー後をランダムにならびかえて得点化することで、さらに正確なデータが得られたのではないかと思う。

評価をする際、私たちはひとりひとりの会話を言語化しそれをもとに評価していったこと、そして二人で徹底的に話し合い、その中で身振り・手振り・発言など、細かい点においてまで評価する際に気をつけたことが一致度を高めた結果につながっていった要因である。

第6章 全体の反省と課題

私達は、1997年4月以来、約一年の期間を費やして、本研究を進めてきた。その間に様々な疑問点や問題点を、発見する一方で、私達自身の反省すべきことも山積みであった。そのなかでビデオ測定は、予想以上に体力と気力を要し、評価に、その日の体調や、気分によって左右され、投げやりになりそうになったこともあったことより、時間はくれぐれも多く取った方がいいという結論に至った。

しかし、全体の、一致度並びに、信頼値、そして、得たい結果が得られることができ、ラッキーだったとしか言いようがない。

私たちの論文作成にあたり、セミナーの講師である川島先生、宮川先生にはたいへんご協力いただきました。また、セミナーの参加者の方々にも暖かい声援をいただき、何よりも励みになりました。そして、助言をいただいたゼミ教授の立木先生にも協力していただきありがとうございました。

今後私たちの論文をもとに研究が深められることを期待しております。

[参考文献]

- Berger, S.M. (1962) Conditioning through Vicarious Instigation, *69*, 450-466
- Bistek, F.K. (1957) The Casework Relationship. Loyola, (田代不二男・村越芳男訳「ケースワークの原則」. 誠信書房
- Brammer, L.M., and Shortrom, E.L. (1965) Therapeutic Psychology : Fundamentals of Counseling and Psychotherapy. (1st ed.). Engliwood Cliffs, N.J.: Prentice-Hall.
- Brammer, L.M., and Shortrom, E.L. (1968) Therapeutic Psychology : Fundamentals of Counseling and Psychotherapy. (2nd ed.). Engliwood Cliffs, N.J.: Prentice-Hall.
- Brammer, L.M., and Shortrom, E.L. (1977) Therapeutic Psychology : Fundamentals of Counseling and Psychotherapy. (3rd ed.). Engliwood Cliffs, N.J.: Prentice-Hall..
- Carver, C.S., & Humphries, C. (1981) Havana daydreaming: A study of self-consciousness and the negative reference group among Cuban-Americans. *Journal of Personality and Social Psychology*, *40*, 545-552.
- Daniels, T. (1985) "Microcounseling : Training in Skills of Therapeutic Communication with R.N. Department Program of Nursing Students." Unpublished Doctoral Dissertation , Dalhousie University, Halifax, Nova Scotia.
- Fenigstein, A. (1979) Self-consciousness, self-attention, and interaction. *Journal of Personality and Social Psychology*, *37*, 75-86.
- 春木 豊・岩下 豊彦 (1975) 『共感の心理学』 川島書店
- Hoffman, M.L. (1977) Empathy ,its Development and Prosocial Implications,
- Hogan, R. (1969) Development of empathy scale *J Consult Clin Psychol* *33*, 307-316
Nebraska Symp. on Motivation, 169-174
- 石原愛・佐倉宏和・高木彩余・富岡潤子・西原清子・長谷川千明 (1997) 「大学生における自己受容に関する研究：他者からの受容と自己受容の関係について」
- Ivey, A.E. (1971) *Microcounseling: Innovations in Interviewing Training*. Springfield, Ill. : Chas. C. Thomas.
- Ivey, A.E. (1968) Normington, C. J., Miller, C.D., Morill, W.H., and Hasse, R.F." *Microcounseling and Attending Behavior*. *Journal of Counseling Psychology*,

(Monograph),15, 1-12.

アレン・アイビー (1985) 『マイクロカウンセリング』 川島書店

岩原 信九郎 (1957) 『新訂版 教育と心理のための推計学』 日本文化科学社

栗本かおり (1997) 「青年のコンピテンス尺度」 『関西学院大学社会学部紀要』 78,145-152

国分 康孝 (1979) 『カウンセリングの技法』 誠信書房

中山 和彦 (1984) 『S A Sによるデータ解析 (基礎編 上)』 丸善 (株)

Porter,E.H.jr. (1950) An introduction to therapeutic counseling Boston,Houghton
Mifflin

リップス (昭和9) 大脇 義一郎訳 『心理学原論』 岩波文庫

Rogers,C.R. (1961) 『on becoming person』 .Boston ,Houghton Mifflin

ロジャース (1951) 友田 不二男訳 『カウンセリング、ロジャース選書1』 岩崎学術
出版

佐藤 方哉 (1967) 共感と模倣の行動理論的分析 『科学基礎論研究』 8(3)124-132

Scheier,M.F. (1980) Effects of public and private self-consciousness on the public expressin of personal beliefs. Journal of Personality and Social Psychology,39,514-521.

白石 大介 (1988) 『対人援助技術の実際』 創元社

菅原 健介 (1984) 自意識尺度(self-consciousness) 日本語版作成の試み 『心理学研
究』 55.3,184-188

杉山 憲司 (1982) 共感の実証的研究について (その1) 『東洋大学紀要教養課程編』
21 1-10

杉山 照子 (1966) 『医療におけるケースワークの実際』 医学書院

杉山 照子 (1986) 『伝統的なケースワーク論ー臨床ケースワークの先達ー
臨床ケースワーク』 川島書店

武田 健 (1967) 『カウンセリングの理論と方法』 理想社

武田 健・立木 茂雄 (1981) 『親と子の行動ケースワーク』 ミネルヴァ書房

立木 茂雄 (1997) 『ボランティアと市民社会』 晃洋書房

立木茂雄・倉石哲也・中川千恵美 (1990) 社会福祉対人援助技術教育のためのハイパーメディアシステム構築に関する研究 『社会福祉学』 31,1,218-257

Truax,C.B. Wargo,D., and Silber,D.D. (1966) Effect of high accurate empathy and non-possessive warmth during group Psychotherapy upon female institutionalized delinquents Journal of abnormal Psychology 71 264-267

Truax,C.B.,& Carkhuff,R.R. (1967) Toward effective counseling and psychotherapy Training and practice Chicago:Aldine

Truax,C.B. (1961) a scale for the measurement of accurate empathy Psychiatric Institute Bull 1(12) Wisconsin

津村俊充、山口真人 (1992) 『人間関係トレーニング：私を育てる教育への人間学的アプローチ』 ナカニシヤ出版

山本 和郎・越智 浩二郎 (1965) 治療関係スケールの再構成とその検討 『臨床心理』 4(4) 200-224

Zimmer, J.M., and Park, P. (1967) "Factor Analysis of Counselor Communications." Journal of Counseling Psychology, 14, 198-203

[参考文献]

- Berger, S.M. (1962) Conditioning through Vicarious Instigation, *69*, 450-466
- Bistek, F.K. (1957) The Casework Relationship. Loyola, (田代不二男・村越芳男訳「ケースワークの原則」. 誠信書房
- Brammer, L.M., and Shortrom, E.L. (1965) Therapeutic Psychology : Fundamentals of Counseling and Psychotherapy. (1st ed.). Engliwood Cliffs, N.J.: Prentice-Hall.
- Brammer, L.M., and Shortrom, E.L. (1968) Therapeutic Psychology : Fundamentals of Counseling and Psychotherapy. (2nd ed.). Engliwood Cliffs, N.J.: Prentice-Hall.
- Brammer, L.M., and Shortrom, E.L. (1977) Therapeutic Psychology : Fundamentals of Counseling and Psychotherapy. (3rd ed.). Engliwood Cliffs, N.J.: Prentice-Hall..
- Carver, C.S., & Humphries, C. (1981) Havana daydreaming: A study of self-consciousness and the negative reference group among Cuban-Americans. *Journal of Personality and Social Psychology*, *40*, 545-552.
- Daniels, T. (1985) "Microcounseling : Training in Skills of Therapeutic Communication with R.N. Department Program of Nursing Students." Unpublished Doctoral Dissertation , Dalhousie University, Halifax, Nova Scotia.
- Fenigstein, A. (1979) Self-consciousness, self-attention, and interaction. *Journal of Personality and Social Psychology*, *37*, 75-86.
- 春木 豊・岩下 豊彦 (1975) 『共感の心理学』 川島書店
- Hoffman, M.L. (1977) Empathy ,its Development and Prosocial Implications,
- Hogan, R. (1969) Development of empathy scale *J Consult Clin Psychol* *33*, 307-316
Nebraska Symp. on Motivation, 169-174
- 石原愛・佐倉宏和・高木彩余・富岡潤子・西原清子・長谷川千明 (1997) 「大学生における自己受容に関する研究：他者からの受容と自己受容の関係について」
- Ivey, A.E. (1971) *Microcounseling: Innovations in Interviewing Training*. Springfield, Ill. : Chas. C. Thomas.
- Ivey, A.E. (1968) Normington, C. J., Miller, C.D., Morill, W.H., and Hasse, R.F." *Microcounseling and Attending Behavior*. *Journal of Counseling Psychology*,

(Monograph),15, 1-12.

アレン・アイビー (1985) 『マイクロカウンセリング』 川島書店

岩原 信九郎 (1957) 『新訂版 教育と心理のための推計学』 日本文化科学社

栗本かおり (1997) 「青年のコンピテンス尺度」 『関西学院大学社会学部紀要』 78,145-152

国分 康孝 (1979) 『カウンセリングの技法』 誠信書房

中山 和彦 (1984) 『S A Sによるデータ解析 (基礎編 上)』 丸善 (株)

Porter,E.H.jr. (1950) An introduction to therapeutic counseling Boston,Houghton
Mifflin

リップス (昭和9) 大脇 義一郎訳 『心理学原論』 岩波文庫

Rogers,C.R. (1961) 『on becoming person』 .Boston ,Houghton Mifflin

ロジャース (1951) 友田 不二男訳 『カウンセリング、ロジャース選書1』 岩崎学術
出版

佐藤 方哉 (1967) 共感と模倣の行動理論的分析 『科学基礎論研究』 8(3)124-132

Scheier,M.F. (1980) Effects of public and private self-consciousness on the public expressin of personal beliefs. Journal of Personality and Social Psychology,39,514-521.

白石 大介 (1988) 『対人援助技術の実際』 創元社

菅原 健介 (1984) 自意識尺度(self-consciousness) 日本語版作成の試み 『心理学研
究』 55.3,184-188

杉山 憲司 (1982) 共感の実証的研究について (その1) 『東洋大学紀要教養課程編』
21 1-10

杉山 照子 (1966) 『医療におけるケースワークの実際』 医学書院

杉山 照子 (1986) 『伝統的なケースワーク論ー臨床ケースワークの先達ー
臨床ケースワーク』 川島書店

武田 健 (1967) 『カウンセリングの理論と方法』 理想社

武田 健・立木 茂雄 (1981) 『親と子の行動ケースワーク』 ミネルヴァ書房

立木 茂雄 (1997) 『ボランティアと市民社会』 晃洋書房

立木茂雄・倉石哲也・中川千恵美 (1990) 社会福祉対人援助技術教育のためのハイパーメディアシステム構築に関する研究 『社会福祉学』 31,1,218-257

Truax,C.B. Wargo,D., and Silber,D.D. (1966) Effect of high accurate empathy and non-possessive warmth during group Psychotherapy upon female institutionalized delinquents Journal of abnormal Psychology 71 264-267

Truax,C.B.,& Carkhuff,R.R. (1967) Toward effective counseling and psychotherapy Training and practice Chicago:Aldine

Truax,C.B. (1961) a scale for the measurement of accurate empathy Psychiatric Institute Bull 1(12) Wisconsin

津村俊充、山口真人 (1992) 『人間関係トレーニング：私を育てる教育への人間学的アプローチ』 ナカニシヤ出版

山本 和郎・越智 浩二郎 (1965) 治療関係スケールの再構成とその検討 『臨床心理』 4(4) 200-224

Zimmer, J.M., and Park, P. (1967) "Factor Analysis of Counselor Communications." Journal of Counseling Psychology, 14, 198-203

表1 治療関係スケール（山本・越智、1965）11尺度のうち共感に関係している「セラピストのストランド」の4尺度；

TCE：Experiencing what a therapist accepts his client

FAU：Focussing aspect of Experiencing

RFC：Regert for client

RCT：Manner of relating in therapist

TCE	治療者の体験として取り入れられたクライアントの経験へのかかわり
1	相手から伝わってくることに全く注意を向けない。相手の述べていることの意味もよくわからない。呆然とした形でしか感じられない。自分の中には相手から伝わってきた呆然としたものに対する反応としての経験でいっぱいになっている。たとえば奇妙な、異常な安心できないといった反応でいっぱいになり相手から伝わってくる相手のいわんとしていることにはまったく目が向けられない。
2	相手から伝わってくることに目を向け出すが、それは言葉の一般的な意味の次元でわかろうとする。こちらの中にいるいと実感されていることには目を向けない。言葉の概念的な枠の中でしかとらえない。こちらで持っている常識的な概念的枠組みでその相手の言う言葉の意味をとらえてわかった感じになる。
3	相手から伝わってくる呆然とした実感するようになる。しかしその実感に基づいて相手のいわんとするを理解するのではなく、こちらに持っている常識的な枠組みや専門家的理論的枠組みの一つの要素として理解したりする。こちらに伝わっている実感を感じてもそれに対する吟味は全くしない。
4	相手から伝わってくる実感の次元で相手のことをとらえるようになるが、その場合その伝わってきた実感を吟味して、その上でとらえるのではなくこちらにあらかじめ実感できる面に対応している限り実感できるのであり、その限りでは狭く選択的である。こちらが共鳴できるところで分かったとして安住してしまい、共鳴できない面は無視されたり、概念的にとらえてしまう。実感を定着させる努力はそこにはほとんどみら

	れない。
5	相手から伝わってくる実感を吟味し定着させようとする努力がでてくる。相手から伝わってくる呆然としたものを感じ、それが何か、はっきりととらえようと努力する。今までこうだと受けとっていたものでない面があることに気づいてそれに目が向いてくるが、それを充分実感できないままにいる。実感しようとする努力があるが、実感できていないため概念的な枠組みでの捉え方がまだ残っている。
6	相手から伝わってくる実感に基づいて相手のことをとらえようとする努力の中に定着した実感をする。その定着した実感は乏しいがその実感にそってあいてをとらえようとする動きがでてくる。自分の表現した言葉とそこで実感していることのずれを感じ、そのずれを訂正する動きがとれる。定着した実感から時には離れてしまうが、概念的な枠の中でとらえることはほとんどなくなる。
7	相手から伝わってくる実感が自分の中で豊かに定着してくる。その実感にそった表現が、まだ時々ずれることがあり、ぴったりとしたが表現をさがす努力はまだの残っているが、ずれの修正は自由に行われる。表現と実感のずれが時々あるので相手と十分な一体感を持った動きとまで入っていない。
8	相手から伝わってくる実感が豊かに定着化され広がりを持ってくる。それと同時にその表現もじぶんの気持ちの表現のごとく定着した実感にぴったりして自由になっている。自然な一体感を持った動きとなっている。そこには努力してとらえるという意識もなく自然で自由なうごきがあるだけ。

FAU	クライアントを理解するときの焦点の向け方
1	相手の述べていることがなにを意味しているのかははっきりとは分からない。相手を理解するにもどこに焦点を向けていいのか分からない。相手の姿、相手のしゃべっていることそういうことに目は向けていても、それをどう処理していいか分からない。相手の話の内容を断片的に分かる程度で、まとまった形でなにをうったえているか、はっきりとはわからない。

2	相手の述べている話の内容に目を向ける。相手の訴える問題の内容、症状の内容を相手から切り離れた形でとらえる。話題の中での話の筋道や、因果的なつながりに理解の焦点が絞られる。相手の気持ちの面にまでは、ふれることはしない。
3	相手の述べている話の内容をとらえようとする傾向と同時に、そこにでている気持ちの面にも焦点が向けられる。しかしその気持ちは相手を実感していることとして、とらえているのではなく、相手から切り離れた形で、ある枠組みの中に当てはめてとらえたり理解したりしている。こちらでその気持ちを実感して受け持っているのではなく、内容と気持ちを概念的な枠組みの中に置き換えてとらえる。
4	相手の述べていることの内容と気持ちに焦点が向けられているが、特に気持ちの面に部分的に実感し共鳴するようになる。しかし気持ちが実感できるようになっても、相手の気持ちとして分かるというのではなく、自分の気持ちと共通しているということがよく分かるので、そこでは相手の気持ちとしてとらえることができない。自分の気持ちに共通していない面は、実感できないため、概念的な枠組みの中で置き換えてわかろうとする。
5	相手の伝えていることの内容面よりも、気持ちの面に焦点が向けられる。それと同時にその気持ちを相手の感じている気持ちとしてとらえようとする努力がでてくる。相手が自分の問題に対しどう取り組んでいるかに関心が向けられるが、そのことが大切だということが分かってきたところで、実感のレベルでとらえるまでにはほとんど達していない。焦点がそこにあっても、とらえたものは相手から離れた概念的なものになっている。
6	相手の伝えていることから相手が自己の直面している問題にどういう気持ちを抱きどのように取り組もうとしているかという点に深い関心が寄せられ、相手そのものの動きとしてとらえることができてくる。しかし、まだ相手の一瞬一瞬移り変わる動きそのものをぴったりととらえることができるまでいっていない。相手の動きを相手から離れたところでとらえがちなところが残っている。
7	相手の伝えていることから、相手の取り組み方そのものに充分深い関心が向けられ相手の動きの一瞬一瞬移り変わる動きそのものをぴったりととらえることができるようになる。しかしまだ相手の取り組み方としてとらえるという捉え方で、相手と充分な一体感を持った捉え方に達して

	いない。
8	相手の取り組み方、そのものに充分深い関心が向けられ、相手の動きを一瞬一瞬新しい動きとして豊かにとらえながら、さらには相手のものとしてという意識はほとんどなく、充分な一体感を伴って受け取れている。

RFC	クライアントに対する関心のあり方
1	相手に対して聞こうとする態度はあるが、それは全く表面的なもので、内心では相手そのものに様々に反応しており、時にそのまま聞くことが耐えられないほどの否定感情がでてしまっている。相手そのものに対して関心を寄せることは全くできないでいる。
2	相手に対して一応聞く態度はある。しかし相手を問題を持っている人、異常な人悩みのある人としておくことで聞いているので、相手の提出する問題、症状についてその人と切り離して聞いている。その人のその問題への気持ちの持ち方取り組み方になるとなぜそういう気持ちになるのか、そんな取り組み方をするのか、相手から離れたこちらで感情的に反発したくなる。どうにかしなくてはならない人としてControlしたくなりいらいらする。
3	相手に対して一応聞く態度がある。しかしそれはこちらに持っている枠組みにあわせて相手をとらえようとする態度で、相手の問題やその問題への取り組み方をこちらの枠組みの中で解釈し、ある方向へ向かっていくことを肯定したり、否定したりする。相手そのものの方向をそのまま認めることはしないで、こちらがControlする意識が強い。相手がControlに従わないと否定的な感情がでてくる。
4	相手に対し意識的にある枠組みの中でとらえようとする態度はほとんどないが自分で意識してない枠があり、相手の捉え方はこちらの実感できる面では捉えられず、相手そのものの姿として捉えることができない。こちらの実感できた範囲内で相手をこうだと分かった感じを持ち、その相手が肯定できれば安心し、肯定できないと不安になり、頼りない人と感ずる。こちらの受け取り方にそった方向に相手が向かうことを期待する。ときにはControl意識もでてくる。

5	相手の取り組み方そのものを聞こうとする努力がでてくる。しかし、相手の姿が何かあるのだと頭では認められても、現実には部分的にしか伝わってこない。否定感情はほとんどないが、受け取れない感じられない面が全面にでて、それにふれられないもどかしさが伴う。聞こうとする努力が全面にでて、それにこだわるので、相手を充分肯定できないで、相手の動きを限定し、束縛してしまうことがある
6	相手の取り組み方、動きそのものをそのまま認めることができるようになる。相手の姿そのものにその人らしさというものを少しずつ感じられてくるが、まだ充分でなく、どこかこちらの受け取り方の偏りや、やや概念的な受け取り方で、相手を限定する傾向が残っている。しかし相手らしさをそれとしておいておける段階になっている。
7	相手の取り組み方、動きそのものをより深く認めることができる。その人らしさの中に広がりを持った実感を感じだしてきて、その人らしさがそのまま伝わってくる。相手を限定する傾向はわずかしか残っていない。しかしその人らしさとしておいておく傾向があり、より深く一体感を持つまでには至っていない。
8	その人らしさがより大きな豊かな広がりを持ち生き生きとした実感として響いてきてその人のあり方がより深いところで伝わってきて、それを充分認められるようになる。そこには相手を前にしているという意識もなく、相手そのものに、ほとんど一体感を持って素直に対せている。

RCT	クライアントとの関係の持ち方
1	相手の存在、内的世界がそこにあるということは全く無視されているか、またはそれがあることに気づいていない。相手はただこちらが反発し、反応する対象でしかなくふれあうことは全くできない。
2	相手の存在、内的世界がそこにあるということはほとんど無視されている。相手から提供される問題、訴えの内容を相手から切り離れたところで問題にし相手のない的世界にふれることはほとんどしない。こちらはこちらで自分の存在を聞く役割に限定して相手と面している。その意味で全く相手の存在と離れた関係を保ち遠うざかっている。

3	相手の存在、内的世界がそこにあることを考慮し出すが、実感する段階に至っていない。相手の存在を独自の存在として捉えることをしないで、むしろ一般的な枠組みの中に置き換え、その枠組みの中で相手とふれようとする。その意味で相手の存在を距離を置いて冷静に眺められる立場に立つことで、相手との関係を持とうとする。
4	相手の存在、内的世界を実感し出すが、それは一部であり、しかもその実感は相手のものとしてではなく、自己の内的世界での体験とごっちゃになっている。相手を独自の存在としてみることはできず、こちらの内的世界と類似しているか相違しているかという相対的な対象としてしか、限定された一部の相手にしかふれられていない。相手の内的世界の一部に近づくが、他の面は離れている。
5	相手の存在、内的存在が実感されてはいるが、その実感された相手の内的世界がその人独自のものらしいということは分かってきても、それを実感できないままている。その独自性が分からず、相手が遠くにいるような感じを持つときもあり、それにふれようと努力して結果的には4の段階の関係を持ったりする。また独自性の呆然とした感じはこちらを不安にさせ、自己と他者の分離を充分実感できないままている。
6	相手の独自の存在、内的世界があるのだということが実感され出す。相手の独自の世界内のこととして、自己と切り離して捉えることができる。しかし相手の独立な世界が自分と切り離されたところにある感じがして不安が潜んでくる。相手の独自の世界として捉えていても、それに近づいたり、働きかけたりする時、相手の独自の世界が見えなくなる。
7	相手の独自の存在、内的世界をそのまま自己と独立に存在していること十分に認めることができるようになる。自己と他者の分離ははっきりしていて、ごっちゃになったり、独自性が見えなくなることはない。しかし相手の世界と自己の世界のつながりが充分には実感されないままている。
8	相手の独自の世界をそこにそのまま自己と独立な存在として認めるだけでなく、自己の世界と相手の世界とのつながりが充分に実感されたくる。相手と自己の独自の世界がそこに一体感を持って深いつながりを持った存在として、深く実感される。

表2・質問紙（自己発見尺度）

1. 自己受容測定尺度の理論モデルと項目

下位尺度	変数	質問項目
(構成概念)		
「自己信頼」	「現在」	自分の力を信じることができる。 自分は頼りにならない。 自分がしていることはいつか実と思う。 私は自分に自信がある。 自分は将来成功しないだろう。
	「否定的」	生きていても仕方がないと思う。 自分はどうしようもない人間だ。 自分はつまらない人間だ。 自分は役に立たないだ。
「自己価値」	「肯定的」	自分は貴重な存在だ。 自分は他人にはないものがある。 自分が今までにやってきたことを誇りに思う。
	「否定的」	人をうらまやしく思う。 自分のやってきたことは失敗ばかりだった。
「自己承認」	「肯定的」	今の自分を受け入れることができる。 今の自分に満足している。 自分のことが好きである。
	「否定的」	自分のことがよくわからない。 自分の性格を自分でも理解できない。 自分がどうい人間か人には説明できない。 自分のことは自分が一番よく知っている。
「自己理解」	「表現」	自分の長所と短所がすぐに言える。 自分の特徴がすぐに言える。
	「分析」	主観的にしか自己分析できない。

2. コンピテンス尺度の理論モデルと項目

下位尺度	変数	質問項目
(構成概念)		
「社会的知識」	「規則・常識」	規則やルールはきちんと守る。 規則は、守っても守らなくてもよいものである。 相手がだれでも、普段と全く同じ話し方で話している。 常識がないとよく言われる。
	「適切さ」	

この一言は今言うべきではない、という判断ができる。

場の雰囲気壊さないように気を付ける。

「不適切さ」

本当のことを言ってしまって気まずい雰囲気になることが
しょっちゅうだ。

グループないで面白くないことがあると、すぐに顔に出てしまう。

「共感」

「無関心」

友人が落ち込んだ顔をしていても何とも思わない。

友人の相談にのるのはめんどろくさい。

人がケガをしているのを見ても、別になんともない。

他人が悲しんでいても、自分に害が及ばない限り関係ない

「肯定感情」

友達の言い話を聞くと、自分もうれしくなる。

友人が喜んでると自分もうれしくなる。

「否定感情」

ニュースで悲惨な事件を聞くと、胸が痛む。

友人がため息を付いていると「どうしたん？」と聞いてみる。

友達が落ち込んでいれば、気持ちを分かってあげようと思う。

友達から、悩みを相談されたとき、「もし私だったら・・・」

と考える。

「博愛」

自分が何かをすれば幸せになれる人がいるのなら、何とかし
てあげたい。

他人のことを気遣うのは当然のことだ。

「場のコントロール」

「クラス内」

話し合いの場ではあまり意見を言いたくない。

クラスのリーダーなどに選ばれるのは私にとって辛いことだ。

活発に意見を発言する。

グループで何かをするときはみんなをまとめた。

「環境」

私の言動は周囲に何らかの影響を与える。

私とその気になれば、みんなを動かすことができる。

自分には人を引っ張っていく力がある。

「効用」

自分のやりたいことに少しでも邪魔が入ったら途中で諦めてしまう。

自分がやりたいことは困難にぶつかっても、絶対にやり遂げる。

私は何かをやり遂げられる力があるはず

3. 自意識尺度の理論モデルと項目

下位尺度	変数	質問項目
(構成概念)		
「自意識」		
「公的自意識」		自分が他人にどう思われているのか気になる。 世間体など気にならない。 人に会うとき、どんなふうふるまえばよいのか気になる。 自分の発言を他人がどう受け取ったか気になる。 人に見られていると、つかっこうをつけてしまう。 自分の容姿を気にする方だ。 自分についてのうわさに関心がある。

人前で何かする時、自分のしぐさや姿が気になる。
他人からの評価を考えながら行動する。
初対面の人に、自分の印象を悪くしないように気づかう。
人の目に映る自分の姿に心を配る。

「私的自意識」

自分がどんな人間か自覚しようとつとめている。
その時々のお持ちの動きを自分自身でつかんでいたい。
自分自身の内面のことには、あまり関心がない。
自分が本当は何をしたいのか考えながら行動する。
ふと、一歩離れたところから自分をながめてみることもある。
自分を反省してることが多い。
他人を見るように自分をながめてみることもある。
しばしば、自分の心を理解しようとする。
つねに、自分自身を見つめる目を忘れないようにしている。
気分が変わると自分自身でそれを敏感に感じ取る方だ。

聞き手の評価記録

特に評価のポイントとなった会話や、素振り・身振りについて、付録の会話集に、数字が付け加えられている。ここでは、それらを中心に、評価していった経過について述べる。

聞き手 1

データ(前)

TCEx=2 FAU=1 RFC=3 RCT=2

留意点

全体としては、聞き手ペース、質問するということで、頭がいっぱいのようで、質問数も多い。姿勢は硬直している。

手の動きが目につく。(会話1)

うなずきが会話を切り上げていて相手の話すことを最後まで聞けていない。(会話2、3、5)

緊張を和ませる雰囲気をもつ。(会話4)

FAUの得点が低いのは、質問の中で、因果的なつながりになっているものが多く、相手の気持ちの面にまで触れていない。

データ(後)

TCEx=3 FAU=3 RFC=3 RCT=3

留意点

全体として、暖かい雰囲気をもつ。

話しての言葉のポイントをうまく繰り返している。(会話6)

さらに詳しく話してもらった質問が効果的になされている。(会話7)

うなずきが会話を切り上げている。(会話8)

分かりにくい質問を使っている。(会話9)

RCTについては、聞き手ペースだけではなくってきた。

聞き手2

データ (前)

TCEx=3 FAU=2 RFC=3 RCT=3

留意点

場にそぐわないうなずきが多い。

聞き手が話し手となってしまっている。(会話1、2)

のけぞって座っているが、話し手もそういう姿勢だったので、距離の取り方が上手。

明確化が効果的に使われている。(会話3)

RCTとRFCの得点について、自己の世界と混同してしまっているところがある。

データ (後)

TCEx=3 FAU=3 RFC=3 RCT=4

留意点

内容の上手な切り替えがされてる。(会話4)

話しての言いたい内容のポイントをついた質問を使用。(会話5、6)

明確化のようでもあるが、少しコントロールもしている。(会話7)

RCTについて、話し手の存在や内的世界を実感し始めている。

聞き手3

データ (前)

TCEx=1 FAU=2 RFC=2 RCT=2

留意点

そっけない(会話1)

「どんな」という言葉を使うことで、話し手に、期待するものがないといけないといった感じを受ける質問になっている。(会話2)

次々と質問することで詰問している印象を受ける。(会話3-7)

聞き手の思いこみによる主張となっている。(会話8)

明確化が効果的に使われている。(会話9)

沈黙を守っているが、表情が、威圧的だ。(会話10)

TCExの得点が低いのは、話し手の言おうとしていることに目がむけられていない。

データ（後）

TCEx= 3 FAU= 3 RFC= 3 RCT= 2

留意点

話を遮っている。（会話 1 1）

聞き手の思いこみによる主張となっている。（会話 1 2）

明確化が効果的に行われている。（会話 1 3）

話し手の気持ちを聞こうとしている。（会話 1 4）

表情が少し怖い。（会話 1 5）

前よりも後の得点が上がったのは、全体的に、話し手の言うことに耳を傾ける姿勢が見られたためである。

聞き手 4

データ（前）

TCEx= 3 FAU= 3 RFC= 3 RCT= 3

留意点

全体的に話し手のペースを作るのが上手。

促しがうまくなされている。(会話1)

うなずきが、会話にふさわしい。(会話2)

RCTの得点については、話し手が話しやすそうなことを考慮に入れた。

データ (後)

TCE_x=3 FAU=3 RFC=4 RCT=4

留意点

共感を示したよううなずきがされている。(会話3)

かかわり方がうまく、沈黙もうまくつかえている。(会話4-9)

RCTとRFCについて、うまく沈黙を使うことにより、相手の内的世界を尊重していることが伺えるとともに、みだりにうなずくわけでもないことが、得点アップの要因である。

聞き手5

データ（前）

TCE_x=3 FAU=2 RFC=3 RCT=2

留意点

手がもぞもぞしている。（会話1）

話し手が話したいことのポイントをついている。（会話2）

効果的に開かれた質問を使っている。（会話3）

TCE_xは、話し手がぼつりぼつりと話を進めていくペースにあったかかわり方をして、相手から伝わってくる実感を感じているのが評価のポイントとなった。

データ（後）

TCE_x=3 FAU=2 RFC=3 RCT=3

留意点

話し手がさらに詳しいことをいえるようにうまく促している。（会話4）

RCTは、前では、聞き手に徹しすぎたきらいがあったが、後では、それよりもうまく関わられていることが得点が上がる要因となっている。

聞き手 6

データ (前)

TCE_x=2 FAU=2 RFC=3 RCT=2

留意点

全体的に、楽な少し前傾の姿勢が、ゆっくりとした雰囲気を作っている。

ああ、そうですか、と、あいづちをうっているのだが、単に、言葉を発するだけにとどまり、感情がこもっていない。(会話 1-3)

RFCについて、話し手の言うことを、発声によるうなずきで、常に返せていたことを考慮し

た。

データ（後）

TCE_x=3 FAU=3 RFC=3 RCT=2

留意点

共鳴しているようだ。（会話4）

他人行儀な応答である。（会話5）

聞きたい質問があるとまだ、話し手が他のことを話していてもそれを気にしてあまり聞く姿勢が見られない。（会話6）

FAUについて、共鳴されていることにより得点が上がった。

聞き手7

データ（前）

TCE_x=3 FAU=1 RFC=3 RCT=2

留意点

全体的にうなずきがその場に応じたうまい具合のものである。

いきなり文脈のない質問をした。沈黙がうまく待てない。（会話1、3）

うまく共感がされている内容の言葉である。（会話2）

FAUの得点については、質問が唐突なことにより低得点となった。

データ（後）

TCE_x=3 FAU=2 RFC=3 RCT=3

留意点

前に引き続きうなずきは、上手である。

話しての話していることのポイントをうまく繰り返せている。（会話4、5、8）

文脈に沿っていない質問である。（会話6）

自己主張が目立つ。（会話7）

RCTで、繰り返しのポイントをうまくつくことができているので、話し手の、内的世界を実感しだしていることにより得点が上がった。

聞き手 8

データ (前)

TCE_x=4 FAU=3 RFC=3 RCT=3

留意点

全体として手が固まっていて、緊張気味である。

とってつけたような質問で、しなくても、話し手は話を続けるだろう発言である。(会話 1)

相手の話のポイントを得ている。(会話 2)

TCE_xは、発声とうなずきをうまく使いこなせていることを考慮したものである

データ (後)

TCE_x=5 FAU=4 RFC=5 RCT=4

留意点

全体的に、間がうまく取れている。

明確化が効果的にされている。(会話3)

うまく、うながしがされている。(会話4)

うなずきが、実感がこもっている。(会話5)

RFCについて、話し手のはなしを心から聞いていて、そして、話し手の内的世界をコントロールする意識があまりないということで、得点が高くなった。

聞き手9

データ (前)

TCE_x=4 FAU=3 RFC=3 RCT=3

留意点

話し手のはなしを切り上げている。(会話1)

聞き手の自己主張のようだが、かえって励ましになり、ここから、話し手は、たくさん話し始めた。(会話2、3、4)

自己主張が少し過ぎた。(会話5)

TCExについて、話し手から伝わってくることを、話し手独自の事として、とらえようとする姿勢により、点数が高くなった。

データ (後)

TCEx=4 FAU=4 RFC=4 RCT=4

留意点

全体的に会話のテンポをうまく醸し出している。

開かれた質問が効果的に使用された。(会話6)

話し手の言いたい言葉をうまく言い表している。(会話7-10)

FAUの得点が上がったのは、質問が、話し手の気持ちに焦点が向けられていることによる。

聞き手 10

データ (前)

TCE_x=2 FAU=2 RFC=3 RCT=2

留意点

聞きたい質問に意識がたって、話し手の話をあまり聞けていない。(会話1)

うなずきがあまりふさわしくない。(会話2)

RFCにおいて、話し手の話すことを一応聞こうとしていて、穏やかな雰囲気作りがなされていたことを考慮した。

データ (後)

TCE_x=4 FAU=3 RFC=3 RCT=3

留意点

全体的に好意的な雰囲気がある。

間がうまく取られている。(会話3)

自己主張が少しでている。(会話4、7)

声の大小が効果的に使われていて、共感もこもっている。(会話5、6)

TCE_xの得点が上がったのは、共鳴的な会話や、姿勢がとられていたためである。

聞き手 1 1

データ (前)

TCE_x=2 FAU=2 RFC=2 RCT=2

留意点

全体的に、聞こうとしている姿勢はあるようなのだが、話し手の話しているポイントをつかめていないところがある。

質問が、尻切れトンボになっている。(会話 1)

明確化が効果的になされている。(会話 2)

ポイントがうまくつかめていないので全体的に低得点となった。

データ (後)

TCE_x=2 FAU=2 RFC=3 RCT=2

留意点

質問のポイントが定まっていない。(会話 3、4)

沈黙は、全体的に、うまく使えている。

少し自己主張が入るところがある。(会話 5-7)

RFCは、聞く態度が、物腰柔らかであったので得点が上がったと思われる。

聞き手 1 2

データ (前)

TCE_x= 2 FAU=1 RFC=2 RCT=2

留意点

全体的に落ち着きがなく体が揺れ、手ももぞもぞ動いている。

会話をコントロールする傾向がある。

会話を切り上げている。(会話 1)

聞き手と話し手が逆転している。(会話 2)

FAUは、話し手の話す内容をとらえることがあまりうまくなく、自分の言いたいことに焦点が向いてしまう傾向があるので、低得点となった。

データ (後)

TCE_x= 2 FAU= 2 RFC= 3 RCT=2

留意点

開かれた質問が効果的に使われている。(会話 3)

明確化がうまくなされている。(会話 4)

話し手の内容を、歪曲的に表現している。(会話 5)

全体的に聞き手のペースで会話がされている。

RFCは、話をコントロールしている面もあるが、聞く姿勢が話し手に効果的に向けられているので、得点につながった。

聞き手 1 3

データ (前)

TCE_x= 2 FAU= 2 RFC= 3 RCT= 3

留意点

全体的に自己主張が多くなっている。

うなずきの回数が少し多いが、うまい具合に励ましになっている。

RCTについては、話し手の内的世界を独自のものとして実感している事が、得点につながった。

データ (後)

TCE_x= 2 FAU= 2 RFC= 3 RCT= 3

留意点

自己主張が比較的目立つ。

焦点があまり定まらずに、話が飛ぶときがある。

全体的にうなずきは、上手である。

FAUについて、話し手の気持ちに焦点が向けられず、話題の中でも話の筋道に焦点がむけられている。

聞き手 1 4

データ (前)

TCE_x= 3 FAU= 2 RFC= 3 RCT= 2

留意点

うなずきが、全体的にオーバーである。

明確化がされている。(会話 1)

聞く態度で、視線が話し手に好意的に向けられていることが励ましになっている。

RFCについて、聞く態度に興味があるような点が得点に結びついている。

データ (後)

TCE_x= 3 FAU= 3 RFC= 4 RCT= 3

留意点

話し手の話している内容のポイントがうまく明確化されている。(会話 2)

話にあったジェスチャーをしている。(会話 3)

話の転換がうまくなされている。(会話4)

FAUが、上がったのは、焦点が会話にうまく沿っていたことも考慮に入れた。

聞き手15

データ(前)

TCE_x= 3 FAU= 3 RFC= 4 RCT= 3

留意点

話し手の話したいポイントをうまく繰り返しが出来ている。(会話1、3、4)

話し手が言葉に詰まって、沈黙となっても、うなずきを入れることにより、話し手への励ましとなっている。(会話2)

質問によって、会話が飛んでしまった。(会話5)

話し手の内容重視で、気持ちに触れていない。(会話6)

RFCとFAUについて、話し手の気持ちもうまく明確化でき、一生懸命聞いているという姿勢が、見られた。

データ(後)

TCE_x= 3 FAU= 3 RFC= 4 RCT= 3

留意点

全体的にうまく話し手のペースを保っている。

実感がこもった励ましをしている。(会話7-12)

うながしが、上手にされている。(会話13)

RCTについて、聞き手として自分を置くことで、相手との関係を保とうとしている。

聞き手16

データ(前)

TCEx= 3 FAU= 2 RFC= 3 RCT= 2

留意点

終始、手がもぞもぞとしていた。

質問によって会話の話題が飛んでしまった。(会話1)

共鳴を話し手にしている。(会話2、3)

話し手を名前と呼ぶことで、会話を効果的になり立たせている。(会話3)

FAUについて、質問が全体的に多いことで、話し手の気持ちにまでは触れられなかった。

データ(後)

TCEx= 3 FAU= 2 RFC= 3 RCT= 3

留意点

全体的に表情が豊かである。

自己主張が目立つところもある。（会話4ー7）

RCTについて、話し手の内的世界を考慮していることが、表情から見えてきた。

聞き手17

データ（前）

TCE_x= 2 FAU= 2 RFC= 3 RCT= 2

留意点

聞いてることがわかるような姿勢がよい。

励ましが効果的にされている。（会話1）

共鳴の表現の仕方が上手である。（会話2）

RFCについて、関心のあり方が効く姿勢によく表れていて、話し手をとらえようとしている。

データ（後）

TCE_x= 3 FAU= 2 RFC= 3 RCT= 3

留意点

全体的に聞く姿勢は上手である。

繰り返しが効果的にされている。(会話3-6)

FAUについて、話し手の述べている話の内容に目を向け、気持ちの面までは触れていない。

聞き手18

データ(前)

TCE_x= 4 FAU= 3 RFC= 3 RCT= 3

留意点

全体的にうなずきの回数が多いが、話し手とのテンポが合っていた。

明確化がされている。(会話1)

会話の流れをうまくくんだ開かれた質問である。(会話2)

少し、うなづきがおおげさになるときがある。

RFCについて、会話の内容が話しやすいものであったので、会話の展開もよく、得点につながった。

データ(後)

TCE_x= 3 FAU= 3 RFC= 4 RCT= 3

留意点

全体的に話し手が情熱的に話していたので、聞き手に徹していた。

うなずきが効果的になされていた。

RFCについて、聞く姿勢が上手なため、話し手のペースで会話が進んでいった。

聞き手 19

データ（前）

TCE_x= 2 FAU= 2 RFC= 2 RCT= 2

留意点

座る姿勢がのけぞって、顔の表情もこわばっていたので、少し威圧感があった。

感情がこもっていないうなずきが多かった。

遮るような感じのうなずきであった。（会話1）

RCTについて、話の内容を話し手と切り離れた形で、会話を進めるので、話し手の気持ちにまでは触れなかった。

データ（後）

TCE_x= 2 FAU= 2 RFC= 2 RCT= 2

留意点

明確化がされている。(会話2、3)

開かれた質問が効果的にされている。(会話4)

話し手話より自分の話を優先させている。(会話5)

RCTについて、話の内容を話し手と切り離れた形で、会話を進めるので、話し手の気持ちにまでは触れなかった。

聞き手20

データ (前)

TCE_x= 2 FAU= 1 RFC= 3 RCT= 2

留意点

話し手の話しやすい表情でうなずいている。

終始、聞き手のペースであった。

FAUについて、断片的な内容がわかるだけでまとまらない。

データ (後)

TCEx= 2 FAU= 2 RFC= 2 RCT= 2

留意点

繰り返しが効果的である。(会話1)

一般的な枠組みに当てはめようとする傾向である。(会話2-6)

自己主張が目立つ。(会話5)

RCTについて、話の内容を話し手と切り離れた形で、会話を進めるので、話し手の気持ちにまでは触れなかった。

聞き手 2 1

データ (前)

TCEx= 3 FAU= 2 RFC= 3 RCT= 3

留意点

全体的に聞き手のペースである。

うなずきは、ただ相づちを打っているという感じで淡々としている。

話し手の話を切り上げている。(会話1-4)

表情が豊かである。

FAUについて、話の内容重視で、話し手の気持ちには触れられていないことを考慮に入れている

る。

データ（後）

TCE_x= 2 FAU=2 RFC=3 RCT=2

留意点

笑顔がその会話を和ます雰囲気を持っている。

話を歪曲的に捉えている。（会話5）

続くような会話であったが、励ましにより、中断されてしまった。（会話6）

自己の意見がみられた。__（会話7）

TCE_xについて、言葉の意味は話し手が実感していることから離れて、言葉の概念的な枠の中でしか捉えないのに、判った感じになることから考えた。

聞き手22

データ（前）

TCE_x= 3 FAU=2 RFC=3 RCT=3

留意点

全体的に、話し手が話しやすい雰囲気を作っている。

うなずきによって、話し手が話しやすい流れを作る。

話し手の話の流れを汲んでいるような質問である。(会話1)

RFCについて、うなずきが話し手に関心があるように効果的にされていたので、得点につながった。

データ (後)

TCE_x= 3 FAU= 3 RFC= 4 RCT= 3

留意点

全体的に話し手の話すことや、感じていることを捉えようとする姿勢が非常にみられる。

閉ざされた質問が効果的にされて、それが明確化にもなっていることもある。(会話2-6)

RFCの高得点は、話し手に感情をうまく引き出そうとする姿勢が見えることから。

聞き手23

データ (前)

TCE_x= 3 FAU= 2 RFC= 3 RCT= 2

留意点

全体的に視線が落ち着いておらず、こわばった感じであった。

今現在の感情を聞き手が素直に出せている。（会話1）

話し手の気持ちを捉えようと努力のみられる質問である。（会話2）

RFCについて、緊張の中でも話し手に関心に向ける努力がみられた。

データ（後）

TCE_x= 2 FAU=2 RFC=3 RCT=2

留意点

明確化が効果的にされている。（会話3）

聞き手により、話題が転換されている。（会話4）

TCE_xについて、話し手の感情に触れると言うよりは、一般的な枠組みに捉える傾向がみられた。

聞き手24

データ（前）

TCE_x= 2 FAU=3 RFC=3 RCT=2

留意点

聞き手のペースで会話が進んでいる。

自己主張が多くなっている。（会話1、2）

TCExについて、一般的な概念で話し手のことを捉えようとしていることが多い。

データ（後）

TCEx= 2 FAU=2 RFC=3 RCT=2

留意点

全体的に聞き手のペースになっている。

自分の意見を押しつけているような質問をしている。（会話3、6）

明確化がされている。（会話4）

自分の意見を述べている。（会話5）

FAUについて、話し手の気持ちにまでは触れた質問をしていない。

聞き手の評価記録

特に評価のポイントとなった会話や、素振り・身振りについて、付録の会話集に、数字が付け加えられている。ここでは、それらを中心に、評価していった経過について述べる。

聞き手 1

データ(前)

TCEx=2 FAU=1 RFC=3 RCT=2

留意点

全体としては、聞き手ペース、質問するということで、頭がいっぱいのように、質問数も多い。姿勢は硬直している。

手の動きが目につく。(会話1)

うなずきが会話を切り上げていて相手の話すことを最後まで聞けていない。(会話2、3、5)

緊張を和ませる雰囲気をもつ。(会話4)

FAUの得点が低いのは、質問の中で、因果的なつながりになっているものが多く、相手の気持ちの面にまで触れていない。

データ (後)

TCEx=3 FAU=3 RFC=3 RCT=3

留意点

全体として、暖かい雰囲気をもつ。

話しての言葉のポイントをうまく繰り返している。(会話6)

さらに詳しく話してもらった質問が効果的になされている。(会話7)

うなずきが会話を切り上げている。(会話8)

分かりにくい質問を使っている。(会話9)

RCTについては、聞き手ペースだけではなくなってきた。

聞き手2

データ (前)

TCEx=3 FAU=2 RFC=3 RCT=3

留意点

場にそぐわないうなずきが多い。

聞き手が話し手となってしまっている。(会話1、2)

のけぞって座っているが、話し手もそういう姿勢だったので、距離の取り方が上手。

明確化が効果的に使われている。(会話3)

RCTとRFCの得点について、自己の世界と混同してしまっているところがある。

データ (後)

TCEx=3 FAU=3 RFC=3 RCT=4

留意点

内容の上手な切り替えがされてる。(会話4)

話しての言いたい内容のポイントをついた質問を使用。(会話5、6)

明確化のようでもあるが、少しコントロールもしている。(会話7)

RCTについて、話し手の存在や内的世界を実感し始めている。

聞き手3

データ(前)

TCE_x=1 FAU=2 RFC=2 RCT=2

留意点

そっけない(会話1)

「どんな」という言葉を使うことで、話し手に、期待するものがないといけないといった感じを受ける質問になっている。(会話2)

次々と質問することで詰問している印象を受ける。(会話3-7)

聞き手の思いこみによる主張となっている。(会話8)

明確化が効果的に使われている。(会話9)

沈黙を守っているが、表情が、威圧的だ。(会話10)

TCE_xの得点が低いのは、話し手の言おうとしていることに目がむけられていない。

データ(後)

TCE_x=3 FAU=3 RFC=3 RCT=2

留意点

話を遮っている。(会話11)

聞き手の思いこみによる主張となっている。(会話12)

明確化が効果的に行われている。(会話13)

話し手の気持ちを聞こうとしている。(会話14)

表情が少し怖い。(会話15)

前よりも後の得点が上がったのは、全体的に、話し手の言うことに耳を傾ける姿勢が見られたためである。

聞き手4

データ(前)

TCE_x=3 FAU=3 RFC=3 RCT=3

留意点

全体的に話し手のペースを作るのが上手。

促しがうまくなされている。(会話1)

うなずきが、会話にふさわしい。(会話2)

RCTの得点については、話し手が話しやすそうなことを考慮に入れた。

データ(後)

TCE_x=3 FAU=3 RFC=4 RCT=4

留意点

共感を示したようになずきがされている。(会話3)

かかわり方がうまく、沈黙もうまくつかえている。(会話4-9)

RCTとRFCについて、うまく沈黙を使うことにより、相手の内的世界を尊重していることが伺えるとともに、みだりにうなづくわけでもないことが、得点アップの要因である。

聞き手5

データ (前)

TCE_x=3 FAU=2 RFC=3 RCT=2

留意点

手がもぞもぞしている。(会話1)

話し手が話したいことのポイントをついている。(会話2)

効果的に開かれた質問を使っている。(会話3)

TCE_xは、話し手がぼつりぼつりと話を進めていくペースにあったかかわり方をして、相手から伝わってくる実感を感じているのが評価のポイントとなった。

データ (後)

TCE_x=3 FAU=2 RFC=3 RCT=3

留意点

話し手がさらに詳しいことをいえるようにうまく促している。(会話4)

RCTは、前では、聞き手に徹しすぎたきらいがあったが、後では、それよりもうまく関わられていることが得点が高くなる要因となっている。

聞き手6

データ (前)

TCE_x=2 FAU=2 RFC=3 RCT=2

留意点

全体的に、楽な少し前傾の姿勢が、ゆっくりとした雰囲気を作っている。

ああ、そうですか、と、あいづちをうっているのだが、単に、言葉を発するだけにとどまり、感情がこもっていない。(会話1-3)

RFCについて、話し手の言うことを、発声によるうなずきで、常に返せていたことを考慮した。

データ (後)

TCE_x=3 FAU=3 RFC=3 RCT=2

留意点

共鳴しているようだ。(会話4)

他人行儀な応答である。(会話5)

聞きたい質問があるとまだ、話し手が他のことを話していてもそれを気にしてあまり聞く姿勢が見られない。(会話6)

FAUについて、共鳴されていることにより得点が上がった。

聞き手 7

データ (前)

TCE_x=3 FAU=1 RFC=3 RCT=2

留意点

全体的にうなずきがその場に応じたうまい具合のものである。

いきなり文脈のない質問をした。沈黙がうまく待てない。(会話1、3)

うまく共感がされている内容の言葉である。(会話2)

FAUの得点については、質問が唐突なことにより低得点となった。

データ (後)

TCE_x=3 FAU=2 RFC=3 RCT=3

留意点

前に引き続きうなずきは、上手である。

話しての話していることのポイントをうまく繰り返せている。(会話4、5、8)

文脈に沿っていない質問である。(会話6)

自己主張が目立つ。(会話7)

RCTで、繰り返しのポイントをうまくつくことができているので、話し手の、内的世界を実感しだしていることにより得点が上がった。

聞き手 8

データ (前)

TCE_x=4 FAU=3 RFC=3 RCT=3

留意点

全体として手が固まっていて、緊張気味である。

とってつけたような質問で、しなくても、話し手は話を続けるだろう発言である。(会話 1)

相手の話のポイントを得ている。(会話 2)

TCE_xは、発声とうなずきをうまく使いこなせていることを考慮したものである

データ (後)

TCE_x=5 FAU=4 RFC=5 RCT=4

留意点

全体的に、間がうまく取れている。

明確化が効果的にされている。(会話 3)

うまく、うながしがされている。(会話 4)

うなずきが、実感がこもっている。(会話 5)

RFCについて、話し手のはなしを心から聞いていて、そして、話し手の内的世界をコントロールする意識があまりないということで、得点が高くなった。

聞き手9

データ（前）

TCE_x=4 FAU=3 RFC=3 RCT=3

留意点

話し手のはなしを切り上げている。（会話1）

聞き手の自己主張のようだが、かえって励ましになり、ここから、話し手は、たくさん話し始めた。（会話2、3、4）

自己主張が少し過ぎた。（会話5）

TCE_xについて、話し手から伝わってくることを、話し手独自のこととして、とらえようとする姿勢により、点数が高くなった。

データ（後）

TCE_x=4 FAU=4 RFC=4 RCT=4

留意点

全体的に会話のテンポをうまく醸し出している。

開かれた質問が効果的に使用された。（会話6）

話し手の言いたい言葉をうまく言い表している。（会話7－10）

FAUの得点が上がったのは、質問が、話し手の気持ちに焦点が向けられていることによる。

聞き手 10

データ (前)

TCE_x=2 FAU=2 RFC=3 RCT=2

留意点

- 聞きたい質問に意識がいて、話し手の話をあまり聞けていない。(会話1)
- うなずきがあまりふさわしくない。(会話2)

RFCにおいて、話し手の話すことを一応聞こうとしていて、穏やかな雰囲気作りがなされていたことを考慮した。

データ (後)

TCE_x=4 FAU=3 RFC=3 RCT=3

留意点

- 全体的に好意的な雰囲気がある。
- 間がうまく取られている。(会話3)
- 自己主張が少しでている。(会話4、7)
- 声の大小が効果的に使われていて、共感もこもっている。(会話5、6)

TCE_xの得点が上がったのは、共鳴的な会話や、姿勢がとられていたためである。

聞き手 1 1

データ (前)

TCE_x=2 FAU=2 RFC=2 RCT=2

留意点

- 全体的に、聞こうとしている姿勢はあるようなのだが、話し手の話しているポイントをつかめていないところがある。
- 質問が、尻切れトンボになっている。(会話1)
- 明確化が効果的になされている。(会話2)

ポイントがうまくつかめていないので全体的に低得点となった。

データ (後)

TCE_x=2 FAU=2 RFC=3 RCT=2

留意点

- 質問のポイントが定まっていない。(会話3、4)
- 沈黙は、全体的に、うまく使えている。
- 少し自己主張が入るところがある。(会話5-7)

RFCは、聞く態度が、物腰柔らかであったので得点が上がったと思われる。

聞き手 1 2

データ (前)

TCE_x= 2 FAU=1 RFC=2 RCT=2

留意点

- 全体的に落ち着きがなく体が揺れ、手ももぞもぞ動いている。
- 会話をコントロールする傾向がある。
- 会話を切り上げている。(会話 1)
- 聞き手と話し手が逆転している。(会話 2)

FAUは、話し手の話す内容をとらえることがあまりうまくなく、自分の言いたいことに焦点が向いてしまう傾向があるので、低得点となった。

データ (後)

TCE_x= 2 FAU= 2 RFC= 3 RCT=2

留意点

- 開かれた質問が効果的に使われている。(会話 3)
- 明確化がうまくなされている。(会話 4)
- 話し手の内容を、歪曲的に表現している。(会話 5)
- 全体的に聞き手のペースで会話がされている。

RFCは、話をコントロールしている面もあるが、聞く姿勢が話し手に効果的に向けられているので、得点につながった。

聞き手 1 3

データ (前)

TCE_x= 2 FAU= 2 RFC= 3 RCT= 3

留意点

- 全体的に自己主張が多くなっている。
- うなずきの回数が少し多いが、うまい具合に励ましになっている。

RCTについては、話し手の内的世界を独自のものとして実感している事が、得点につながった。

データ (後)

TCE_x= 2 FAU= 2 RFC= 3 RCT= 3

留意点

- 自己主張が比較的目立つ。
- 焦点があまり定まらずに、話が飛ぶときがある。
- 全体的にうなずきは、上手である。

FAUについて、話し手の気持ちに焦点が向けられず、話題の中でも話の筋道に焦点がむけられている。

聞き手 1 4

データ (前)

TCE_x= 3 FAU=2 RFC=3 RCT=2

留意点

- うなずきが、全体的にオーバーである。
- 明確化がされている。(会話1)
- 聞く態度で、視線が話し手に好意的に向けられていることが励ましになっている。

RFCについて、聞く態度が興味があるような点が得点に結びついている。

データ (後)

TCE_x= 3 FAU=3 RFC=4 RCT=3

留意点

- 話し手の話している内容のポイントがうまく明確化されている。(会話2)
- 話にあったジェスチャーをしている。(会話3)

- 話の転換がうまくなされている。（会話4）

FAUが、上がったのは、焦点が会話にうまく沿っていたことも考慮に入れた。

聞き手15

データ（前）

TCE_x= 3 FAU=3 RFC=4 RCT=3

留意点

- 話し手の話したいポイントをうまく繰り返しが出来ている。（会話1、3、4）
- 話し手が言葉に詰まって、沈黙となっても、うなずきを入れることにより、話し手への励ましとなっている。（会話2）
- 質問によって、会話が飛んでしまった。（会話5）
- 話し手の内容重視で、気持ちに触れていない。（会話6）

RFCとFAUについて、話し手の気持ちもうまく明確化でき、一生懸命聞いているという姿勢が、見られた。

データ（後）

TCE_x= 3 FAU=3 RFC=4 RCT=3

留意点

- 全体的にうまく話し手のペースを保っている。
- 実感がこもった励ましをしている。（会話7-12）
- うながしが、上手にされている。（会話13）

RCTについて、聞き手として自分を置くことで、相手との関係を保とうとしている。

聞き手16

データ（前）

TCE_x= 3 FAU= 2 RFC= 3 RCT= 2

留意点

- 終始、手がもぞもぞとしていた。
- 質問によって会話の話題が飛んでしまった。（会話1）
- 共鳴を話し手にしている。（会話2、3）
- 話し手を名前と呼ぶことで、会話を効果的になり立たせている。（会話3）

FAUについて、質問が全体的に多いことで、話し手の気持ちにまでは触れられなかった。

データ（後）

TCE_x= 3 FAU= 2 RFC= 3 RCT= 3

留意点

- 全体的に表情が豊かである。
- 自己主張が目立つところもある。（会話4ー7）

RCTについて、話し手の内的世界を考慮していることが、表情から見えてきた。

聞き手17

データ（前）

TCE_x= 2 FAU= 2 RFC= 3 RCT= 2

留意点

- 聞いていることがわかるような姿勢がよい。
- 励ましが効果的にされている。（会話1）
- 共鳴の表現の仕方が上手である。（会話2）

RFCについて、関心のあり方が効く姿勢によく表れていて、話し手をとらえようとしている。

データ（後）

TCE_x= 3 FAU= 2 RFC= 3 RCT= 3

留意点

- 全体的に聞く姿勢は上手である。
- 繰り返しが効果的にされている。(会話3-6)

FAUについて、話し手の述べている話の内容に目を向け、気持ちの面までは触れていない。

聞き手18

データ (前)

TCE_x= 4 FAU= 3 RFC= 3 RCT= 3

留意点

- 全体的にうなずきの回数が多いが、話し手とのテンポが合っていた。
- 明確化がされている。(会話1)
- 会話の流れをうまくくんだ開かれた質問である。(会話2)
- 少し、うなづきがおおげさになるときがある。

RFCについて、会話の内容が話しやすいものであったので、会話の展開もよく、得点につながった。

データ (後)

TCE_x= 3 FAU= 3 RFC= 4 RCT= 3

留意点

- 全体的に話し手が情熱的に話していたので、聞き手に徹していた。
- うなずきが効果的になされていた。

RFCについて、聞く姿勢が上手なため、話し手のペースで会話が進んでいった。

聞き手 19

データ (前)

TCE_x= 2 FAU=2 RFC=2 RCT=2

留意点

- 座る姿勢がのけぞって、顔の表情もこわばっていたので、少し威圧感があった。
- 感情がこもっていないうなずきが多かった。
- 遮るような感じのうなずきであった。(会話1)

RCTについて、話の内容を話し手と切り離れた形で、会話を進めるので、話し手の気持ちにまでは触れなかった。

データ (後)

TCE_x= 2 FAU=2 RFC=2 RCT=2

留意点

- 明確化がされている。(会話2、3)
- 開かれた質問が効果的にされている。(会話4)
- 話し手話より自分の話を優先させている。(会話5)

RCTについて、話の内容を話し手と切り離れた形で、会話を進めるので、話し手の気持ちにまでは触れなかった。

聞き手20

データ (前)

TCE_x= 2 FAU= 1 RFC= 3 RCT= 2

留意点

- 話し手の話しやすい表情でうなずいている。
- 終始、聞き手のペースであった。

FAUについて、断片的な内容がわかるだけでまとまらない。

データ (後)

TCE_x= 2 FAU= 2 RFC= 2 RCT= 2

留意点

- 繰り返しが効果的である。（会話1）
- 一般的な枠組みに当てはめようとする傾向である。（会話2－6）
- 自己主張が目立つ。（会話5）

RCTについて、話の内容を話し手と切り離れた形で、会話を進めるので、話し手の気持ちにまでは触れなかった。

聞き手 2 1

データ（前）

TCE_x= 3 FAU= 2 RFC= 3 RCT= 3

留意点

- 全体的に聞き手のペースである。
- うなずきは、ただ相づちを打っているという感じで淡々としている。
- 話し手の話を切り上げている。（会話1－4）
- 表情が豊かである。

FAUについて、話の内容重視で、話し手の気持ちには触れられていないことを考慮に入れている。

る。

データ（後）

TCE_x= 2 FAU=2 RFC=3 RCT=2

留意点

- 笑顔がその会話を和ます雰囲気を持っている。
- 話を歪曲的に捉えている。（会話5）
- 続くような会話であったが、励ましにより、中断されてしまった。（会話6）
- 自己の意見がみられた。（会話7）

TCE_xについて、言葉の意味は話し手が実感していることから離れて、言葉の概念的な枠の中でしか捉えないのに、判った感じになることから考えた。

聞き手22

データ（前）

TCE_x= 3 FAU=2 RFC=3 RCT=3

留意点

- 全体的に、話し手が話しやすい雰囲気を作っている。

- うなずきによって、話し手が話しやすい流れを作る。
- 話し手の話の流れを汲んでいるような質問である。（会話1）

RFCについて、うなずきが話し手に関心があるように効果的にされていたので、得点につながった。

データ（後）

TCE_x= 3 FAU= 3 RFC= 4 RCT= 3

留意点

- 全体的に話し手の話すことや、感じていることを捉えようとする姿勢が非常にみられる。
- 閉ざされた質問が効果的にされて、それが明確化にもなっていることもある。（会話2-6）

RFCの高得点は、話し手に感情をうまく引き出そうとする姿勢が見えることから。

聞き手23

データ（前）

TCE_x= 3 FAU= 2 RFC= 3 RCT= 2

留意点

- 全体的に視線が落ち着いておらず、こわばった感じであった。
- 今現在の感情を聞き手が素直に出せている。（会話1）
- 話し手の気持ちを捉えようと努力のみられる質問である。（会話2）

RFCについて、緊張の中でも話し手に関心を向ける努力がみられた。

データ（後）

TCEx= 2 FAU=2 RFC=3 RCT=2

留意点

- 明確化が効果的にされている。（会話3）
- 聞き手により、話題が転換されている。（会話4）

TCExについて、話し手の感情に触れると言うよりは、一般的な枠組みに捉える傾向がみられた。

聞き手24

データ（前）

TCEx= 2 FAU=3 RFC=3 RCT=2

留意点

- 聞き手のペースで会話が進んでいる。
- 自己主張が多くなっている。（会話1、2）

TCExについて、一般的な概念で話し手のことを捉えようとしていることが多い。

データ（後）

TCEx= 2 FAU=2 RFC=3 RCT=2

留意点

- 全体的に聞き手のペースになっている。
- 自分の意見を押しつけているような質問をしている。（会話3、6）
- 明確化がされている。（会話4）
- 自分の意見を述べている。（会話5）

FAUについて、話し手の気持ちにまでは触れた質問をしていない。

付録

聞き手リスト

Eクラス

聞き手1 Aさん

聞き手2 Bさん

聞き手3 Cさん

聞き手4 Dさん

聞き手5 Eさん

聞き手6 Fさん

聞き手7 Gさん

聞き手8 Hさん

聞き手9 Iさん

聞き手10 Jさん

聞き手11 Kさん

Fクラス

聞き手12 Lさん

聞き手13 Mさん

聞き手14 Nさん

聞き手15 Oさん

聞き手16 Pさん

聞き手17 Qさん

聞き手18 Rさん

聞き手19 Sさん

聞き手20 Tさん

聞き手21 Uさん

聞き手22 Vさん

聞き手23 Wさん

聞き手24 Xさん

1	聞き手：Aさん
1	<p>こんにちは</p> <p>Aです。はい、お願いします</p> <p>去年、初級を受けられまして、今年の中級。最初は去年を振り返った感想は。</p> <p>(うなづき)</p> <p>うん</p> <p>はいはい</p> <p>うん</p> <p>それで今年の中級ですが反省もふまえてどうかかわっていきたいですか</p> <p>うん</p> <p>はいはい</p> <p>(うなづき)</p>
2	<p>ああそうですか</p> <p>はいはい</p> <p>そんなことをやっていきたいですか</p> <p>例えば、テーマを与えられたらどうしていきますか</p> <p>はい</p> <p>中級。はい</p>
3	<p>はあああ、そうですか</p>
4	<p>はいはい</p> <p>ま、この一年間3ヶ月の休みもあるが、やっていけそうですか</p>

あははは

(うなづき)

はい

ああそうですか

はいはい

ああそうですか

去年と比べて変わったことは

ああそうですか

うん

ああそうですか

ふふふ

うんと、あの

このクラスには男性が1人混じっているがどう
う思いますか

はは

うん

(うなづき)

もう定年退職しまして2年です

ええ、いえいえ

歳を存じませんがGさんから見て、年上、年
下をどう思いますか

例えば年上を見られて

はいはい

うん

(うなづき)

	<p>あの、年下の方は</p> <p>今の若い者はとありますが</p> <p>そういうことの対しては</p> <p>うん</p> <p>(うなづき)</p> <p>はいはいはい</p> <p>うん</p> <p>はあはあ</p> <p>ああそうですか</p> <p>それでは一年間頑張りましょう</p>
--	---

2	聞き手：Bさん
1	<p>おねがいします</p> <p>私がインタビューします</p> <p>はい</p> <p>さっきのCさんのPIと私のが似ていると思った</p> <p>その辺をふまえて、最初なので3回目の印象を伺っていいですか</p> <p>はい</p> <p>(うなづき)</p> <p>ああ、すくないですね</p>

うん

(うなづき)

うん

機械はやや強い方ですか

うん、はあ

ああ

うん、うん

(うなづき)

ふふふ

それは、皆さん一緒だと思うけど

うんうん

いやア、そんなことはないですよ

..

それは皆さん一緒と思う

そう

2

いやいやいやいや

家に一度来ていただければすぐに分かります。子供にはけりは入れるわ。

はい

あっそうです

3

はいはい

う、はっはは

あっそういう意味でバランスという言葉が使われたのですね

うん

最初の自己紹介でお仕事をされていないと聞いた
がどういう気で、2年続けようと思ったのですか

機械的にですか、Cさんの場合は

はい

ええ

あはは

うんうん

はい

それは、高齢ということで

(うなづき)

うん

はい、分かります

ええ

ああそうですね

はい

やはり、両親のご高齢で時間的には（仕事は）出
来ないということで

あー、うんうん

(うなづき)

あっそうですか

うん

ああ、すいません個人的なことまで

でもなんか元気でやっているということ

--	--

3	聞き手：Cさん
1	<p>こんにちは</p> <p>Eさんとお呼びするんですか</p> <p>変わって、初めて</p> <p>地方</p> <p>で、中級に入られてから、どんな気持ちですか</p>
2	<p>うん</p> <p>あっそうですね</p> <p>どんなことに期待されていますか</p> <p>うん</p> <p>はあ</p> <p>機会を通してね</p>
3	<p>あっそこが、期待をしているというか、楽しみにしているところですね</p> <p>あの、結構前から初級から、同じ方は</p> <p>あっそうですね</p> <p>で、その中でお友達が</p>
4	<p>結構多いですね、心丈夫だったですね</p> <p>ふううん</p>
5	<p>初級の時のおもいでは</p> <p>うん</p>

6	初めから友達と一緒にですか ああそうですか で、その中でお友達が あそうですか よかったですね
7	中級でこのクラスでうまくやっていけそうですか
8	何か悪いことを聞いてはいけませんね 自信なさそうだから 何かあったのかなあとって
9	うん (うなづき)
10	はなし・・・ あ、変えようと思っていらっしゃる うん (うなづき) あっ、そのありのままの自分に初級の時は気がつかれた うん あっそう 楽しみですね うん 少しずつでも気がついて自分が分かればいいですね うん この辺で、ありがとうございました

4	聞き手：Dさん
	<p>去年の感想は</p> <p>ほうほう</p> <p>(うなづき)</p> <p>ふん</p> <p>ほう、はー</p> <p>あっ</p> <p>ふん</p> <p>(うなづき)</p> <p>ふん</p> <p>(うなづき)</p> <p>1 はあ</p> <p>あっそうですか</p> <p>それに関してこの中級の目標はなんですか</p> <p>ふふ</p> <p>(うなづき)</p> <p>2 ええ</p> <p>うふふふふふ</p> <p>うはは</p> <p>ふん</p> <p>はい</p> <p>どうもいろいろありがとうございました</p>

5	聞き手：Eさん
1	<p>こんにちは</p> <p>ふふ</p> <p>あの、Bさんはこの中級はどのような抱負を (うなづき)</p>
2	<p>心も体もダイエットですね (うなづき)</p> <p>...</p> <p>..</p>
3	<p>中級のこのコースの印象は (うなづき)</p> <p>ふーん</p>

6	聞き手：Fさん
	<p>おねがいします</p> <p>あの、Yさん。あの、初級終えられて、得られたものは。 (うなづき)</p> <p>うん</p> <p>ああそうですか</p> <p>ええ</p> <p>はい</p>

ええ

(うなづき)

うん

ああ、そう

ええ

1 ああそうですか

あの普段は専業主婦ですか

お仕事

2 ああそうですか

ええ

3 ああそうですか

ふうん

ああそうですか

また続けて中級を受けたのは何か期待されることがあったのか

(うなづき)

ええ

はい

ああそうですね

ええ

(うなづき)

ああそう

ええ

はい

ああそうですか

あ、そう

うふふ

(うなづき)

ええ

うん

ああそうですか

うん

ええ

ああそうですか

(うなづき)

初級の時の印象に残っていることは

ええ

ああ、長くて楽しい

うんうん

ああそうですか

ええ

はい

ああそう

ああそうですか

うん

(うなづき)

ああそうですか

ああそうですか

はい

期待しております

7

聞き手：Gさん

こんにちは、はじめまして。Gです。

この中級コース、どのようにして受けようと思ったのですか

はい

(うなづき)

ああそうです

ええ

はい

(うなづき)

そうですね

はい

そうです

そうですね

ええ

はい、そうです

あああ

はい

ああそうですか

やっぱり、火曜日はお休みですか

はい

そうですか

うん

やはり、主婦だから忙しいもんね

1

2

3

家庭のこともして

やはり、勉強するのは好き

うん

はあ

はい

そうですね

ああ、そうですか

やはり、目的がいっぱいありますね

はい

そうですね

はい

一年間頑張りましょう。

よろしくお願いします

8

聞き手：Hさん

お願いします

えっと

あの、初級コースを受けられてどうでしたか

ええ

(うなづき)

ええ

ああそうですね

あのFさんが初級を受けられて変わったと思いますか

ええ

あっ

どういうふうに

ええ

そうですね

(うなづき)

ああ

ええ

ああそうですか

自分がどういうのかを言葉に出せますし、書
けますし

うふふ

え

そうですね

書きやすかったですね

あの、この一年間をどういう期待を込めて受
講しますか

ええ

あっはははあ

うんうん

そうですね

あああ、ああ

(うなづき)

ええ

はいはい

ああ

そうですか

あ、もし中級を卒業、受講された自分を想像
できますか

あはあは

そうですか

ああ、そうですね

ああああ

ああそうですね

自分の見えてなかったところを発見していく
という感じのでしたらいいですね

そうですね

あのお仕事をしていらっしゃらないですねえ

この中級コースを生かしていきたいというこ
とは

ええ

はいはい

ええ

あ

ええ

ああそうですか

すごいよい方向の考えで

うふふふふ

いえいえ

とんでもない

	<p>ああ</p> <p>そうですね</p> <p>何か集中コースでしたいことはありますか</p> <p>ええなにか</p> <p>どうもありがとうございました</p>
--	--

9	聞き手：Iさん
1	<p>こんにちは。Iです。</p> <p>まず、中級を聞く前に、去年一年間で自分がどう変わられたのかそこから聞きたいと思います</p> <p>はい</p> <p>はあはあ</p> <p>ということはやっぱり自分をされけ出してこられたということで</p> <p>ああ、そうですね</p> <p>はい</p> <p>ああそうですか</p> <p>そしてまあ、中級はどんな思いで</p> <p>はい</p> <p>・・・入ってこられたのですか</p> <p>はい</p> <p>(うなづき)</p> <p>ああそうですか</p> <p>では、この中で男性はAさん一人ですがどういう気持ちで</p>

すか

そうですか

はい

ああそうですか

ええ

はい

ああ、はっはっは

ああそうですか

はい

ああそうですか

ふんううん

中級にはいって年齢も色々ありますがどう携わっていかう
と思えますか

(うなづき)

はい

あっっっはいはいはい

2

ああ

3

あの本当に貴重な存在と思います

女性から見たのとは違うので、意見を言ったり活躍してく
ださい

はい

あっはい

(うなづき)

...

ああ

4

はいはい

5	<p>ふふふ</p> <p>でもあの私もそうですし、でもそれでわたしは良いと思います</p> <p>うんあの</p> <p>けんかばかりでは、うまくいかないですし</p> <p>ただ、自分のあれは大事にして、その上であの、人の意見を聞いて・・・あの大切なことと思うので、あの、今のままのあの、はい、頑張ってください</p> <p>はい</p> <p>きょうはありがとうございました</p>
---	--

10	聞き手：Jさん
1	<p>どういうふうに勉強をしていこうと思っていますか</p> <p>ええ</p> <p>初級の感想も含めて話していただいても</p> <p>(うなづき)</p> <p>遅れ言いましたらどんな</p> <p>ええ</p> <p>(うなづき)</p> <p>ええそうですね</p> <p>ああ、そうですか</p> <p>ええ</p> <p>(うなづき)</p> <p>ええ</p>

ああそうですか

初級でどんなふうに学んで、それをどういかして

...

ええ

そうですよね、ついていけませんよね

ええ

ええ、そうですね

ええ

あっそう

2

へへへ

中級になったら初級で学んだことをまわりや自分に対してどのように考えているか。初級では自己を見つめてきたが

ええ

捨てててですか

はあ、はあ

ええ

あの、遠慮とかしてですか

後ろに引くとかですか

ああ、そういう意味で

あ、そうですね

ええ

ああ

ええ

それが一番の目標ですか

1	聞き手：Aさん
	はい、こんにちは 長いこと、ごくろうさま コミュニケーションラボを終えられて最初と比べてどうですか 自分を振り返って ふん
6	はいはい ああ、楽になりましたか ふん
7	はあ どの点が楽になりました ふん はい ふふふ ふん、ふん はい ふん はい、そうですね (うなづき) 自分の持ち味を出せばいいのですね そういうことが分かってきた、ということですね ふんふん

8

ああそうですか

はいはい

9

他に良かった点、悪かった点、逆に辛かった点
はなかったですか

ああ、そうですか

ふん

はい

ふん

はいはい

ふん

はい

もう扱えるようになりましたか

うん

ああそうですか

はい

ふん

同感ですね

はいはい

あの

ある程度相手の感情の動きが分かるとか、そう
いうことは出来るようになりましたか

ふん

ふんふん

ああそうですかあ

はあはあ

半年、いや一年やってきて良かったなあ、と

(うなづき)

ああそうですか

ふんん

はい

そうですか

あのどんな友達に勧めますか

ああ、会社のね

ふん

はい

ふんふんふん

はいはい

ああそうですか

お友達も乗り気ですか

え、^^^

うん

ああそう

うんうん

ああそうですか

それじゃあ、長いことお疲れさんでした

ありがとうございました

2

聞き手：Bさん

Cさん

はは、

コミュニケーションラボは今回で終わりになったのですが、ええ通していかがでしたか

ええ

はあ

そうですねえ

機械複雑でしたものねえ

ええ

はい

そうですね

ええ

ねええ

皆さん多分そうだと思います

はい

まあ

そうですか

ああ

(うなづき)

その他あと

4

まあ

ええ

はあああ

ええ

はい

(うなづき)

書き言葉と話し言葉が違う

ええ

どういう意味ですか

はい

あはははっは

それは、動作なんかで読みとることはしていたのでそれはそれで良かったと

はい

マスコミのうるさいのですか

NHKの

はあ

はい

はあ、そうですか

例えば

はああ、書くように主述関係になっていないということ

(うなづき)

ふん

5 は、じゃあそれまではCさんは、この授業を受けるまでは話し言葉と一致しないといけないと思っていたのですか

ああ、はあ

6 それを意識化されたということなんですか

うん

はあ

ああ、そういうこと

うん

はい

一致しているから

迷いもなく

ははは

はい

うん

7 それが授業でパターンはなく十自分なりのやりかたでやれば
いいということが分かったということですね

はい

うん

ああそうですね

うん

あ、そこがありますねえ

うん

ほほほほ

(うなづき)

ははは

うん、素直に出していいと確信が持てたということですね

それまで、いいのかしらと悪いのかしらと思っていたものが

それ多分私も同じだ

うん

なるほどね

もう結構なことばかり

3	聞き手：Cさん
	<p>Cさん、お久しぶり</p> <p>お勉強一緒にしてきました。コミュニケーションラボでビデオに撮りましたが、どんなふうに感じましたか</p> <p>うん</p> <p>(うなづき)</p> <p>ふん</p> <p>見ててどうでしたか</p> <p>いやでした</p> <p>どの辺が</p> <p>ふん</p> <p>1 1 間というのは</p> <p>話し方</p> <p>...</p> <p>1 2 容姿が映った感じがですか</p> <p>はは</p> <p>その間が聞きたい</p> <p>うん</p> <p>ああそうなんですか</p> <p>で、その中でしてきて、気が付いてからは考えながら関わっていかれたのですか</p> <p>ふん</p> <p>1 3 実感として感じられたのですか</p> <p>すごい成果ですね</p> <p>うん</p>

よかったですね

他には何か考えられたことは

うん

感じられた

うん

レーザーディスクは使われたことはあるのですか

ここに来るまでに

どうですか

うん

どういうところが上手になりたいですか

うん

うんん

もしあれの答えが返ってきていたらどうでしょう

うん

ふん

あっそうですね

ロールプレイはどうでしたか

お友達と役割分担していきながら

うん

はあ

あ、そうですか

14 どういうところが難しいと思ったのでしょうか

うん

うんんん

うん

そういうところがむつかしかったのですね

回をかさねるごとにうまくなったと思われませ

(えがお)

ああ、出会った人によって相手によって違う

他には何かありますか

．．．．

うん会話

15 うんうん

ああそうなんですか

ここで勉強された、普段でも思い起こされたりするんですか

ふん

うん

じゃあ、よかったですよね

で、ご自分と周りの方にもそういうことを利用してという
か、返っていつている

うん

うんんん

ああそうですか

これからやすみがあって、次ありますけど、どういうふう
にしていきますか

(うなづき)

うん

いろんなことって、具体的に

ふふふ

そうですか

ありがとうございました

4	聞き手：Dさん
	おじぎ
	もう長い間ゆるりと勉強させてもらったがラボが最後という感想は
	はいはい
	(えがお)
	ふうん
	うふふ
	(うなづき)
	わりあい
	あの
	問いかけとか聞き役とか設定した役で勉強したのですが、自分の成長の度合いは
	(えがお)
3	まあ、人の心の動きとかは見せてもらったのですが、普段の生活とラボの関係は
4	はいはいはい
5	えええ
6	はー
7	ふん
8	ああそう
9	(うなづき)

ああそうですか

本当にその面では私も考えさせてもらった場面が多々ありますが

一番、特徴、印象に残ったことございますか

何か生活に活かしていこうとか、特に

まあ、人柄はJさんの場合は備わっているから

何かそういう点では

うふふふふふ

(うなづき)

ええ

いやそうでもない

ええ

(うなづき)

ああ

(えがお)

でもいい経験を聞かせていただいて本当にありがとうございました

5

聞き手：Eさん

こんにちは

このコミュニケーションラボを終えるに当たってBさんはどのように思われました

どう感じました

(うなづき)

ふふ

恐怖ですか

ふふ

4

一回一回というのは

ええ

(うなづき)

ええ

(うなづき)

ええ

(うなづき)

ええええ

そうですねえ

じゃあ、それを普通に生かそうと思われたことはありますか

ああそうですか

(うなづき)

ふん

．．．

家族の方から何かいわれたことはないですか

ふふ

そうです．．．

コミュニケーションラボで

どのように．．．．．行う

どのように．．．．．生かす

どういったらいいですか

むつかしいですねえ

ふふふふふふ

じゃあ、コミュニケーションラボを使ってご自分のことを把

握できましたか

どのように把握

(うなづき)

ええ

そうですねえ

ええ

はい

そうですね

6

聞き手：Fさん

Hさん、コミュニケーションラボを終わるにあたって、どのような感想をお持ちですか

はい

ああそうですか

はい

ええ

はい

はあ

ええ

はい

(うなづき)

ああ

ええ

はあ

4

(うなづき)

おおきいですねえ

ええ

はい

(うなづき)

ええ

ああ、そうですか

5

よかったですね

ええ

(うなづき)

ええ

ああそうですか

ええ

(うなづき)

ああそうですか

でも、お仕事と結びついていたからよかったです
ね

6

(うなづき)

はあ

はい

ああそうですか

ああそうですか

でも、難しいということに気が付くというのが素
晴らしいことですよええ

うん

ああそうですね

学んだ知識が解っていても進行するのは難しいです

うん

ええ

そうですね

はあはあ

ええ

はあ

うん

でもねえ、勉強したことがすぐに学べるのはいいことですねえ

ふふ

いや

生きてきた体験は、何にも変えがたい、なんていうか収入にもなる違いますか

ふん

はいそうですね

ええ

(うなづき)

ふん

うん

(うなづき)

ええ

そうですねえ

まあ、どんな点が一番役に立ちましたか

	<p>うんうん</p> <p>ああそうですか</p> <p>ええ</p> <p>ええ</p> <p>ああ</p> <p>ええ</p> <p>はあい</p> <p>そうですか</p> <p>共感するというのはすごく大事ですものねえ</p>
7	聞き手：Gさん
	<p>こんにちは</p> <p>しばらく</p> <p>あの、コミュニケーションラボの終わりにあたって どうですか</p> <p>今日で最後ですけど</p> <p>はい</p> <p>はあ</p> <p>はーい</p> <p>あ、そうですか</p> <p>そうですか</p> <p>何回も色々な人と組んで</p> <p>(うなづき)</p> <p>緊張とか喋りづらいとか</p> <p>(うなづき)</p> <p>はい</p>

4

^^^

意識

はい

うんうん

はあい

うん

^^

空回りして

5

うん

はい

そうねえ

うん

(うなづき)

そうですね

ええ

うん

そうですね

ふんふん

うははは

ああ、そうですね

そうですね

はい

うん

そうですね

はい

6

最初の時は本当に緊張していましたよね

ふふ、お互いに

そうですね

うん

(えがお)

うん

しっかりと

ふん

そうですね

はあーい

そうですね

このコース始まってから、自分の気持ちが軽くなっ
て

7

(うなづき)

そうですね

8

持ち味がね

はい

でも、最初の時はものすごく緊張したもんねえ

ええ

(うなづき)

うん

はい

ああ

そうですね

ありがとうございました

8

聞き手：Hさん

コミュニケーションラボを終えられて、Fさんはどんな感想をお持ちでしょうか

(うなづき)

ええ

(うなづき)

ええ

ああ

で、最初と最後でどんなふうに違っているか分かりますか

ははは

(うなづき)

はい

ええ

はあ

ああそうですか

3

お会いするときは、きりっと、威厳を保ちたい、というか

4

ちょっと・・・

ように

はあ

はいはい

はー

ああ

(うなづき)

5 むつかしいですね

もうねえ、プロですから。NHKの会社の方はねえ。

ねえ

ほかに

そうですねえ

ええ

はい

ええ

ああ

あのやっぱり、以前と今とではいつもそういう気持ちで接して、ああいう方に近づけた、というのはおかしいけど、なりたいなあという気持ちを持ちつつ来たのが収穫だったということでしょうか

ふうん

ええ

(うなづき)

うん

ええ

ああ

そうですね

はあ

そうですね

自分の癖とか解りましたか

癖です

ええ

へへ、いやいや

9	聞き手：Iさん
6	こんにちは コミュニケーションラボを終えられて今のお気持ちを聞かせて下さい はい はああ、はああ あのどういったところが良かったですか はい (うなづき) はい うん はあ (うなづき) は、は
7	あ、今までと違った形で見られるということですね はあ、 はい はああ はいはい はい、気持ちとか うんうん

はい

そうですか

8 じゃあ、それだけでもプラスですね

そうですか

じゃあ、他に何かありますか

はい

はあ

ああそうですか

あ、はいはい

9 そしたら相手の気持ちも組み入れられる、いうんですか、感じて

ああそうですか

それは良かったですね

はい

あ、は。そうですか

はい

(うなづき)

はい

(うなづき)

地がねえ

でもそれは簡単に変わるものでもないしそれでいいんじゃないか

ああ、そうですか

で、やはり今までいろいろされてきて、特に記憶における、心に残ったことは何ですか

はい

うん

ええ、うんうん

ああ、はい

ふ、ああ

それはどういうときにいわれたのですか

うん

はい

はあ

ああそう

10

じゃあ、痛いところを

ああ、

まだまだ自分のなかに全部取り入れることは、あれで
しょうけど

これからですね

発揮できるのは

ああそうですか

はあ

はい

ああ

は、そういうことを気づかれたということですね、そ
れだけでも素晴らしいことですね。どうもありがとうございました。

お願いします

この講座を受けて何が一番自分に身に付いたかなあと
思います

(うなづき)

はい

ええ

ははは

(うなづき)

ええ

(うなづき)

そうですか

ええ

(うなづき)

ええ、ええ

はあ、そうですか

ええ

(うなづき)

ええ、ええ

はい

(うなづき)

はい、そうですか

一番印象に残ったこと

ええ

あー

はあそうですか

ええ ええ

はあ

そうらしいですね

ええ

(うなづき)

はあ

4 やはり、自分のいいところも悪いところも知っておかないと、この勉強は難しいですもんねえ

ねえ

ええ

そうですか

はは

5

ええ

そうですね

ええ

(うなづき)

ええ、ええ

6

そうですね

7

なかなか具体的にこういうことをしていったらいいことは分からないこともありましたよねえ

(うなづき)

それを教えていただいた

というか

ふふ、そうですね

(うなづき)

ええ

(うなづき)

ええ

そうですね

ええ

そうですね

(うなづき)

本当にねえ、家庭や社会ではじぶんをさらけ出すという体験はないですもんねえ

(うなづき)

それじゃあ、ありがとうございました

11

聞き手：Kさん

こんにちは

この講座を受けての印象を聞かせて下さい

(おじぎ)

(うなづき)

はい

(うなづき)

そうですか

自分で一番いいなと思うこと

はははは

はい

はああ、そうですか

(うなづき)

そうですか

(うなづき)

はい

3 逆に、自分でああいうのはしようまいと思ったことはありますか

ははは

はい

あ、はい

4 ああそうですか

どういうこと、具体的に仰っていただければ

はい

(うなづき)

はい

(うなづき)

ああそうですか

機械を使う勉強に戸惑いはなかったですか

はい

ああそうですか

じゃあ、これから役に立ちそうですか

(うなづき)

これから目標に対する準備が出来たのでしょうか

はい

はい・・・

日常生活に役に立てたらということですか

はい

(うなづき)

ご家庭ではどう思いますか

はい

ご家庭で色々会話するときに

ふふふ

はい

ああそうですか

はい

5 あの、勉強していたら心がけといいましようか、そういうこともできるとお思いですか

ふふふ

(うなづき)

6 先ほど先生がいわれました、素振りのつもりで

^^

7 いろんな言葉を覚えておくと、あの自分自身にあったことが

ありがとうございました

1 2	聞き手；Lさん
1	<p>こんにちは</p> <p>えっと、この中級コースを受けられた動機っていうのか、どう いうものなのでしょうか</p> <p>(うなずき)</p> <p>うん</p> <p>(うなうき)</p> <p>うーん</p> <p>(うなずき)</p> <p>あーそうですね</p> <p>(うなずき)</p> <p>うん</p> <p>はいはい</p> <p>(うなずき)</p> <p>うーん</p> <p>(うなずき)</p> <p>あーそうですか</p> <p>特に、具体的に顕著にね、ここが変わったってことがありま したらおしえていただけないでしょうか</p> <p>(うなずき)</p> <p>はあ</p> <p>うん</p> <p>うん あーそう</p>

うーん

うん

あーそうですか

うん

そしたら、あれですか普段のその、ボランティアとか人とのか
かわりあいとかあるんですか

うん

(うなずき)

はい

うーん

(うなずき)

うん

(うなずき)

うん

うーん

あー

そういう取り越し苦労が多いんですね

うーん

あの一良かったら、お仕事はどのようなことをされているかを

はい

あー

はい

ふーん

うーん

うん

2	<p>はいはい</p> <p>あー</p> <p>ふんふん</p> <p>あーそうですか</p> <p>うん</p> <p>あーそうですか</p> <p>そうですね</p> <p>でも、あのー、コープこうべは、かなりいボランティア活動に熱心だし、やはりそのもの自身がひとのためにやるという趣旨でされているので、その点は人材が活かされるところではないかとおもわれるんですけどね</p> <p>うん</p> <p>うんうん</p> <p>あーそうですか</p> <p>どうもありがとうございました</p>
---	--

13	聞き手；Mさん
	<p>こんにちは、よろしくおねがいします</p> <p>Zさんは、大学四年生でしたねえ</p> <p>お若いのに偉いなあと思うんですけども</p> <p>うん</p> <p>はあ</p> <p>(うなずき)</p> <p>あーそうなんですか、へー</p>

あ

(うなずき)

じゃ、初級はどんな

あ、初級は

はい

(うなずき)

ええ、ええ、ええ

はい

はー

じゃ、科目は哲学とか、人間学とかそういう感じですか

社会福祉、はー

あー、そうなんですか

ええ

うーん

そうですねえ

うーん

いやー

お若いのに偉いなあとおもってねえ

じゃあ、あとー。一年間ですnee、この一年間、目標っていうのですか、どんなふうになればいいなあって思ってるしゃいます

うん

ええ、ええ、ええ

うーん

あーうん

うん

ええ

(うなずき)

うーん

でも、こういうの習っておいたらねえ、子どもができたときに役に立つっていうか、主人の会社の若いお嬢さんなんですけれどもね。なんで行かれているのって聞いたらね、結婚して子どもができたときにプラスになるからとおっしゃって、偉いなあと思ってね

ふふふふ

うーんうーんうーん

(うなずき)

あー、そうですか

私、若い子が来はるから、それが楽しみで

うーん

うん

何人かいらっしゃいましたねえ、結婚されてましたけれども。はい

一年間楽しみな部分もあるし

ちょっと不安な部分も

うーん

ちょっと責任が、論文、書かないといけないですものねえ

ええ、ええ

(うなずき)

あー

あ、そうですか

(うなずき)

ええ

(うなずき)

ありがとうございました

14

聞き手；Nさん

はい、よろしくおねがいします

あの一、Rさん。初級ではクラスが違っていたんですけども、今回中級コースに進まれようと思ったのはどのようなところから

うん

うーん

(うなずき)

うーん

(うなずき)

うーんうーん

うーんうーんうーんうーん

うーんうーんうーんうーん

あーそうなんですかー

うーん

うーんうーんうーんうーん

あー

うーんうーんうーん

その一、初級に一年間通われてどのようなところを学ばせていうかね

うーん

うーんうーん

うーんうーんうーんうん

うーーーーんうーーーーん

1 こう、次につなげていきたいというところでね、今回一年間中級コースに通われる中でね、このコースに期待されるっていうことは

うーん

うーんうーんうーんうん

うーーーーん

ええ

うーんうーーーん

うんうんうんうん

またね、一年間終わったときにね、またクラス会なんかね、そういうクラスになったらね

うーんうーんうーんうん

うんうんうんうんうん

そうですねー、うーん

そうですねー、はい

えとーまだ時間があるということで、あ、OK。

15

聞き手；Oさん

お願いします

いやー、あの一。@さん

1

ね、黒一点ですけども、この講座はどういう動機で

あー、流れでねえ

うん

よかったですねえ

この中級は、このような形で進められるようですけども、それについてどうですか

うん

2

この講座をどのように役立てたい、というか、そのようなことは何か考えておられるのですか

うん

あー

うーん

あーそうですか

3

一体感になれると言うのは、その人の気持ちを自分も感じ取れるというような感じですか

4

はあ、あー

はい

すーっとね

5

自然にね。自分がそうなるうとか、なりたいとか、そういうのだと相手に負担がかかってしまうから、そうでなく自然と、なれるようになっていう意味ですね

そうですね。難しいでしょ

うねえ

うーん、そうですかー

さきほどね、わたなべかず
こさんのはなし、おききしま
したでしょ。私昔にすこーしだ
け、本で読んだことがあるんで
すけれどもね、あの一、あの
方のどういうお考えの本を読
まれたのでしょうか

ふーん

うん

うん、うん

あー、どんなお話でした？
教えてください

ええ

はあ

現代の忘れ物

はあー

はあ

はー、はいはい

ふん

はあ、はあ

はああ、そうですか

それで、あとう、神戸に来て
いただくかということで、奔
走しはったんですね

いやー、楽しみですね

うん

うーん

	<p>うんうんうんうん</p> <p>今、たいへんなことは、会場探しですか</p> <p>はあ</p> <p>ウン、岡山に今、先生はいらっしゃるの</p> <p>東京で</p> <p>うん</p> <p>うーん</p> <p>うん</p> <p>あー、そうなんですか。でもやっぱり東京から来ていただこうとしたらね、現実問題ね</p> <p>それでは、途中ですけども時間が来ましたのでありがとうございました</p>
--	--

16	聞き手；Pさん
	<p>OさんはこのHSCというか、ヒューマンサービスコースの中級コースの中で、どのようなことを目標に、というか目指していらっしゃいますか。</p> <p>(うなずき)</p> <p>はい</p> <p>(うなずき)</p> <p>はい</p> <p>ええ、ええ</p>

(うなづき)

はい

はい、そうですね

ええ

はい

(うなづき)

はい

(うなづき)

はい

1 特に中級でこんな段階をってことありますか？特に中級のクラスでこんなところをしてほしい、主にとってこと

(うなづき)

はい

(うなづき)

ええ

はい

(うなづき)

はい

(うなづき)

はい

(うなづき)

あ、そうですか

今日でちょうど三回目ですけど、一回、二回、三回としてどうですか？感想は

はい

あっはははは

はい、そうですね

はじめてですもんねえ。

(うなづき)

そうですねえ

講師の、担任の宮川先生のご印象はどうですか

(うなづき)

そうですね、楽しみです

特にこんな企画とか、こんなことできたらいいなとか
思われることはありません？

(うなづき)

はい

いや、ねえ

3

Oさんの日常の中では、その、人間関係とかそういったことに関わるようなお仕事とか、あ、その日常生活で、何かおありにあるんですか

はい

(うなづき)

はい

あ、そうですね

はい

(うなづき)

はい

ええ

はあ

ええ

はあ

(うなづき)

はい

あ、そうですね

(うなづき)

あの一、お一人で看ていることになるんですか。ご主人のお父様を。どなたか、ご主人とか、ご主人の兄弟とか姉妹とか

ではなくて

それも、おじいちゃまのご協力もあるんでしょうけれどもねえ。おたがいのことですもんねえ

日々の暮らしですものねえ

はい

(うなづき)

子供さんはご一緒ではないんですか

はい

あ一、そうですね

どうしても、女の人の手には掛かることになりますものねえ

(うなづき)

はい

(うなづき)

でもね、いろんなことにトライしていて、おじいちゃまも看ているよって言う、軽いノリのスタンスがいい感じですよ

(うなづき)

はい

(うなづき)

は、そうですか

なるほどねえ

おじいちゃまもその方が、楽かもしれませんしねえ

わかりました。またよろしくお願いします

17	聞き手；Qさん
	<p>こんにちは、どうもはじめまして、どうぞよろしくおねがいします</p> <p>えっと、まず、Mさんのこの講座にかける期待度、どんなものでしょうか</p> <p>(うなづき)</p> <p>ええ</p> <p>ああ</p> <p>(うなづき)</p> <p>うんうん</p> <p>じゃあ、その聞かってこととこの講座の結びつき、接点なんてどうでしょうか</p> <p>うん</p> <p>うんうんうん</p> <p>ええ</p> <p>うん</p> <p>はあ</p> <p>あーそうですか</p>

それは、現実にはどんなところでお役に立つ、お役に立てようとしてなさってることあるんでしょうか

ええ

(うなずき)

ええ

(うなずき)

ええ、ええ

はい

1

あー、それは大切

うん

ええ

あー

あの一、お仕事聞いてもよろしいですか

どんなお仕事でらっしゃいますか

ほー

あ。そうですか、郵便局で

職種といたしますと

わからない

あ、そうですか

えーと、それじゃあ、週に何回というふうなお仕事の行き方ですか

はい

はー、そうですか、それじゃあ、今日のこの時間って貴重な相手らっしゃる時間、それともその日はわざわざお開けになって

ええ

はい

あ、そうなんですか

2 うん

あーそうですか、ほー

じゃ、毎朝そんなにお早く

ええ

ご自身のも

ええーん

(うなずき)

あー、そうですかー、それはお疲れ様で

あの一、なにか、その一、ご趣味的な会のものってなにかありますか

うーん

ええ

あ、そうですか

ええ

あ、それは、ええ、ええ、

コーラスのためにですか

コーラスのためのボイストレーニング

あー、すごく専門的ですねえ

うん

あ、それは専門的ですねえ、またなにかの時に聞かせていただかないと

まえにおっしゃっていた、わたしたちのやっているサロンみたいなところでも、歌うとか、奏でるってことは、とっても大きな要素にはいるので、じゃあ、行っていただければ、その一。すごくうれしいですね、よろしくおねがいします

そうなんですか

はい

そうですかー、やー、それは素晴らしい、楽しみにしてます

はい

あ、そうですか

ありがとうございました

18

聞き手；Rさん

あの一、Vさんにお聞きしたいんですけども中級に入られて、一年間の意気込みとか、どんなことしようだとか、お気持ちを聞かせてもらえますか

はい

うん

ええ、ええ

はい

はははは、はい

うん

ええ

うーん

うん

あーそうですか

前はどんなクラスだったのですか

あ、じゃあ意見も、こう

うーんうーん

うーんうーん、あー

うーん

1 あーそうですかうーん

じゃ、初級で学ばれたとき、非常にいい印象をお持ちで、続けてみたいって思われたのが動機で

うーんうーん

ええ、ええ

うーんうーん

うん

ええ

2 うーん

あーそうですか。じゃあ、去年、印象に残られたことってあります？一年間勉強されて

うん

あーうん

ええ

うーんうーん

じゃあ、以前にこういうような勉強とか、なにかされたことはあるんですか

うん

あっ、それはあそこですか。生涯、生活学習センター

私も受けたことあるんです

うーんうーん

あーそうですか

あ、あそこで勉強されたことが。わたしもあるんですが割り

と、短い回数で

うーん

あ、あ、そうですか

うーん

うん

あー

うんうん

おうちの方はどうなんですか。こういうことをされているとい
うのを

大賛成

ははは

うーんうん

あ、そういうことが、もう賛成っていうか、もう。

うーん

あー

あーそうですか

じゃあ、学ぶのには非常にいい環境っていうか、ねえ

うーん、ねえ

あっ土曜日の午後にですか。

あ、はいはいはい

あそうですか

あ、ありがとうございました。いろいろうかがわせていただ
いて

こんにちは

えーと、Qさんは初級を終わられて、一年間ブランクがあられたのですよねえ

どうしてブランクがあられたんですの

あー

はい

あーそうですか

はい

は、そうですか

じゃあ、お忙しいボランティアの方をぬけて、こちらの講座の方に駆けつけてらっしゃるわけですよねえ

その忙しい中を、この中級コースに一年ブランクがあられても、来ようと思われたいちばん大きな動機はなんでしょうか

ええ

はい

(うなずき)

はい

(うなずき)

はいはい

そうですね、傾聴ですね、はい

はい

あー

で、

初級はそれに対して、そういうQさんの思いに対して、どのくらい応えてくれましたか

はい

(うなずき)

はい

ええ、共同ワークですね

はい

ええ

(うなずき)

あ、そうですか

じゃ、あの一、今度は中級ですよ。その忙しい中で、中級はどういうふうを受講して、今度はこういう講座だったらいいのになあというご希望はありますか

はい

あ、そうですか

その期待は、ハードな期待はないというのはどういうことに起因しているのですか

あ、ご自身の、は一

(うなずき)

あ一、そうですか

1

あ一、そうですか、はい

(うなずき)

あ一、そうですか、どうもありがとうございました

20	聞き手；Tさん
	<p>こんにちは、よろしくおねがいします</p> <p>あの、Xさんは中級に進まれた動機はどんなあれなんでしょうね</p> <p>はい</p> <p>(うなずき)</p> <p>うーん</p> <p>そうですね</p> <p>(うなずき)</p> <p>うーん</p> <p>はい</p> <p>うーん</p> <p>(うなずき)</p> <p>そうですね</p> <p>うーん</p> <p>ええ</p> <p>ええ、ええ</p> <p>うーんうーん</p> <p>そうですか</p> <p>特に、こう、患者さんなんかだったら感受性なんか強いかもしれないし、気を使われることも多いでしょうねえ</p> <p>うーん</p> <p>あ、そうですねえ</p> <p>うーん</p> <p>ほお</p>

うーん

ええ

うーん

あ、そうですねえー

うーん

あ、そうですねえ

うーん

あ、そうですねえ

うーん

やっぱりねえ、健康にもねえ、元気づけられますと、看護婦さんって存在がおおきいのですものねえ。声かけてもらうだけでも、やっぱり元気がでるでないでしょうかねえ。特に落ち込んでいるときにねえ。ひとりぼっちだったら、特にねえ。

うーん

あ、元気なお母さんが多いので

うーん

ええ

そうですねえ、ええ、ええ

あ、そうですよねえ

相談したいことがねえ、いっぱいねえ

ありますよねえ。経験がまだないですものねえ。みなさんねえ。ま、3にん目って方があるかもしれませんが

そうですねえ

うん

そうですか

えーと、産科病棟だとお母さんたちが、赤ちゃんが産まれる前と産まれてからと、明らかに表情が変わることありますか

うーん

あー

うん

はあ

ええ

そうですねえ

ええ、ええ

そうですねえ

ええ

そうですねえ

あ、そうなんですか

あ、別じゃなくて。あー

そのほうがおちつかれるかもしれませんねえ

はー

それはねえ

帰ったらいくらでも見られますし

うん

はー、なるほど

ねえ、落ち着きの、取り戻されるかもしれませんねえ

また家に帰られたら、問題があるかもしれませんねえ。おむつ変えたり、全部自分でやらなくやならないでしょう

ええ

そうですねえ

じゃあ、病院の方でも、お父さんと一緒に来てもらった方が、いいですねえ

(うなずき)

あー、そうですか、なるほどねえ

どうもありがとうございました

2 1	聞き手；Uさん
1	<p>よろしくお願いします</p> <p>えっと、ヒューマンサービス中級コースの動機と いうのをお聞かせ願えないでしょうか</p> <p>(笑顔)</p> <p>はい</p> <p>そうですね、はい</p> <p>はい</p> <p>はい</p> <p>あっそうですか、はい</p> <p>あっそうですか</p> <p>それで今回で三回目になりますけれども、あ の一感想って言うのですか、これまでは、初級の と同じ様な感じの、あの、ちょっと感想をお願い します</p> <p>はい</p> <p>はい</p> <p>あ、そうですか</p> <p>はい</p> <p>あの一、家でね、ビデオを借りてきたりとか、 例えば留守にしていたからビデオにとって後で見ると</p>
2	

3

かそういう、操作とかはされていないんですか

はい

あっそうですか

自分が見たいときにも、ちょっとやってって頼まれるんですか

はい

あっそこで

あっそうなんですか

で、例えば、今、お孫さんができられて、その表情を写真だけでなくビデオにとって見られることはあるんですか

かわいいでしょ

あっそうですか

はい

あっそうですか

4

じゃ、これからね、一年間夏休みはあるんですけども、来年の二月まで続きますよね。で、どんなふう期待するものっていうのか、どんなふうに出来たらいいなっていうふう思われてらっしゃるんでしょう

はい

あ、そうですか、はい

はい

あっそうですか、はい

はい

あっそうですか、はい

で、じゃあ、自分自身が向上していくというようなことですかねえ

じゃあ、頑張って一緒にやってみましょう

あの一、例えばこれは、週に一回ですけども、一回三時間と非常に長いんですけども、そう生活の中での負担って言うものはありますか

はい

はい

あ、それでずっと、帰らずに、そのままここに来てると言うことですか

あ、そう

じゃ、その日の朝は帰るのが夕方になるし、夜なんかはたいへんになると思うし、しておこうかなあと思うことはしてらっしゃるんですか

はい

はい

あっそうですか

あ、あ、そうですか

それは、ありがとう

んー、そうですね、

思いつかないですね

じゃあ、何か初級とかその、プラスのなった、例えばこれを受けててよかったということが、普段に実感する時ってありますか

はい

はい

あそうですか

はい

ありがとうございました

22	聞き手；Vさん
	<p>こんにちは</p> <p>それじゃあ、Nさんにお伺いしたいんですけど、中級を受けようかあ と思った動機、もしよかったらお聞かせ下さい。</p> <p>はい</p> <p>うん</p> <p>はい</p> <p>(うなずき)</p> <p>うん</p> <p>(うなずき)</p> <p>うん</p> <p>(うなずき)</p> <p>うんうん</p> <p>はい</p> <p>うん</p> <p>うーんうーん</p> <p>うーん</p> <p>あっそうですか</p> <p>じゃあ、この一年間にね、この講義に期待することとかは</p> <p>うん</p> <p>(うなずき)</p> <p>うん</p> <p>(うなずき)</p>

うんうん

そうですね、うんうん

うん

うーん

うーんうーん

そうですね

うーん

うん

そうですか、

1 じゃあ、初級を一年間されて、一番最初受ける前と、その初級
が終わって、そして今現在とね、やっぱりここが変わったなあ
と、ご自分で感じられるところがありますか

うーん

うん

(うなずき)

うん

うーん

はい

うーん

あそうですか

どうもありがとうございました

どうぞよろしくをお願いします

あの一、前は何かクラスでした？

(うなずき)

あ一、じゃ、震災前

ええ

(うなずき)

(うなずき)

あ、その震災で中断しているときにですか

あ一、そうですかあ一

1 そしたら、なんていったらいいの

はい

は

あ

(うなずき)

はい

あ、すごくすばらしいグループですね

(うなずき)

あ一

あそうですか

(うなずき)

じゃあ、すごく意欲的にいろいろとそういう方面で活動
されている方が多いんでしょうか

(うなずき)

そうですね

うん

2	<p>はい</p> <p>じゃ、震災前に受講したのんと、震災後に受講したの で、気持ちとして、やはりどうでしょうねえ</p> <p>(うなずき)</p> <p>(うなずき)</p> <p>どうもありがとうございました</p> <p>じゃ、今後どのように、やはりグループは続けていっ て、ですか</p> <p>(うなずき)</p> <p>はい</p> <p>そうですね</p> <p>それじゃあ、頑張ってください</p> <p>ありがとうございました</p>
---	--

24	聞き手；Xさん
	<p>こんにちは</p> <p>Kさんは、私印象があるんですけども、初級の時に一度だけ 来られたなあという覚えがあって、必ず、もう、欠席されても 必ずお受けになるんだなあと思ってたんですけども。この度 も。Eクラスなんですよね</p> <p>すごく熱心な方だなって思うんですけども</p> <p>先ほどのPIの話では、肯定的にというか前向きにというか、と いうことを言われてたのにね、あーそうだなあって思ったんで すけれども、この度中級をね引き続きお受けになるにあたっ て、その辺の思いというものが、どんなのか聞かせていただ きたいんですけども</p>

はい

うーん

ふふ

(うなずき)

あー

うーん

はい

ほー

はい

あーなるほどねー

で、ここの、中級でその辺のことを学んでいこかなっていう

はいはいはい

えーえーえー

うーんうーんうーん

(うなずき)

うーん

- 1 その、日々にね、一人っ子で育ってとおっしゃってて、ま、年齢的に考えれば子沢山というイメージがあるのでも、一人っ子だったんですよ

あーあーあー

はい

はいはい

うーん

うんうんうん

うーんうんうん

あー

うんうんうん

はは

うーん

はいはい

ふーん

うん

はい

(うなずき)

あー

でも、両親の思いがその一、一人っ子だと集中するわけですよ
ねえ

ふーん

2

あーそうなんですか

でも、なんていうか、いろんな生き方ってあると思うんですけども、年齢がたってから、だいぶ、なんねいうか、こういう
思いで、あえてこの講座に来られるというのはね、わたしたち
が、こう仕事でね、ある部分、必要に迫られてくる動機とは
ちょっと違うなあと思ったりするんですけど

うん

(うなずき)

うん

(うなずき)

うーん

はい

あー、そうだったんですかー。そういうことがあってー

ふーん

あー、なるほどねえ

でも、なんていうか前向きな姿勢というか、ところがなんか、
表面に出てきているなあって気がするんですけども、うーん

じゃあ、おわります

11

聞き手；Kさん

よろしくおねがいたします

あの一、講座をお受けになる動機ていうものをお聞かせい
ただきたいんですけど

はい

はい

(うなずき)

はい

あーそうですか

中級にお進みにありまして、あの一

1

はい

はい

そうですねー

ええ

はい

(うなずき)

あの一、皆さん年齢に応じていろいろと

2

はい

(うなずき)

はい

今、しておられるお仕事の中で、いちばん大変だなあとおもわれることは

はい

は、そうですか

はいはーそうですか

はい

はっはっはは

はい

はー

ほー

なかなか、大変なご努力ですねえ

はい

あー、そうですか

時間はどのくらい

はい

あー、そうですか

はい

(うなずき)

はい

(うなずき)

ありがとうございました

1 2	聞き手；Lさん
	楽しかったですねえ うっふっふっふっふ 特にどんなことを学ばれたと思います？ (うなずき) うん そうですねえ
3	それをもうちょっと、具体的に教えてくださいか うん (うなずき) (うなずき) うん あーそうですね でも側から見ているとそんなことはないですよ 思い過ごしっていうかねえ うーん うーん ご自分のことでそういうふうに気付かれたんですよ。それで学んだことで、これは良かったなあってことがあります うーん うーん うん
4	あ、そうですか

5

自分で意識して傾聴しよう

うーん

そうですね

人の話を聞くって、本当難しいですもんね

でも、それができるようになられたんですね

(うなずき)

そうですねえ

でも、私もそうですけれどね、何でも話したいんですよ。自分が伝えたいって気持ちが大きいですからね。相手が上手に聞いて下さると本当に楽しいですからね

そういうふうにもなれるといいですね

はい

そうですね

あー、ありますね

うん

そうですね

でも、一緒にいてしんどい人ってどうしてでしょうね

うーん

(うなずき)

じゃ、かなり話術っていうか会話が上達したのですね

おつかれさまでした

そうそう

静かだからわたしたち早くしなきゃあってねえ

学生やりながらこちらに見えていますけれど

うん

(うなずき)

自分のビデオを見て何か感じられましたか？

ええ

うん

(うなずき)

(うなずき)

質問するの苦手なんですよ。聞き役の方が

そうでしたか

そうそうそう

でもこういうのは好きなんです

でもこういう

学校の授業はこんなんされているんですか

ええ

あ、そうですか

うん

(うなずき)

あーそうですか

(うなずき)

やっぱり実践している人と、私みたいな、主婦なんですよ

そうなんですけれども、みなさんのを見せてもらってて、
やっぱりちゃうなあって思いましたけれど

(うなずき)

勉強にはなりましたけれどもねえ

(うなずき)

うーんうーん

私は今からまだまだ勉強です

14

聞き手；Nさん

おねがいしまーす

Rさんは、このコースも終わろうとしているんですけれども、一年近くの間でどうですかねえ、感想は

(うなずき)

うーん

うん

(うなずき)

2

(うなずき)

私っていうのは何かなあって

(うなずき)

(うなずき)

うーん

3

じゃあ、その、技法云々っていう以前の、それを行う自分について今回、わかってきたところ、気付いたところ、見えてきたところが

うーんうんうん

うーんうんうん

4	<p>うんうん</p> <p>でもこう</p> <p>うーんうん</p> <p>でも、ここに通われて得たものはあると</p> <p>うーんうーんうん</p> <p>うーんうんうん</p> <p>期待したこととはちよっとう</p> <p>うーーんうーん</p>
---	---

15	聞き手；Oさん
7	<p>今日でロールプレイが終わりということですがどうですか</p> <p>はい</p> <p>うーん</p> <p>ほんとやねえ</p> <p>うーん</p> <p>はい</p> <p>うーん</p>
8	<p>うーん</p> <p>ほんとやねえ</p> <p>けっこうおもしろかったやんねえ</p> <p>うん</p> <p>うん</p>

- 9 ほんとかねえ、そういうこともあるかねえ
 うん
- 10 ほんとかねえ
 ねえ
 そおうですよねえ
 うん
 うーん
- 11 ほんとかねえ
 はっはっはっは
- 12 ほんとかねえ
- 13 お忙しかったから仕方がなかったけれども、私達が捉
 えるのとは、また違った意味でねえ、捉え方とか、お仕
 事とだいたい関連した部分があるのやろうしねえ
 そう
 うん
 うん
 うーん
 あー
 うん
 はあ、はあ、はあ、
 そらそうかねえ
 そらそうですよねえ
 あーそうですか
 うん
 うーん

うーん

そうですねえ

うん

うん

そうやねえ

いや、本当にそうですねえ

でもね、回数は少なかったけれど、捉えられて良かったですねえ

うん

はい

そうですねえ

いろんなかたが来られていますもんねえ

うーん

うーん

ほんとですねえ

またこれからもよろしくお願いします

16

聞き手；Pさん

お疲れさまでした

このコースで、コミュニケーションラボを使って
どうでした？今日で最後ですけども

はい

ええ

はい

- 4 (うなずき)
施設というか、設備も立派ですもんねえ
(うなずき)
はい
そうですねえ
- 5 最初は私もそうなんですけれどもカメラが気になってねえ
うん、はい
(うなずき)
はい
(うなずき)
はい
ええ
ええ
そうですねえ
- 6 余裕って言ってもいろいろありますもんねえ
はい
(うなずき)
はい
ええ
そうですねえ
- 7 どうしてあげようって能動的にはらたきかけるときにどうしてもおごる気持ちがでてくるかましれませんもんねえ
(うなずき)
はい

17

聞き手；Qさん

3

お久しぶりでございます。このビデオからはねえ
すっかり忘れていましたねえ。このビデオがこうい
う形でおこなれてたってねえ
そういえばこうだったかなあって思います
もう過ぎましたけれども、どのくらい過ぎました
かねえ
もう、まもなく終わるわけでしょ
2がつ？
その間にちょっと飛びますもんねえ
私、来年のカレンダーにいれてみましたらねえ
飛びますもんねえ
後回しねえ
ご感想どうです？去年のまず比べて
うん、そうですねえ
あー
(うなずき)
あ、そうですか
でも、クラスの人数としてはちょうどいいですよ
ねえ。それでみんな、いい方のお集まりだし。普段
自分の
うーん
そう思いますよねえ

みんな若い方ばかりだからねえ

余計そう思います

はい

そうやねえ

お嬢さんとかのようなことは

はい

うん

あーはーはーはー

うん

あーそうですか

今日に授業のこういうことなんかもお話になるんですか。明確化だったとか、統合だったとかお話になるんですか

うん

あー

(うなずき)

Mさんはよく、みなさんにまめにみてもらっていますもんねえ

そしたら、その方その方にご意見ってございますでしょう

あー

うん

ええ

あっ

じゃあMさんの思っているご意見とかは一致している

そうですか

<p>5</p> <p>6</p>	<p>ふーん</p> <p>そうですか</p> <p>けっこうです</p> <p>またあるかも</p> <p>でもまたその人達の意見を聞くとかっていいですよ ねえ</p> <p>だいたい思っていることと同じっておっしゃいましたけれど、やっぱりその人によって違うことだってあるでしょうし</p> <p>(うなずき)</p> <p>概して、その厳しいっていうか、きついで意見ってあるんですか</p> <p>うんふん</p> <p>評価</p> <p>へー</p> <p>おおよそご意見一緒に</p> <p>じゃあまた聞かせて下さい</p> <p>ありがとうございました</p>
-------------------	--

<p>18</p>	<p>聞き手；Rさん</p>
	<p>よろしくおねがいします</p> <p>そろそろ、終わりに近づきましたけど、はい、いかがですか、四月からのことを振り返ってどう思われます？</p> <p>うん</p> <p>はい</p>

うん

うん

そうですね

うん

うん

はー、そうですか

うん

うん

あーそうですか、うーん

よかったですね

うーん

あー、そうですか、ふーん

(うなずき)

うっふっふっふ

19

聞き手；Sさん

後半も少し授業が進んできたんですけれども

中級に入られてどうでしたか。初級と比べて

(うなずき)

2 でも、取り入れようとしてらっしゃるんですよね

(うなずき)

うーん

3 じれったい

(うなずき)

そうですねえ

(うなずき)

だから本当に、自分がカウンセラーになりきっているわけ
ではないでしょうねえ

じゃあ、いかされていると

(うなずき)

どういう時にそうなります？

4

(うなずき)

うっふっふ

(うなずき)

あーそうですか

(うなずき)

なかなか、実践に活かすっていうのは難しいですねえ

(うなずき)

自然体の中でそういうことがきちっと出来るってねえ

(うなずき)

5

だから、こう、お友達同士で悩みを打ち明けたり打ち明け
られたりしてる時でも、私は授業のことはすっかり忘れてい
るんですよ。それでわたしはいいと思っているんで。柴崎さ
んもそうしていらっしゃるし。まあ、それこそ自然体で行か
せたらいいなあと思いますけれど真。出来ておられるんじゃ
あないですか？その自然体の中で

(うなずき)

え、どういうふうに

そうですかあね

(うなずき)

実践で活かせるってことはなかなか難しいことですよねえ

うん

(うなずき)

まあそれに近いですよねえ

ありがとうございました

20	聞き手；Tさん
1	<p>で、いよいよ、今日でおしまいになりましたけれども、この、ラボの方はね。Xさんはどのような感想をもたれました？</p> <p>うん</p> <p>はい</p> <p>うん</p> <p>あーそうですか</p> <p>そうですよねえ、しぜんにねえ</p> <p>うん</p> <p>ええ</p> <p>はいはい</p> <p>そうですよねえ、患者さんにはねえ</p> <p>うーん</p>
2	<p>それは、もう職業病として必然的なものですよ え</p> <p>あー、なるほどねえ</p> <p>はい</p>

はい

あ、なるほどね、うーん

ええ

はい

はい

あー、そうですか

うんうん

うんうん

それが実際の患者さんの回復にもねえ、役に
たっらつながるかも知れませんねえ

うん

あー、ありますね

うーん

うーん

あ、そうですね

うーんうーん

そうですね

はい

あ、そうですね

逆に、患者さんがこう元気づけられるようなね
え

言葉をかけられるようなことありましようし
ね

え

ええ

うーん

5

そうですね

やっぱり病院に来られる方、落ち込んでらっしゃる方が多いですからねえ

うーん

そうですねえ

うん

うん

でも、やっぱりこう微妙な感情があるでしょうからねえ、思春期の、年頃もありますし、問題もありますし。性に関することはなかなかあからさまに聞くこともできないでしょうからねえ。ここで学んだ感情を大切にすることは、役に立つかもしれないしねえ

うん

はいはい

ええ

6

うーん

うーん

そうですね

なかなか親にも言えないようなこともあるかも知れませんがねえ

うーん

うーん

そういうこと最近は多いですからねえ

ねえ

うーんうんうん

うーんうんうん

そうですね、よかったですね

どうもありがとうございました

21	聞き手；Uさん
	よろしくおねがいします
	いかがですか、今のご感想は
	あ、そうですか
	はい
	はい
	あ、そうですか
	はい
	はい
	そうですね
	はい
5	そこまでできるようね
	はい
	はい
	そうですか
6	本当にいいことづくめっていいですかねえ
	はい
	はい
	で、ふだんの生活の中でも、あの一ねえ、考え方が変わるとか、これまでとちがった自分っていいですかねえ、そういうのがみえていく、ねえ

	<p>(うなずき)</p> <p>はい</p> <p>あ、そうですか</p> <p>はい</p> <p>あ、そうですか</p> <p>じゃ、これからもねえ、これを活かしていくっていうか、何か考えていらっしゃるってありますか？</p> <p>はい</p> <p>はい</p> <p>あ、そうですか</p> <p>じゃ、お孫さんが産まれましたら、若々しいというか、みずみずしい、すごく魅力的なおばあさんになるのでしょうかねえ</p> <p>はい</p> <p>.....</p>
7	

22	聞き手；Vさん
	<p>どうですか、中級はもうすぐ終わりなんですけれども、何か学ばれたことは</p> <p>うん</p> <p>はい</p> <p>あっは、ないです？</p> <p>全く？</p> <p>うん</p> <p>はい</p>

ふーん

ええ

ええ

はー

でも、正直なところかもしれないですねえ。そんな、あっていうふうにはなかなか思えないですねえ

何かに出会ったときなんか、もしかすると感じるかもしれない、そんな予感もない

2

うーん

ええ

はい

ふっふっふっふ

まあ、こんなものか、あー

あそっか

3

特に、このコミュニケーションラボをとおして、こう
いったことっていう具体的な感じも何にもないって感じ

はー

4

だから、受ける前と受けてからもそんなに変わるところもないし

ふーん

うんうん

うん

ふーん

ふん

5

じゃあ、今、進行形みたいな感じ？これからも、もしかするとこういうことを意識しながらするかもしれない

いし、これで良かったんかなって思うかもしれない

うーん

うん

はい

はい

ない

ふ————ん

6

例えばね、あの一、映像に映るでしょ。自分の癖とかそういったことの、うん、感じとかは

うん

うんうんうんうんうん

うんうん

あ、いやなことだけどね

(うなずき)

うーん

うーん

それはかなり

うーんうーん

あ、そうですね

うん

なかなか率直で。そうかもしれないですね

こんにちは

よろしくおねがいします

この度、ここで学ばれたことで、自分で感じたことなどございますか、どのようなこと感じられました？

(うなずき)

(うなずき)

そうですね

(うなずき)

そうですね

(うなずき)

3

聞き方によって相手に与える感じが違うってことですね

(うなずき)

(うなずき)

そうですね

4

最初に感じたことと、今とで違った面が表れていることってありますか？どのように表れたかって、そういうこと

(うなずき)

(うなずき)

そうですね

こういうことを学んだことによって、良かったなあって思うときありますよねえ、人と話しているときにこんなこと変わったなあってことがあります？

(うなずき)

(うなずき)

はい

(うなずき)

この、かかわり技法とか、明確化などによって、自分がこないに変わった、またこういうふうになれば良かった、こういうことして良かった、喜んでもらったという思いもありましたでしょうか

(うなずき)

(うなずき)

そうですね

(まだおわりじゃないの)

じゃ、これからもこういう技法を使っていく上でこんなことに気を付けたいってことありますでしょうか

(うなずき)

そうですね

(うなずき)

どうもありがとうございました

24

聞き手；Xさん

えっと、何月からのコースでしたっけ？

かれこれ、14、5回になりますね

なりまして、今一つの段階に来ているわけですがけれどもどうですか

うん

ふ————ん

うん

うん

うんうんうん、そうですね

うーん

あ——

あ、思い出しました

そうですか

はー

うーんうーん

うーんうーん

3 でも逆に緊張しちゃうってことが、今回のケースでわかるってことが

プラスになってるって思いませんか？

うんうんうん

うんうんうん

また、なんかこう、後でみんなでこう、人のを聞けるっていうのが

ねえ

うんうん

うーんそうですね

うん

(うなずき)

うんうん

うんうん

またね、先生がこういろいろ言って下さるのも、ねえ

うんうんうん

うんうん

うふふふふ

(うなずき)

それをこう、学習で高められて頭でわかっていることを、技術なりで深められて、また、対応の場面があったら、少なからずこう

うん

うん

うんうんうん

うん

そうですねえ、それを学べたってことが良かったですよねえ

はー

うんうん

うんうん

あー

うんうん

でも意外な発見を

へー

でも、自分に戻ってくるとか、ふりかえりとか、そこを押さえておかないと、見つけておかないと何かねえ

うんうん

うんうん

傾向ってものを知れただけでも

どうもありがとうございました